

目 次

広島大学大学院医歯薬学総合研究科，歯学部及び広島大学病院（歯科領域）

- 創生医科学専攻・探索医科学講座
 - ・ [生体材料学研究室](#)
 - ・ [口腔生化学研究室](#)
 - ・ [口腔細胞生物学的研究室](#)
 - ・ 細菌学研究室
- 創生医科学専攻・病態探究医科学講座
 - ・ [口腔生理学研究室](#)
 - ・ [歯科薬理学研究室](#)
- 創生医科学専攻・先進医療開発科学講座
 - ・ [口腔顎顔面病理病態学研究室](#)
 - ・ [歯周病態学研究室及び口腔維持修復歯科（歯周診療科）](#)
 - ・ 分子口腔医学・顎顔面外科学研究室
- 展開医科学専攻・病態情報医科学講座
 - ・ [粘膜免疫学研究室](#)
 - ・ [歯科放射線学研究室及び口腔再建外科（歯科放射線科）](#)
- 展開医科学専攻・病態制御医科学講座
 - ・ [口腔成長・発達生物学研究室](#)
 - ・ [歯科麻酔学研究室及び口腔再建外科（歯科麻酔科）](#)
- 展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座
 - ・ [健康増進歯学研究室及び口腔維持修復歯科（歯科保存診療科）](#)
 - ・ [口腔外科学研究室及び口腔再建外科（口腔顎顔面再建外科）](#)
 - ・ [先端歯科補綴学研究室及び口腔維持修復歯科（口腔インプラント診療科）](#)
 - ・ [先端歯科補綴学研究室及び口腔維持修復歯科（咬合・義歯診療科）](#)
 - ・ [歯科矯正学研究室及び口腔健康発育歯科（矯正歯科）](#)
 - ・ [小児歯科学研究室及び口腔健康発育歯科（小児歯科）](#)
- 口腔健康科学専攻・口腔健康科学講座
 - ・ [公衆口腔保健学研究室](#)
 - ・ [口腔発達機能学研究室](#)
 - ・ [口腔保健管理学研究室](#)
 - ・ [生体構造・機能修復学研究室](#)
 - ・ [医療システム・生体材料工学研究室](#)
 - ・ [口腔生物工学研究室](#)
- [中央研究室](#)
- [歯系総合診療科（口腔総合診療科）](#)
- [口腔健康発育歯科（予防歯科）](#)
- [口腔健康発育歯科（障害者歯科）](#)

- [特殊歯科総合治療部](#)
- [口腔検査センター](#)
- [歯科技工室](#)
- [歯科衛生室](#)
- [歯科診療所](#)
- [医療情報室](#)

創生医科学専攻・探索医科学講座（生体材料学研究室）

（１）職員並びに学生

教授 : 岡崎正之
 准教授 : 若狭邦男
 助教 : 野村雄二, 平田伊佐雄
 大学院生 : 林田知美
 研究生 : 錦織 良

（２）主な研究活動

- 1 : 生体接着分子を付与した機能性生体材料の開発に関する研究
- 2 : アパタイト・コラーゲン複合体の生体親和性に関する研究
- 3 : 自己組織化単分子膜をモデルとした生体と材料の間の相互作用の研究
- 4 : 象牙質接着界面の力学特性および接着理論
- 5 : 光重合レジンフィラーの力学特性
- 6 : 内分泌攪乱物質のバイオアッセイに関する研究
- 7 : 分子レベルにおける歯質接着機構の解明に関する研究
- 8 : インプラントの表面改質に関する研究
- 9 : 多官能性モノマーの合成および重合特性に関する研究
- 10 : キャスタブルガラスセラミックスに関する研究

（３）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : Matsuura A., Kubo T., Doi K., Hayashi K., Morita K., Yokota R., Hayashi H., Hirata I., Okazaki M., Akagawa Y.: Bone formation ability of carbonate apatite-collagen scaffolds with different carbonate contents. *Dent Mater J*, 28: 234-242, 2009.
- 2 : Miake Y., Yamazaki T., Sakae T., Suwa T., Okazaki M.: Morphological and Crystallographic Properties of Tooth Enameloid of Medaka (*Oryzias latipes*). *J Hard Tissue Biol* 18: 111-115, 2009.

B) 総説

- 1 : 岡崎正之：生活習慣病に対するミネラル栄養の重要性：Ca（カルシウム）. *J・JSMUF F* 5: 403-408, 2009.

C) 著書

- 1 : 3. 生体安全性. スタンダード歯科理工学 ―生体材料と歯科材料―第4版 (鈴木一臣 他編) : 岡崎正之 : 学建書院 (東京), pp. 41-51, 2009.
- 2 : バイオマテリアルシリーズ 3. セラミックバイオマテリアル : 岡崎正之, 山下仁大 編著 : コロナ社 (東京), 2009.
- 3 : 2. セラミックス : ますます重要になる細胞周辺環境 (細胞ニッチ) の最新科学技術 (田端泰彦 編) : 岡崎正之 : メディカルドゥ (東京), pp. 60-64, 2009.

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : Interface Affinity between Apatites and Biological Tissues: Okazaki M.: The 3rd International Symposium for Interface Oral Health Science (Sendai), 2009
- 2 : 歯と骨をつくるアパタイトの魅力に迫る : 岡崎正之 : 第13回阪大医療組織工学フォーラム (大阪), 2009
- 3 : Study on cytotoxic and apoptotic influence of dental resin polymerization initiators: Masuki K., Nomura Y., Hirata I., Okazaki M.: The International Workshop on BioDental Education & Research Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences (Hiroshima), 2009
- 4 : Cytotoxic and apoptotic influence of dental disinfectants: Nishikiori R., Nomura Y., Hirata I., Sawajiri M., Okazaki M.: The International Workshop on BioDental Education & Research Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences (Hiroshima), 2009
- 5 : アルコールフリー試作粘膜調整材の動的粘弾性について : 柄博紀, 洪光, 前田武志, 濱田泰三, 赤川安正, 野村雄二, 岡崎正之 : 第53回日本歯科理工学会 (東京), 2009
- 6 : 新世代「接着理論」の展開 ―重合ひずみと接着強さ― : 若狭邦男, 宇野滋, 岡崎正之 : 第53回日本歯科理工学会 (東京), 2009
- 7 : 紫外線吸収剤の内分泌攪乱作用に関する研究 : 林田知美, 野村雄二, 錦織良, 平田伊佐雄, 岡崎正之 : 第53回日本歯科理工学会 (東京), 2009
- 8 : 表面官能基の違いによるリン酸カルシウム沈着の変化 : 藤井絵里, 赤松麻衣, 長井宏樹, 平田伊佐雄, 野村雄二, 若狭邦男, 岡崎正之 : 第42回広島大学歯学会総会 (広島), 2009
- 9 : ポジ感光基板を用いたシリコンスタンプの作製法の開発とその応用 : 長井宏樹, 藤井絵里, 平田伊佐雄, 野村雄二, 若狭邦男, 岡崎正之 : 第42回広島大学歯学会総会 (広島), 2009
- 10 : 新世代「接着理論」の展開 ―重合挙動と破壊秩序― : 若狭邦男, 宇野滋, 岡崎正之 : 第54回日本歯科理工学会 (鹿児島), 2009
- 11 : 新規バイオメテック骨移植材の骨形成能 : 松浦歩, 久保隆靖, 土井一矢, 平田伊佐雄, 岡崎正之, 赤川安正 : 第54回日本歯科理工学会 (鹿児島), 2009
- 12 : Biological interface reaction of CO₃Ap-collagen composites.: Okazaki M.: Composite at Lake Louise 2009 (Lake Louise), 2009
- 13 : Consideration of endocrine disrupting activities of ultraviolet light absorbers in dental composite resins: Hayashida T., Nomura Y., Nishikiori R., Okazaki M.: The 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry (Hiroshima), 2009
- 14 : 各種炭酸アパタイト・コラーゲンスカフォールドの骨再生能 : 岡崎正之, 平田伊佐雄 : 第47回日本人工臓器学会 (新潟), 2009
- 15 : 異なるSAM表面上へのハイドロキシアパタイトのアフィニティー析出 : 岡崎正之, 平田伊

- 佐雄：日本バイオマテリアル学会（京都），2009
- 1 6：Introduction of Researches in our Laboratory – Creation of Highly-Functional Hard Tissue Biomaterials –: Okazaki M.: 生体関連材料部会 10 周年記念シンポジウム（名古屋），2009
- 1 7：Osteoclasts in The Japanese medaka (*Oryzias latipes*) after carbon ion and gamma ray irradiation.: Banik S., Sawajiri M., Nomura Y., Maruyama K., Tanimoto K.: 17th International Congress of Dento-Maxillo-Facial Radiology (Amsterdam), 2009
- 1 8：重粒子線の骨代謝におよぼす影響：澤尻昌彦，野村雄二，滝波修一，丸山耕一，谷本啓二：重粒子平成 20 年度がん治療装置共同利用研究成果発表会（千葉），2009

（4）科学研究費補助金等の受領状況

- 1：科学研究費補助金（基盤研究（B））継続：岡崎正之：炭酸アパタイト・コラーゲン複合体スカフォールドへのアフィニティー化学修飾と機能制御。（課題番号 18390515）. 1,800 千円
- 2：科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：野村雄二：両生類試験法による歯科材料の内分泌攪乱作用評価に関する研究。（課題番号 19592239） 90 千円
- 3：科学研究費補助金（若手研究（B））新規：平田伊佐雄：サイトカインを固定化した機能性チタンインプラントの開発。（課題番号 20791467）. 1,400 千円

（5）学会賞等の受賞状況

- 1：日本歯科理工学会学術講演会発表優秀賞
 受賞者の所属・職・氏名：広島大学大学院医歯薬学総合研究科・助教・平田伊佐雄、学生・藤井絵理、学生・長井宏樹、研修医・赤松麻衣、助教・野村雄二、教授・岡崎正之
 授与者：日本歯科理工学会会長
 授与年月日：平成 21 年 4 月 11 日
- 2：賞の名称：日本歯科理工学会学術講演会発表優秀賞
 受賞者の所属・職・氏名：広島大学大学院医歯薬学総合研究科・大学院生・林田知美、助教・野村雄二、研究生・錦織良、助教・平田伊佐雄、教授・岡崎正之
 授与者：日本歯科理工学会会長
 授与年月日：平成 21 年 10 月 1 日

（6）特許

- 1：野村雄二，宮澤賀津雄：簡易液体噴霧装置：特願 2009-162906
- 2：野村雄二，中村稔：消毒・漂白装置，及び該装置の管理システム：特願 2009-122119

創生医科学専攻・探索医科学講座（口腔生化学研究室）

(1) 職員ならびに学生

教授 : 加藤幸夫
 准教授 : 能城光秀
 助教 : 河本健、藤本勝巳
 留学生 : Tania Saskianti
 契約一般 : 倉本美佐乃

(2) 主な研究活動

- 1: 転写因子DEC1とDEC2が時計遺伝子として、核内受容体と相互作用していること、脂肪代謝の概日リズムに関与していること、血圧制御に関与していることを明らかにしつつある。
- 2: 自然科学支援センターの加藤プロジェクトでは、間葉系幹細胞の増殖と分化能の制御機構を解明しつつある。そしてその情報を基にして各種の無血清培地を開発した。さらに他大学との共同研究でも無血清培地による再生医療の臨床へ向けて開発を進めている。

(3) 研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: The liver X receptors (LXR α and LXR β) are potent regulators for hepatic *Dec1* expression. : Noshiro M, Usui E, Kawamoto T, Sato F, Nakashima A, Ueshima T, Honda K, Fujimoto K, Honma S, Honma K, Makishima M, Kato Y. : *Genes to Cells*, 2009 Jan;14(1):29-40.
- 2: Identification of mesenchymal stem cell (MSC)- transcription factors by microarray and knockdown analyses, and signature molecule-marked MSC in bone marrow by immunohistochemistry. : Kubo H, Shimizu M, Taya Y, Kawamoto T, Michida M, Kaneko E, Igarashi A, Nishimura M, Segoshi K, Shimazu Y, Tsuji K, Aoba T, Kato Y.: *Genes to Cells*, 2009 Mar;14(3):407-24.
- 3: PERIOD1 is an anti-apoptotic factor in human pancreatic and hepatic cancer cells. : Sato F, Nagata C, Liu Y, Suzuki T, Kondo J, Morohashi S, Imaizumi T, Kato Y, Kijima H. : *J Biochem*. 2009 Dec;146(6):833-8.
- 4: The Basic Helix-loop-helix Proteins DEC1 and DEC2 Function as Corepressors of Retinoid X Receptors.: Cho Y, Noshiro M, Choi M, Morita K, Kawamoto T, Fujimoto K, Kato Y, Makishima M. : *Molecular Pharmacology*, 2009 Dec;76(6):1360-9.

B) 総説

- 1: 関節軟骨・滑膜組織に対する高分子ヒアルロン酸の浸透性 : 加藤幸夫、西村正宏、菊池寿幸、澤井高志 : *臨床リウマチ*, 21(1), 20-31, 2009.
- 2: 新無血清培地 STK2 のヒト間葉系幹細胞増殖における有用性について : 石川格、澤田留美、加藤幸夫、辻紘一郎、邵金昌、山田貴史、加藤玲子、土屋利江 : *YAKUGAKU ZASSHI*, 129(3), 381-384, 2009.
- 3: 再生医療を目指した間葉系幹細胞自動培養装置「ゆりかご」の開発 : 坂井将典、桂由紀、

吉橋久男、原真依子、山縣敏彦、加藤幸夫、辻紘一郎：Inflammation and Regeneration, 29(5), 329-332, 2009.

C) 著書

- 1: P450 の分子生物学 第2版 第4章-2 胆汁酸の生合成: 大村恒雄、石村巽、藤井義明編、能城光秀他著: 講談社, 126-134, 2009.
- 2: ライフサイエンス論文を書くための英作文&用例 500: 河本健、大武博: 羊土社 (2009/10)
- 3: ライフサイエンス 文例で身につける英単語・熟語: 河本健、大武博: 羊土社 (2009/07)

D) その他の出版物

E) 学会発表

1) 一般講演

- 1: Novel clock-responsive elements and transcription factors involved in chondrocyte differentiation : Ueshima T, Kawamoto K, Honda K, Noshiro M, Fujimoto K, Gotoh O, and Kato Y. : 平成 20 年度大学院 GP 採択事業 バイオデンティスト育成プログラム International Workshop on BioDental Education & Research 平成 21 年 2 月 7-8 日 広島市 (ポスター発表)
- 2: 滑膜は低分子ヒアルロン酸産生と高分子ヒアルロン酸の分解に関与している: 本田清昌、坂井裕大、河本健、尾崎徳継、西村正宏、加藤幸夫: 第22回日本軟骨代謝学会 平成21年3月6-7日 名古屋市
- 3: 間葉系幹細胞を組み合わせたリン酸オクタカルシウム・コラーゲン複合体の骨再生能 (学会賞・優秀発表賞受賞): 川井忠、穴田貴久、益田大輔、本田義知、坂井裕大、加藤幸夫、鎌倉慎治、越後成志、鈴木治: 第 63 回日本口腔科学会学術集会 平成 21 年 4 月 16-17 日 浜松市 (ポスター発表)
- 4: 間葉系幹細胞の無血清骨分化誘導培養法: 邵 金昌、加藤幸夫: 第 19 回中国・四国骨代謝研究会 平成 21 年 6 月 13 日 岡山市
- 5: ライフサイエンス辞書: 英語での研究論文作成を支援する辞書システムー第 6 報ー: 河本健、大武博、藤田信之、鶴川義弘、竹内浩昭、竹腰正隆、金子周司: 第 42 回広島大学歯学会総会 平成 21 年 6 月 20 日 広島市
- 6: 核受容体による時計遺伝子発現調節機構の解明: 尾崎徳継、能城光秀、本田清昌、河本健、藤本勝巳、谷本幸太郎、加藤幸夫、丹根一夫: 第 42 回広島大学歯学会総会 平成 21 年 6 月 20 日 広島市
- 7: 間葉系幹細胞の分化促進とリン酸オクタカルシウム・コラーゲン複合体への種播による骨再生能の検討: 川井忠、穴田貴久、益田大輔、本田義知、坂井裕大、加藤幸夫、鎌倉慎治、越後成志、鈴木治: 第 54 回日本口腔外科学会学術大会・総会 平成 21 年 10 月 9 日~11 日 札幌市
- 8: 骨髄由来間葉系幹細胞の骨、脂肪、軟骨細胞分化における DEC2 の役割: 笹本智子、藤本勝巳、金輪真佐美、河本健、能城光秀、道田将彦、尾崎徳継、丹根一夫、加藤幸夫: 第 32 回日本分子生物学会年会 平成 21 年 12 月 9~12 日 横浜市 (ポスター発表)
- 9: TGF- β /actin signaling regulates circadian clock through bHLH transcription factor DEC1: 金尚広、

広田毅、河本健、加藤幸夫、坪田匡史、深田吉孝：第 32 回日本分子生物学会年会 平成 21 年 12 月 9～12 日 横浜市（ワークショップ）

10：時計遺伝子発現と癌の発育進展：佐藤冬樹、劉洋、Bhawal Uk、加藤幸夫、鬼島宏：第 32 回日本分子生物学会年会 平成 21 年 12 月 9～12 日 横浜市（ポスター発表）

2) 招待講演

1：Identification of Mesenchymal Stem Cell (MSC)-Transcription Factors by Microarray and Knockdown Analyses, and Signature Molecule-marked MSC in Bone Marrow by Immunohistochemistry. : Yukio Kato : 平成 20 年度大学院 GP 採択事業 バイオデンティスト育成プログラム International Workshop on BioDental Education & Research 平成 21 年 2 月 7-8 日 広島市

2：Identification of Mesenchymal Stem Cell (MSC)-Transcription Factors by Microarray and Knockdown Analyses, and Signature Molecule-marked MSC in Bone Marrow by Immunohistochemistry : Yukio Kato : 口腔から QOL 向上を目指す連携研究 先端歯学国際教育研究ネットワーク 日・米シンポジウム 平成 21 年 2 月 12-13 日 新潟市

3：間葉系幹細胞の STEMNESS を制御する転写因子と成長因子および再生医療における無血清培地の有用性：加藤幸夫：第 8 回日本再生医療学会総会 シンポジウム 7 歯科再生医療の最前線と近未来 平成 21 年 3 月 5-6 日 東京都

4：関節症における高分子ヒアルロン酸の作用メカニズム：加藤幸夫：Japanese Orthopaedic Society of knee, Arthroscopy & Sports Medicine 2009 すずらんセミナー 平成 21 年 6 月 25 日札幌市

5：無血清培地で活性化した間葉系幹細胞による再生医療：加藤幸夫：第 7 回日本再生歯科医学会学術大会および総会 シンポジウム (I) 歯・歯周組織の再生 平成 21 年 9 月 11～12 日北九州市

6：無血清培地で間葉系幹細胞の STEMNESS 分子機構を活性化する：血清再生医療から無血清再生医療への転換：加藤幸夫：第 18 回日本形成外科学会基礎学術集会 特別講演 平成 21 年 10 月 1～2 日 東京都

7：間葉系幹細胞の無血清培養への挑戦：加藤幸夫：第 82 回日本生化学会大会 バイオインダストリーセミナー（ランチョンセミナー）平成 21 年 10 月 21～24 日 神戸市

8：関節症軟骨と滑膜でのヒアルロン酸の作用：浸透性、代謝速度との関係：加藤幸夫：第 24 回日本整形外科学会基礎学術集会 ヌーンタイムセミナー7 平成 21 年 11 月 6 日 横浜市

9：Biological Significance of Serum-Free Cultures for Adult Stem Cells : Y. Kato and J. Shao : 3rd Hiroshima Conference 平成 21 年 11 月 7～8 日 広島市

10：関節内注射した高分子ヒアルロン酸の軟骨と滑膜への浸透性：加藤幸夫：第 24 回日本臨床リウマチ学会 シンポジウム 3 平成 21 年 11 月 21 日 盛岡市

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

1) 科学研究費補助金

1：基盤研究 (C)：藤本勝巳，心筋および神経分化における bHLH 型転写因子 DEC2 の機能解析. 19592147. 900 千円

2) その他

1) 受託研究費

- 1: (独) 科学技術振興機構 研究成果活用プラザ広島における実用化のための育成研究: 加藤幸夫, 間葉系幹細胞 (MSC) の安全性判定法とそれを用いた細胞治療法の事業化. 22,000 千円
- 2: 理化学研究所バイオリソースプロジェクト: 加藤幸夫, ヒト間葉系幹細胞の特性解析研究. 4,000 千円:
- 3: (株) ツーセル: 加藤幸夫, 骨・軟骨組織の再生療法. 1,978 千円

2) 奨学寄付金

- 1: 中外製薬 (株): 加藤幸夫, ヒアルロン酸に関する研究助成 2,000 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

- 1: 加藤幸夫、河本健、辻紘一郎、西村正宏: 誘導性間葉系幹細胞およびその作製方法
(出願番号: 特願 2009-115378 号、2009)
(出願人: 広島大学、(株) ツーセル)
出願日: 平成 21 年 5 月 12 日
- 2: 加藤幸夫、邵金昌、桂由紀、辻紘一郎: 動物細胞を無血清培養するための培地用添加剤、キット及びこれらの利用
(出願人: 独立行政法人科学技術振興機構、(株) ツーセル)
特許番号: 特許第 4385076 号 登録日: 平成 21 年 10 月 2 日

[目次へ戻る](#)

創生医科学専攻・探索医科学講座（口腔細胞生物学研究室）

（2）職員並びに学生

教授 : 内田 隆
助教 : 樋山伸二、渡邊峰朗

（2）主な研究活動

- 1 : エナメル質形成機構の形態学的・分子生物学的研究
- 2 : 骨代謝に関する形態学的・分子生物学的研究
- 3 : 顎顔面領域における関連痛と炎症性サイトカインとの関連性

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : Evidence for the expression of estrogen receptors in osteogenic cells isolated from hen medullary bone.: Hiyama, S., Sugiyama, T., Kusuhara, S., Uchida, T.: Acta Histochem. 2009;111(6):501-507.

B) 総説

C) 著書

- 1 : 内分泌腺：口腔解剖学（井出吉信、前田健康、天野 修編）：内田 隆：医歯薬出版株式会社（東京）、pp136-138, 2009.

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : The regulation of osteoclast differentiation from bone marrow cells during medullary bone formation in estrogen-treated male Japanese quails.: Hiyama, S., Watanabe, M., Uchida, T.: The 31st Annual meeting of American Society for Bone and Mineral Research (Denver), 2009.

- 2 : 神経因性疼痛における P2X7 受容体の役割: 伊藤剛志, 渡邊峰朗, 末川洋平, 犬伏俊博, 高橋拓史, 廣瀬尚人, 樋山伸二, 内田隆, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
- 3 : 歯学部初年時教育における水平横断的 PBL チュートリアル教育: 田地 豪, 田口則宏, 竹本俊伸, 玉本光弘, 宮内美和, 渡邊峰朗, 金輪真佐美, 原 久美子, 里田隆博, 村山 長, 小川哲次, 内田 隆: 第 28 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 (広島), 2009.
- 4 : 三叉神経核の IL-1beta はラットオトガイ神経切断による神経疼痛障害に関与する: 高橋拓史, 渡邊峰朗, 末川洋平, 伊藤剛志, 西 美香, 内田 隆, 丹根一夫: 広島歯科教育科学会議 (広島), 2009.
- 5 : 三叉神経傷害により誘導される疼痛に対するギャップジャンクションの役割.: 末川洋平, 渡邊峰朗, 高橋拓史, 伊藤剛志, 西 美香, 内田 隆, 丹根一夫.: 広島歯科教育科学会議 (広島), 2009.
- 6 : エストロゲン誘導による雄ウズラの骨髄骨形成期における骨髄細胞の破骨細胞分化の調節: 樋山伸二, 渡邊峰朗, 内田隆: 第 27 回日本骨代謝学会 (大阪), 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費 (若手研究 (B)): 樋山伸二, 性ホルモンとその標的因子による骨代謝調節と幹細胞ニッチの制御機構の解明. 課題番号 21791787. 2,600 千円
- 2 : 科学研究費 (基盤研究 (C)): 内田 隆, 歯牙発生時の硬組織形成細胞の分化・機能調節, 基質石灰化における基質蛋白の機能解析. 課題番号 21592329. 1,300 千円

[目次へ戻る](#)

創生医科学専攻・病態探究医科学講座（口腔生理学研究室）

（1）職員並びに学生

教授：柴 芳樹

准教授：廣野 力

講師：杉田 誠

助教：岩佐 佳子

大学院生：丸山 たかね, 井上 麻知子

（2）主な研究活動

1：味覚器・唾液腺等の機能と制御

2：分泌制御とイオンチャネル・トランスポーター機能の分子生理学的解析

3：味覚受容機構

4：口腔粘膜増殖分化制御と細胞間相互作用

5：咀嚼・嚥下と自律神経活動

（3）研究業績

A) 原著

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

1 : Ca^{2+} イオノフォア A23187 で誘導されるラット顎下腺腺房細胞の Cl^- 分泌: 廣野 力, 杉田 誠, 岩佐佳子, 柴 芳樹: 第 51 回歯科基礎医学会学術大会 (新潟), 2009.

2 : Anion secretory functions of acinar and intralobular duct cells in the rat parotid gland: Hirono C., Sugita M., Iwasa Y., Shiba Y.: The 11th International Symposium on Exocrine Secretion (Tokushima), 2009.

3 : Genetic tracing and characterization of the neurons in the nucleus of the solitary tract, receiving specific taste input.: Sugita M., Shiba Y.: The XXXVI International Congress of Physiological

Sciences (Kyoto), 2009.

- 4 : Two phase anion secretion revealed by confocal laser scanning microscopy and gramicidin-perforated patch recording in parotid ducts.: Hirono C., Ohshima K., Sugita M., Iwasa Y., Shintani H., Shiba Y.: The XXXVI International Congress of Physiological Sciences (Kyoto), 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 戦略的創造研究推進事業 個人型研究(さきがけ):継続: 杉田 誠, 味覚により惹起される行動と情動の神経回路基盤. 7,000 千円
- 2 : 科学研究費補助金(基盤研究(C)):新規: 杉田 誠, 大脳皮質の味覚伝導路構成ニューロンの発生工学的トレーシングと味覚識別様式の解明, 700 千円

[目次へ戻る](#)

創生医科学専攻・病態探究医科学講座（歯科薬理学研究室）

(1) 職員並びに学生

教授 : 兼松隆

准教授 : 森田克也

助教 : 北山友也, 原田佳枝

大学院生 : 貴舩幸基, 奥村俊哉 (口腔外科学), 田中寛人 (九州大学歯学府から, 特別研究学生)

研究コース学生 : 5年生 ; 鶴田竜一, 4年生 ; 小川雄也, 菊重奈美, 日南田希

(2) 主な研究活動

- 1 : 中枢神経系における GABA_A 受容体構築の分子基盤解明研究
- 2 : インスリン分泌調節機構の分子基盤解明研究
- 3 : 摂食調節機構, エネルギー代謝機構の解明研究
- 4 : 新規分子を介したオートファジー機構の解明研究
- 5 : 細胞膜輸送蛋白、特に神経伝達物質トランスポーター、ヌクレオシドトランスポーターの神経疾患、脊髄痛覚伝導、薬物作用、薬物中毒、好中球活性化などにおける役割の解析
- 6 : 中枢神経系における痛覚伝導機構、神経因性疼痛発症機序など疼痛とその制御に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Binding of phospholipase C-related but catalytically inactive protein to phosphatidylinositol 4,5-bisphosphate via the PH domain: J. Gao, H. Takeuchi, Z. Zhang, M. Fujii, T. Kanematsu and M. Hirata: *Cell Signal.*, 21, 1180-1186, 2009
- 2 : Involvement of phospholipase C-related inactive protein in the mouse reproductive system through the regulation of gonadotropin levels: Matsuda M, Tsutsumi K, Kanematsu T, Fukami K, Terada Y, Takenawa T, Nakayama KI, Hirata M.: *Biol. Reprod.*, 81, 681-689, 2009
- 3 : Phospholipase C-related but catalytically inactive protein is required for insulin-induced cell surface expression of gamma-aminobutyric acid type A receptors: M. Fujii, T. Kanematsu, H. Ishibashi, K. Fukami, K.I. Nakayama, S.J. Moss, J. Nabekura and M. Hirata: *J. Biol. Chem.*, 285, 4837-4846, 2009

B) 総説

- 1 : Glycine transporter inhibitors as a novel drug discovery strategy for neuropathic pain: T. Dohi, K. Morita, T. Kitayama, N. Motoyama and N. Morioka: *Pharmacology and Therapeutics*, 123, 54-79, 2009

2: 摂食障害と中枢神経障害: 北山友也: 日本神経精神薬理学雑誌, 29, 165-169, 2009

C) 著書

1: 新規分子を介した GABA_A 受容体輸送調節の分子基盤: 兼松隆: ブレインサイエンスレビュー 2009, 伊藤正男・川合述史 編: クバプロ, 東京: pp 103-122, 2009

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: PRIP 欠損マウスは高インスリン血症を示す: 兼松隆, 根本知己, 平田雅人: 第 82 回日本薬理学会年会(横浜), 2009.
- 2: PRIP-1,2 ダブルノックアウトマウスの自発的並びに薬物により誘発される顎運動の特徴: 富山 勝則, 宋莉秋, 安達一典, キンセラ アンソニイ, 小林真之, 兼松隆, 平田雅人, 越川憲明, ワディントン ジョン: 第 82 回日本薬理学会年会(横浜), 2009.
- 3: 血小板活性化因子受容体阻害薬による抗神経因性疼痛作用: 北山友也, 本山直世, 森田克也, 岡広子, 西村英紀, 土肥敏博: 第 82 回日本薬理学会年会(横浜), 2009.
- 4: ニコチンによるヒトドパミントランスポーター遺伝子転写活性の促進作用: 大山和美, 十川千春, 十川紀夫, 森田克也, 土肥敏博, 北山滋雄: 第 82 回日本薬理学会年会(横浜), 2009.
- 5: 神経因性疼痛治療薬としてのグリシントランスポーター阻害薬の可能性: 本山直世, 森田克也, 西村英紀, 兼松隆: 第 29 回日本歯科薬物療法学会(大阪), 2009.
- 6: Involvement of PRIP, a novel signaling molecule in autophagy: H. Umabayashi, M. Fujii, M. Hirata and T. Kanematsu: 21st IUBMB and 12th FAOBMB International Congress of Biochemistry and Molecular Biology, Shanghai, China, 2009.
- 7: ストレプトゾチン誘発有痛性糖尿病モデルに対するグリシントランスポーター(GlyT)阻害薬の寛解作用: 北山友也, 本山直世, 西村英紀, 兼松隆, 森田克也, 土肥敏博: 第 115 回日本薬理学会近畿部会(金沢), 2009.
- 8: Tonic GABAergic transmission is suppressed in PRIP-1 KO mice with epileptic phenotype: S. Ueno, J Yamada, K. Migita, G. Zhu, S. Yoshida, T. Kanematsu and M. Hirata, M. Okada and S. Kaneko: The 28th International Epilepsy Congress, Budapest, Hungary, 2009.
- 9: 糖尿病性疼痛モデルにおけるグリシントランスポーター阻害薬の抗アロディニア作用: 本山直世, 北山友也, 神人友樹, 西村英紀, 兼松隆, 森田克也, 土肥敏博: 第 51 回日本歯科基礎医学会学術大会ならびに総会(新潟), 2009.
- 10: 慢性・難治性疼痛管理における血小板活性化因子(PAF)受容体阻害薬の有用性について: 貴船幸基, 本山直世, 北山友也, 西村英紀, 兼松隆, 森田克也, 土肥敏博: 第 51 回日本歯科基礎医学会学術大会ならびに総会(新潟), 2009.
- 11: Masticatory muscle activity in a rat model of Parkinson's disease: S. Nakamura, N. Kawai, T. Kitayama, M. Watanabe, K. Tanne and E. Tanaka: The 2nd Meeting of the IADR PAPF, 1st Meeting of the IADR APR, Wuhan, China, 2009.
- 12: Pharmacological properties of tonic GABAergic inhibition in the amygdala neurons of PRIP1-KO

- mice: J. Yamada, K. Migita, M. Tomiyama, T. Kanematsu, M. Hirata and S. Ueno: Neuroscience 2009, Chicago, USA.
- 13 : Nociceptive transmission in the trigeminal subnucleus caudalis of PRIP-1, -2 double knockout mice: K. Seo, N. Fujiwara, T. Maeda, T. Kanematsu and M. Hirata: Neuroscience 2009, Chicago, USA.
- 14 : PRIP-dependent complex formation is important for the insulin-induced membrane insertion of GABA_A receptor: M. Fujii, T. Kanematsu and M. Hirata : 第 82 回日本生化学会大会 (神戸), 2009.
- 15 : 痛み発症における血小板活性化因子(PAF)受容体の関与 : 本山直世, 貴船幸基, 森田克也, 北山友也, 神人友樹, 西村英紀, 兼松隆, 土肥敏博 : 第 131 回日本歯科保存学会秋季学術大会(仙台), 2009.
- 16 : Phospholipase C-related catalytically inactive protein negatively modulates insulin secretion in pancreatic β cells: Takashi Kanematsu : The 6th Japan-Korea Conference on Cellular Signaling for Young Scientists, Sasebo, 2009.
- 17 : Glycine transporter inhibitors as a potential therapeutic strategy for neuropathic pain: K. Morita, N. Motoyama, T. Kitayama, T. Kanematsu and T. Dohi: The 6th Japan-Korea Conference on Cellular signaling for Young Scientists, Sasebo, 2009.
- 18 : The improvement of 6-OHDA- induce eating disorder by transplantation of neural progenitor cells in rats: T. Kitayama, K. Morita and T. Kanematsu: The 6th Japan-Korea Conference on Cellular signaling for Young Scientists, Sasebo, 2009.
- 19 : PRIP を介したエネルギー代謝調節機構 : 原田佳枝, 田中寛人, 平田雅人, 兼松隆 : 第 51 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 (新潟) , 2009.
- 20 : *Staphylococcus aureus* infection-induced autophagy in phospholipase C-related inactive protein knockout cells: K. Harada and T. Kanematsu: The 6th Japan-Korea Conference on Cellular Signaling for Young Scientists, Sasebo, 2009.
- 21 : Phospholipase C-related inactive protein (PRIP) binds GEC1, a kappa opioid receptor binding protein: T. Okumura, K. Harada, N. Kamata and T. Kanematsu: The 6th Japan-Korea Conference on Cellular Signaling for Young Scientists, Sasebo, 2009.
- 22 : GABA_A receptor subunit alteration-dependent diazepam insensitivity in the cerebellum of PRIP knockout mice: H. Tanaka, A. Mizokami, M. Hirata and T. Kanematsu: The 6th Japan-Korea Conference on Cellular Signaling for Young Scientists, Sasebo, 2009.
- 23 : 血小板活性化因子 (PAF) の脊髄腔内投与によるアロディニア発症へのグリシン受容体 $\alpha 3$ の関与 : 本山直世, 森田克也, 北山友也, 西村英紀, 土肥敏博 : 第 130 回日本歯科保存学会 (札幌), 2009.
- 24 : PRIP regulates insulin-induced cell surface expression of GABA_A receptors through the ternary complex formation among GABA_A receptor, PRIP and Akt: M. Fujii, T. Kanematsu and M. Hirata: The 6th Japan-Korea Conference on Cellular signaling for Young Scientists, Sasebo, 2009.

F) シンポジウム

- 1 : GABA_A 受容体の輸送に関わるメカニズム : 兼松隆, 平田雅人 : 第 82 回日本薬理学会年会(横浜), 2009.

- 2 : インスリン分泌に関わる新奇分子 PRIP の役割 : 兼松隆 : 平成 21 年度日本生化学会九州支部例会(福岡) , 2009.
- 3 : GABA_A 受容体の膜発現メカニズムと顎・口腔機能の調節 : 兼松隆, 平田雅人 : 第 51 回日本歯科基礎医学会学術大会ならびに総会(新潟), 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (基盤研究(B)) : 兼松隆, GABA シグナリング調節分子による摂食調節メカニズムの解明研究. 課題番号 21390495. 7,800 千円
- 2 : 科学研究費補助金 (戦略的萌芽研究) : 兼松隆, GABA(A)受容体輸送調節分子による神経因性疼痛制御の基礎的研究. 課題番号 21659429. 1,500 千円
- 3 : 科学研究費補助金 (若手研究(B)) : 原田 佳枝, 義歯安定剤使用者のための低生体為害性オーラルセルフケア法の開発. 課題番号 21791898. 2,340 千円
- 4 : 日本糖尿病財団 (研究助成金) : 兼松隆, インスリン開口放出を制御する新規分子の役割解明研究, 1,000 千円
- 5 : 薬理研究会 (研究助成金) : 兼松隆, 新しい神経因性疼痛薬物治療法の開発研究, 1,000 千円
- 6 : 自然科学研究機構生理学研究所共同利用研究 (計画共同研究) : 兼松隆, 2 光子顕微鏡による PRIP 分子を介した開口放出機構の分子基盤解明研究, 課題番号 237. 200 千円

(5) 学術賞等の受賞状況

(6) 特許

創生医科学専攻・先進医療開発科学講座

(口腔顎顔面病理病態学研究室)

(1) 職員並びに学生

教授 : 高田 隆

准教授 : 宮内睦美

講師 : 工藤保誠 (学内)

助教 : 北島正二郎

特別研究員 : 飯塚新二

技術補佐員 : 富田紗希 (5月～2010年2月), 石村暢子 (7月～12月), 位地知美 (10月～2010年3月)

事務補佐員 : 舩田祐子

大学院生 : 坂本宜也子 (D4), Mohammad Reza Keikhaee (D4), 齋広瑩 (D4), 吉田真希 (D3), Elsayed Deraz (D3), 古庄寿子 (D2), Phuong Thao Nyugen (D2), Intan Suraiya Merican Binti Aljunid Merican (D1), 清水なつみ (M1)

(2) 主な研究活動

- 1 : 口腔扁平上皮癌の増殖・進展に関する分子病理学的研究
- 2 : 歯周組織の再生機構に関する実験病理学的研究
- 3 : 歯周組織の破壊機構に関する実験病理学的研究
- 4 : 歯原性および唾液腺腫瘍の細胞分化と診断基準に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

1. Brain-derived neurotrophic factor protects cementoblasts from serum starvation-induced cell death: Kajiya M, Shiba H, Fujita T, Takeda K, Uchida Y, Kawaguchi H, Kitagawa M, Takata T, Kurihara H. : J Cell Physiol, 2009;221:696-706.
2. Effects of improvement in periodontal inflammation by toothbrushing on serum lipopolysaccharide concentration and liver injury in rats: Tomofuji T, Ekuni D, Sanbe T, Azuma T, Tamaki N, Irie K, Maruyama T, Yamamoto T, Watanabe T, Miyauchi M, Takata T. : Acta Odontologica Scandinavica, 2009;67:200-205.
3. RUNX3 has an oncogenic role in head and neck cancer: Tsunematsu T, Kudo Y, Iizuka S, Ogawa I, Fujita T, Kurihara H, Abiko Y, Takata T. : PLoS ONE, 2009;4:e5892.
4. Oncogenic role of nuclear accumulated Aurora-A: Tatsuka M, Sato S, Kanda A, Miki

- T, Kamata N, Kitajima S, Kudo Y, Takata T.: Mol Carcinogen, 2009;48:810-820.
5. Aberrant beta-catenin expression and adenomatous polyposis coli gene mutation in ameloblastoma and odontogenic carcinoma: Siriwardena BS, Kudo Y, Ogawa I, Tilakaratne WM, Takata T.: Oral Oncol, 2009;45:103-108.
 6. Intracellular localization of surviving determines biological behavior in colorectal cancer: Qi G, Tuncel H, Aoki E, Tanaka S, Oka S, Kaneko I, Okamoto M, Tatsuka M, Nakai S, Shimamoto F: Oncol Rep, 2009;22:557-562.
 7. Central giant cell granuloma of the mandible: presentation of a rare case with prominent osteoblastic differentiation mimicking osteosarcoma: Deraz EM, Ogawa I, Miyauchi M, Kudo Y, Nakamoto T, Tani R, Takata T: Oral Medicine & Pathology 2009;14:117-120.
 8. 川添亜希, 宮内睦美, 山野栄三, 石角篤, 田中栄二, 牧野武利, 犬伏俊博, Emanuel Braga Rego, 丹根一夫, 高田隆: 大豆レシチンによるリポソーム化ラクトフェリン経口投与がリポポリサッカライド誘導歯周組織破壊に及ぼす抑制効果: ラクトフェリン 2009:79-83.
 9. 山野栄三, 宮内睦美, 川添亜希, 石角篤, 田中栄二, 丹根一夫, 高田隆: リポポリサッカライド誘導歯周組織破壊に及ぼすリポソーム化ラクトフェリン経口投与の抑制効果-骨芽細胞による破骨細胞形成に及ぼすラクトフェリンの抑制効果: ラクトフェリン 2009:84-89.
 10. 吉岡幸男, 小川郁子, 林堂安貴, 虎谷茂昭, 高田 隆, 岡本哲治. 偽悪性腫瘍変化を伴った下顎歯肉腫瘍の1例. 日本口腔科学会雑誌 (印刷中).

B) 著書

1. 第1章 歯周疾患を正しく理解するための基礎知識. 3. 歯周疾患の病理学的変化. 宮内睦美, 高田 隆. ザ・ペリオドントロジ-第1版: 和泉雄一, 沼部幸博, 山本松男, 木下淳博編集, 末永書店.
2. 7章 2. 歯原性腫瘍. 小川郁子, 高田 隆, 森 昌彦, 口腔外科学 第3版, 白砂兼光, 宮崎 正編集, 医歯薬出版.
3. 第1章 頭頸部 1. 被膜外浸潤 (唾液腺). 小川郁子, 高田 隆, 病理形態学キーワード, 病理と臨床 28(臨時増刊号), 病理と臨床常任編集委員編集, 文光堂.
4. 1. 消化器 口腔粘膜・唾液腺. 小川郁子, 久山佳代, 高田 隆, アトラス 細胞診と病理診断 亀井敏昭, 谷山清己編集, 医学書院.
5. 口腔病変クローズアップ. 高田 隆他, (高田 隆, 小川郁子監修), デンタルダイヤモンド社.

C) その他の出版物

1. 口腔病変クローズアップ 舌背中央部に生じた黒毛舌: 高木紀子, 高橋正光, 小川郁子, 高田 隆: DHstyle 3(27): 12-14, 2009.

2. 口腔病変クローズアップ 右口底部に生じたガマ腫：藤掛文恵，湯浅裕子，翠川鎮生，翠川伊都子，工藤保誠，高田 隆：DHstyle 3(28)：12-14, 2009.
3. 口腔病変クローズアップ 上顎右側歯槽部に生じた上皮真珠：菊田美香，甲原玄秋，宮内睦美，高田 隆：DHstyle 3(29)：12-14, 2009.
4. 口腔病変クローズアップ 歯間乳頭部に生じた乳頭腫：菊田美香，甲原玄秋，北川雅恵，高田 隆：DHstyle 3(30)：12-14, 2009.
5. 口腔病変クローズアップ 下顎骨体部の X 線透過像（エナメル上皮腫）：佐藤亜樹，梅本丈二，工藤保誠，高田隆：DHstyle 3(31)：12-14, 2009.
6. 口腔病変クローズアップ 舌背中央部に生じたリンパ管腫：菊田美香，甲原玄秋，北川雅恵，高田 隆：DHstyle 3(32)：12-13, 2009.
7. 口腔病変クローズアップ 下顎骨体部の X 線透過像（角化嚢胞性歯原性腫瘍）：佐藤亜樹，梅本丈二，北島正二郎，高田 隆：DHstyle 3(33)：10-12, 2009.
8. 口腔病変クローズアップ 根尖部の X 線透過像（歯根肉芽腫）：佐藤亜樹，梅本丈二，宮内睦美，高田 隆：DHstyle 3(34)：10-13, 2009.
9. 口腔病変クローズアップ 右側下顎部に生じた歯根嚢胞：菊田美香，甲原玄秋，宮内睦美，高田 隆：DHstyle 3(35)：10-12, 2009.
10. 口腔病変クローズアップ 下顎前歯部の含歯性嚢胞：菊田美香，甲原玄秋，工藤保誠，高田隆：DHstyle 3(37)：10-13, 2009.
11. 口腔病変クローズアップ 慢性辺縁性歯周炎：渡邊照代，高橋正光，宮内睦美，高田 隆：DHstyle 3(38)：10-13, 2009.
12. 口腔病変クローズアップ ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死：安齋加奈子，白渕公敏，小川郁子，高田 隆：DHstyle 3(39)：10-13, 2009.

E) 学会発表

1. 耳下腺腫瘍 (Pleomorphic adenoma with oncocytic metaplasia)：小川郁子，松浦博夫，高田 隆：第 52 回広島病理集談会（広島市），1 月 10 日，2009.
2. Low-intensity Ultrasound Stimulation Inhibits Root Resorption Induced by the Application of Experimental Force: Toshihiro Inubushi T, Braga Emanuel Rego, Eizo Yamano, Jyunji Otani, Mutsumi Miyauchi, Takashi Takata, Kazuo Tanne: 3rd The International Workshop on Biodental education & Research. February 7-8, 2009. Hiroshima, Japan.
3. Ultrasound stimulation increases PGE₂ production and induces mineral deposition via prostaglandin EP4 receptor activation in mouse cementoblasts: Braga Emanuel Rego, Toshihiro Inubushi, Aki Kawazoe, Mutsumi Miyauchi, Takashi Takata, Kazuo Tanne: 3rd The International Workshop on Biodental education & Research. February 7-8, 2009. Hiroshima, Japan.
4. Influence of elevation of GGT by cholestatic liver disease on bone and LPS induced alveolar bone destruction: Yusuke Kawazoe, Mutsumi Miyauchi, Takashi Takata: 3rd The International Workshop on Biodental education & Research. February 7-8, 2009.

Hiroshima, Japan.

5. Heparin derivative induces bone regeneration: Haruka Imai, Shinji Iizuka, Mutsumi Miyauchi, Takashi Takata: 3rd The International Workshop on Biodental education & Research. February 7-8, 2009. Hiroshima, Japan.
6. 大腸癌における高脂肪食とコーヒーの影響: 嶋本文雄, 齊 広瑩, 木綿敦美, 青木絵里子, 森脇奈美: 第 98 回日本病理学会 (京都市), 5 月 1-3 日, 2009.
7. 歯肉溝滲出液中 γ -グルタミルトランスペプチダーゼ活性を用いた歯周診断システムの構築の可能性について: 川添祐亮, 宮内睦美, 古庄寿子, 新飯田俊平, 高田 隆. 第 52 回日本歯周病学会春季学術大会 (岡山市), 5 月 15-16 日, 2009.
8. 舌腫瘍 (Sialadenoma papilliferum): 小川郁子, 高田 隆, 仲里 巖: 日本病理学会中国四国支部学集會 (第 99 回スライドカンファレンス) (南国市), 6 月 13 日, 2009.
9. Endogenous PGE₂ induced by ultrasound stimulation mediates cementoblast differentiation through the activation of prostaglandin receptors EP2 and EP4: Emanuel B Rego, Toshihiro Inubushi, Aki Kawazoe, Mutsumi Miyauchi, Takashi Takata, Kazuo Tanne. 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島市), 6 月 20 日, 2009.
10. セメント芽細胞の破歯細胞誘導能に対する低出力超音波照射の影響: 犬伏俊博, 田中栄二, レゴエマヌエルブラガ, 谷本幸太郎, 太田厚美, 岡田治久, 宮内睦美, 高田 隆, 丹根一夫. 第 6 回物理刺激研究会 (福岡市), 3 月 28 日, 2009.
11. Expression of survivin in serrated polyps of the large intestine: Fumio Shimamoto, Handan Tuncel, Guangying Qi, Eriko Aoki, Takashi Takata, Masaaki Tatsuka: 34th FEBS congress. July 3-9, 2009. Prague, Czech Republic.
12. 口腔癌におけるユビキチン分解異常による Emil の過剰発現: 工藤保誠, 常松貴明, 飯塚新二, 小川郁子, 高田 隆: 第 28 回 分子病理研究会 (神戸市), 7 月 18-19 日, 2009.
13. 高 γ -glutamyl transpeptidase 血症が骨破壊に及ぼす影響について: 宮内睦美, 川添祐亮, 古庄寿子, 新飯田俊平, 高田 隆, 第 20 回 日本臨床口腔病理学会総会・学術大会 (札幌市), 7 月 29-31 日, 2009.
14. HSulf-1 は頭頸部癌の浸潤を促進する: 吉田真希, 工藤保誠, ヌーウィン ティ フーン タオ, 小川郁子, 高田 隆: 第 20 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会 (札幌市), 7 月 29-31 日, 2009.
15. 口蓋腫瘍 (Infiltrating pleomorphic adenoma with bizarre cells): 小川郁子, 前島俊孝, 北島正二郎, 宮内睦美, 高田 隆: 第 21 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会 (札幌市), 7 月 29-31 日, 2009.
16. 骨形成組織におけるアモロブラスチンの役割と骨再生への応用: 飯塚新二, 工藤保誠, 小川郁子, 宮内睦美, 高田隆: 第 20 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会 (札幌市), 7 月 29 日-31 日, 2009.
17. LPS 刺激による接合上皮での FDC-SP の劇的な変化: 大城暁子, 宮内睦美, 井関祥子, 篠村多摩之: 第 51 回歯科基礎医学会学術大会・総会 (新潟市), 9 月 9-11 日, 2009
18. HSulf-1 promotes the invasion of head and neck cancer: 吉田真希, 工藤保誠, 小川郁子, 高田 隆: 第 68 回日本癌学会学術総会 (横浜市), 10 月 1-3 日, 2009.
19. Abnormal expression of Evi5 and its role for cancer development: 安藤敏範, 工藤

- 保誠, 常松貴明, 高田 隆: 第 68 回日本癌学会学術総会 (横浜市), 10 月 1-3 日, 2009.
20. Co-expression of nuclear Surviving and Aurora-B shows malignant behavior of head and neck cancer : 齊 広瑩, 工藤保誠, 安藤敏範, 吉田真希, 高田 隆: 第 68 回日本癌学会学術総会 (横浜市), 10 月 1-3 日, 2009.
 21. Mechanism of JNK-initiated and SCF^{betaTrCP}-dependent ubiquitination of Cdc25B: 内田早苗, 渡辺信元, 工藤保誠, 善岡克次, 松永 司, 中釜 斉, 山下克美: 第 68 回日本癌学会学術総会 (横浜市), 10 月 1-3 日, 2009.
 22. Expression of chromosomal passenger protein in thyroid cancer : 嶋本文雄, 齊広瑩, 青木絵里子, 森脇奈美, 達家雅明: 第 68 回日本癌学会学術総会(横浜市), 10 月 1-3 日, 2009.
 23. SPON1 によるヒトセメント芽細胞の細胞分化誘導メカニズムについての検討: 北川雅恵, 宮内睦美, 小川郁子, 高田 隆: 第 52 回日本歯周病学会秋季学術大会 (宮崎市), 10 月 11 日, 2009.
 24. 耳下腺腫瘍 (Mucoepidermoid carcinoma arising in Warthin tumor) : 小川郁子, 高田 隆, 武島幸男, 井内康輝: 日本病理学会中国四国支部学術集会 (第 100 回スライドカンファレンス) (倉敷市), 11 月 7 日, 2009.
 25. Regeneration of bone by ameloblastin: Shinji Iizuka, Masae Kitagawa, Yasusei Kudo, Ikuko Ogawa, Mutsumi Miyauchi, Takashi Takata: 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry. November 8, 2009. Hiroshima, Japan.
 26. Heparin derivative induces bone regeneration: Haruka Imai, Shinji Iizuka, Mutsumi Miyauchi, Takashi Takata: 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry. November 8, 2009. Hiroshima, Japan.
 27. Anti-Inflammatory effects of soybean lecithin liposomal lactoferrin: Aki Kawazoe, Mutsumi Miyauchi, Toshihiro Inubushi, Braga Emanuel Rego, Eizo Yamano, Atsushi Ishikado, Kazuo Tanne, Takashi Takata: 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry. November 8, 2009. Hiroshima, Japan.
 28. リポソーム化ラクトフェリン経口投与の抗炎症効果 : 川添亜希, 犬伏俊博, Rego Emanuel Braga, 山野栄三, 石角篤, 高田 隆, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会大会 (福岡市), 11 月 16-18 日, 2009.
 29. Elevation of γ -glutamyl transpeptidase with cholestatic liver diseases is a potential risk factor of osteoporosis and periodontal disease: Takashi Takata, Yusuke Kawazoe, Mutsumi Miyauchi, Shumpei Niida: 32nd The Annual Scientific Meeting of the Association for Dental Sciences of the Republic of China. November 27-29, 2009, Kao-hsiung, Taiwan.
 30. 大腸鋸歯腺癌の染色体パッセンジャー蛋白の検討: 嶋本文雄, 齊 広瑩, 青木絵里子, 政池美穂, 達家雅明: 第 20 回日本消化器癌発生学会 (広島市), 11 月 28-29 日, 2009.
 31. 耳下腺腫瘍 (Epithelial-myoepithelial carcinoma) : 小川郁子, 植村芳子, 高田 隆: 第 11 回唾液腺腫瘍病理研究会 (東京都), 12 月 4 日, 2009.
 32. Mucoepidermoid carcinoma arising in Warthin tumor の 1 例: 小川郁子, 武島幸男, 井内康輝, 高田 隆: 第 54 回日本唾液腺学会学術大会 (東京都), 12 月 5 日, 2009.
 33. B56alpha-PP2A regulates chromosome alignment and stability : 北島正二郎, 工藤保誠,

高田 隆：第 32 回日本分子生物学会年会（横浜市），12 月 9-12 日，2009.

34. Sequence requirement for degradation of Cdc25B by SCF^{betaTrCP} in response to cellular stress:内田早苗, 渡辺信元, 工藤保誠, 松永 司, 中釜 齊, 山下克美: 第 32 回日本分子生物学会年会（横浜市），12 月 9-12 日，2009.

F) 学会シンポジウム，特別講演

1. 癌細胞におけるユビキチン分解異常によってもたらされる細胞周期調節の異常：工藤保誠：第 7 回口腔医科学フロンティア（徳島市），3 月 7 日，2009.
2. コンパニオンミーティング「最近話題の唾液腺腫瘍」小唾液腺腫瘍および腫瘍類似病変の特殊性：小川郁子, 高田 隆：第 98 回日本病理学会総会（京都市），5 月 1-3 日，2009.
3. コンパニオンミーティング「最近話題の唾液腺腫瘍」多型低悪性度腺癌：高田 隆, 小川郁子：第 98 回日本病理学会総会（京都市），5 月 1-3 日，2009.
4. 歯周組織再生再考：高田 隆：広島大学同窓会愛媛県支部講演（松山市），5 月 9 日，2009.
5. サテライトシンポジウム「次世代を担う若手シンポジウム：生命科分野で活躍する D. D. S. 研究者の多様性」APC/C ユビキチンリガーゼ複合体の制御機構と癌化：工藤保誠, 高田隆：第 51 回歯科基礎医学会学術大会・総会（新潟市），9 月 9-11 日，2009.
6. Application of liposomal lactoferrin to prevention and treatment of periodontitis：高田 隆：ホーチミン市医科薬科大学特別講演（ホーチミン市，ベトナム），12 月 28 日，2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

1. 科学研究費補助金（基盤研究(A)）高田 隆（代表，新規），口腔癌の浸潤・転移機構の解明とその悪性度診断ならびに遺伝子治療への応用 18,300 千円
2. 科学研究費補助金（基盤研究(C)）宮内睦美（代表，新規）， γ -GTP を標的とした新規骨疾患治療法開発に関する検討 1,600 千円
3. 科学研究費補助金（若手研究(A)）工藤保誠（代表，継続），APC/C ユビキチンリガーゼの活性を阻害する Emil の過剰発現と癌化との関連 4,000 千円
4. 科学研究費補助金（若手研究 (B)）北島正二郎（代表，継続），Aurora-A の安定化を制御するリン酸化調節機構と口腔癌におけるその異常 1,500 千円
5. 科学研究費補助金（特別研究員）飯塚新二（代表，継続），アメロブラスチン合成ペプチドの骨再生機序の解明と骨再生誘導療法への応用 600 千円
6. 科学研究費補助金（特別研究員）齊 広瑩（代表，継続），口腔癌における survivin と Aurora-B の発現異常とその意義に関する研究 600 千円
7. 厚生科研 高田 隆（分担，新規）：高齢者の健康及び疾病状態の把握のための新たなマーカー（遺伝子・蛋白等）の探索と分析に係る研究 3,000 千円
8. サタケ教育研究助成 北島正二郎（代表，新規）：PP2A によるタンパク脱リン酸化を介した細胞分裂調節メカニズムの解明, 300 千円
9. 財団法人黒住医学研究振興財団 2009 年度研究助成金 工藤保誠（代表，新規），頭頸部癌

- の浸潤に関わる新規因子である Periostin を指標とした悪性度診断の確立 900 千円
10. 伊藤超短波株式会社 高田 隆 (代表), 超音波照射の歯周組織への影響の検討 4500 千円
 11. 広島市医師会委任経理金 高田 隆 (代表) 200 千円
 12. 三菱三原病院委任経理金 高田 隆 (代表) 105 千円
 13. 広島県腫瘍登録事業 高田 隆 (代表) 20,575 円

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 飯塚新二: Poster presentation award on The international Workshop on Bio-dental Education & Research. Hiroshima 2009年2月8日(広島)
- 2: 安藤敏範: 第42回広島大学歯学会総会奨励賞 2009年7月21日(広島)
- 3: 北島正二郎: サタケ教育研究助成金 2009年7月21日(広島)
- 4: 吉田真希: 優秀ポスター賞 第20回日本臨床口腔病理学会 2009年7月31日(札幌)
- 5: 工藤保誠: 黒住医学振興財団 平成21年度研究助成金 2009年10月23日(東京)
- 6: 飯塚新二: ポスター賞 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry 2009年11月8日(広島)
- 7: 飯塚新二: Excellent Young Researchers Overseas Visit Program に採択 2009年12月1日

(6) 特許

なし

[目次へ戻る](#)

創生医科学専攻・先進医療開発科学講座（歯周病態学研究 室）及び口腔維持修復歯科（歯周病診療科）

（3）職員並びに学生

教授	: 栗原英見
准教授	: 河口浩之
講師	: 柴 秀樹
助教	: 日野孝宗, 長谷川直彦, 藤田 剛, 水野智仁, 内田雄士, 武田克浩, 岩田倫幸, 應原一久
医員	: 小川文野, 川村優人
研修医	: 北本泰子, 岸本亮義, 永原隆吉
大学院生	: 岩崎代利子, 仁井谷善恵, 松田真司, 上田 武, 谷口雄亮, 畠山知子, 片桐菜穂子, 橘高瑞穂, 小西昭弘, 宮川剛史, 和田健司

（2）主な研究活動

- 1: 歯周炎の発症に関する免疫学的研究
- 2: 骨髄間葉系幹細胞を用いた歯周組織再生に関する研究
- 3: 神経栄養因子を用いた歯周組織再生に関する研究
- 4: 歯周靭帯由来細胞, 歯髓細胞の生理機能や分化に関する研究
- 5: 歯周病原性細菌の病原因子に関する研究
- 6: 歯周病原性細菌と宿主細胞との相互作用に関する研究
- 7: 歯内・歯周療法に関する臨床的研究
- 8: ストレスと歯周病に関する研究

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Neodymium-doped yttrium-aluminium-garnet laser irradiation abolishes the increase in interleukin-6 levels caused by peptidoglycan through the p38 mitogen-activated protein kinase pathway in human pulp cells. :Shiba H, Tsuda H, Kajiya M, Fujita T, Takeda K, Hino T, Kawaguchi H, Kurihara H. J Endod. 35(3):373-6. 2009
- 2: Brain-derived neurotrophic factor protects cementoblasts from serum starvation-induced cell death. :Kajiya M, Shiba H, Fujita T, Takeda K, Uchida Y, Kawaguchi H, Kitagawa M, Takata T, Kurihara H. J Cell Physiol. 2009 Dec;221(3):696-706.
- 3: Ceruloplasmin induces polymorphonuclear leukocyte priming in localized aggressive periodontitis. :Iwata T, Kantarci A, Yagi M, Jackson T, Hasturk H, Kurihara H, Van Dyke TE. J Periodontol. 2009 Aug;80(8):1300-6.
- 4: PDK1 regulates chemotaxis in human neutrophils. :Yagi M, Kantarci A, Iwata T, Omori K, Ayilavarapu S, Ito K, Hasturk H, Van Dyke TE. J Dent Res. 2009 Dec;88(12):1119-24. Epub 2009

Nov 5.

- 5: RUNX3 has an oncogenic role in head and neck cancer. :Tsunematsu T, Kudo Y, Iizuka S, Ogawa I, Fujita T, Kurihara H, Abiko Y, Takata T. :PLoS One. 2009 Jun 12;4(6):e5892.
- 6: Hydrogen mediates suppression of colon inflammation induced by dextran sodium sulfate. :Kajiya M, Silva MJ, Sato K, Ouhara K, Kawai T. :Biochem Biophys Res Commun. 2009 Aug 14;386(1):11-5. Epub 2009 May 30.
- 7: Hydrogen from intestinal bacteria is protective for Concanavalin A-induced hepatitis. :Kajiya M, Sato K, Silva MJ, Ouhara K, Do PM, Shanmugam KT, Kawai T. :Biochem Biophys Res Commun. 2009 Aug 21;386(2):316-21. Epub 2009 Jun 10.
- 8: X線写真上の根管充填状態と根尖部透過像の有無との関係 : 北本泰子, 日野孝宗, 内田雄士, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 日歯内療誌, 30 巻 : 182-187. 2009.
- 9: 感受性試験に基づく抗菌薬の経口投与を併用した感染根管治療症例 : 内田雄士, 仁井谷幸, 北本泰子, 日野孝宗, 小川郁子, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 日歯内療誌, 30(3) : 188-194, 2009

C) 著書

- 1: 歯周疾患の全身性修飾因子 ; ザ・ペリオドントロジー (和泉雄一, 沼部幸博, 山本松男, 木下淳博 編) : 柴 秀樹, 栗原英見 : 永末書店, 京都, 79-81, 2009.

D) 学会発表

- 1: 感染根管治療への根管内細菌嫌気培養検査の有効性 : 北本泰子, 内田雄士, 日野孝宗, 柴秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 日本歯内療法学会学術大会 (4 月 ; 東京)
- 2: 感受性試験に基づく抗菌薬の経口投与を併用した感染根管治療症例 : 内田雄士, 仁井谷 幸, 北本泰子, 日野孝宗, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 日本歯内療法学会学術大会 (4 月 ; 東京)
- 3: β -三リン酸カルシウムによる骨髄間葉系幹細胞の骨分化誘導を併用した歯周組織再生療法の開発 : 永原 隆吉, 河口浩之, 武田克浩, 藤田 剛, 林田浩一, 河原和子, 坂井宣之, 上田 武, 辻 紘一郎, 栗原英見 : 第 52 回日本歯周病学会春季学術大会 (5 月 ; 岡山)
- 4: 歯肉上皮における claudin-1 の発現およびその機能 : 藤田 剛, 林田浩一, 柴 秀樹, 加治屋幹人, 柴 秀樹, 岸本亮義, 内田雄士, 松田真司, 河口浩之, 栗原英見 : 第 52 回日本歯周病学会春季学術大会 (5 月 ; 岡山)
- 5: 脳由来神経栄養因子 (BDNF) は血管内皮細胞の遊走, 細胞間接着を促進する : 松田真司, 藤田剛, 武田克浩, 柴秀樹, 河口浩之, 辻紘一郎, 栗原英見 : 第 93 回広島大学歯学会 (6 月 ; 広島)
- 6: 感染根管治療への根管内細菌嫌気培養検査の評価 : 北本泰子, 内田雄士, 日野孝宗, 柴秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 第 48 回広島県歯科医学会 ; 第 93 回広島大学歯学会 (6 月 ; 広島)
- 7: 感受性試験に基づく抗菌薬の経口投与を併用した感染根管治療症例 : 内田雄士, 北本泰子, 日野孝宗, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 第 93 回広島大学歯学会 (6 月 ; 広島)
- 8: 歯科給水系統からの従属栄養細菌の検出 : 仁井谷善恵, 日野孝宗, 應原一久, 林田浩一, 松本厚枝, 柴秀樹, 河口浩之, 竹本俊伸, 栗原英見 : 第 93 回広島大学歯学会 (6 月 ; 広島)
- 9: Porphyromonas gingivalis の口臭関連ガス産生能の分析 : 岩崎代利子, 日野孝宗, 應原一久, 長谷川直彦, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 第 93 回広島大学歯学会 (6 月 ; 広島)
- 10: 細胞間接着装置及びケモカインに着目した歯肉上皮細胞の防御機構の解明 : 藤田 剛, 柴 秀樹, 加治屋幹人, 岸本亮義, 内田雄士, 林田浩一, 松田真司, 河口浩之, 栗原英見 : 第 130 回日本歯科保存学会春季学術大会 (6 月 ; 札幌)
- 11: ラット歯肉上皮組織における claudin-1,3,7 の局在 : 林田浩一, 藤田剛, 柴秀樹, 岸本亮義, 河口浩之, 栗原英見 : 第 130 回日本歯科保存学会春季学術大会 (6 月 ; 札幌)
- 12: 歯肉上皮細胞の細胞間結合に及ぼすマレイン酸イルソグラジンの影響 : 岸本亮義, 藤田 剛, 柴 秀樹, 林田浩一, 内田雄士, 河口浩之, 栗原英見 : 第 130 回日本歯科保存学会春季学術

- 大会（6月；札幌）
- 13: 脳由来神経栄養因子 (BDNF) は血管内皮細胞の VE-cadherin の発現を p44/42 MAP kinase を介して促進する：松田真司, 藤田剛, 加治屋幹人, 武田克浩, 柴秀樹, 河口浩之, 辻紘一郎, 栗原英見：第 130 回日本歯科保存学会春季学術大会（6月；札幌）
 - 14: 接合上皮における claudin-1 の発現について：藤田 剛, 林田浩一, 柴 秀樹, 栗原英見：第 51 回歯科基礎医学会（9月；新潟）
 - 15: 嫌気培養による根管内細菌検査の有用性：北本泰子, 内田雄士, 日野孝宗, 柴秀樹, 河口浩之, 北川雅恵, 小川郁子, 栗原英見：第 2 回日本口腔検査学会（10月；広島）
 - 16: *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* に対する血清 IgG 抗体価検査は歯周病型の診断に有用か？：小川文野, 日野孝宗, 川村優人, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見：第 2 回日本口腔検査学会（10月；広島）
 - 17: 根管治療への根管内細菌嫌気培養検査の有効性：北本泰子, 日野孝宗, 内田雄士, 柴秀樹, 河口浩之, 栗原英見：広島大学歯学会（10月；広島）
 - 18: 脳由来神経栄養因子(BDNF)と高分子ヒアルロン酸を用いた歯周組織再生療法の開発—高分子ヒアルロン酸のヒト歯周靭帯細胞に及ぼす影響—：武田克浩, 永原隆吉, 柴 秀樹, 藤田 剛, 松田真司, 河口浩之, 橋本正道, 辻紘一郎, 栗原英見：日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会（第 131 回）（10月；仙台）
 - 19: 歯科給水系統で使用されるチューブからの従属栄養細菌の検出：仁井谷善恵, 日野孝宗, 應原一久, 林田浩一, 柴秀樹, 河口浩之, 竹本俊伸, 栗原英見：日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会（第 131 回）（10月；仙台）
 - 20: *Porphyromonas gingivalis* の口臭関連ガス産生能について：岩崎代利子, 日野孝宗, 應原一久, 長谷川直彦, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見：第 52 回日本歯周病学会学術大会（秋季）（10月；宮崎）
 - 21: 脳由来神経栄養因子 (BDNF) は血管新生を促進する：松田真司, 藤田剛, 加治屋幹人, 武田克浩, 柴秀樹, 河口浩之, 辻紘一郎, 栗原英見：第 52 回日本歯周病学会学術大会（秋季）（10月；宮崎）
 - 22: マレイン酸イルソグラジンは *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* による歯肉上皮のケモカイン産生及び E-cadherin 発現を制御する：藤田 剛, 岸本亮義, 柴 秀樹, 林田浩一, 内田雄士, 武田克浩, 宮川剛史, 松田真司, 河口浩之, 栗原英見：第 52 回日本歯周病学会学術大会（秋季）（10月；宮崎）
 - 23: Brain-derived Neurotrophic Factor / Hyaluronic Acid Complex Enhances Periodontal Tissue Regeneration :KATSUHIRO TAKEDA, NORIYUKI SAKAI , HIDEKI SHIBA, HIROYUKI KAWAGUCHI, KOUICHIRO TSUJI, HIDEKI KURIHARA :87th General session and Exhibition of the international association for dental research (April; Miami, USA)
 - 24: Distribution of cortisol and the cell adhesion proteins in gingival tissue from aggressive periodontitis. :Koichi Hayashida, Noriko Tsunekuni, Mikihiro Kajiya, Tsuyoshi Fujita, Hideki Shiba, Yushi Uchida, Hiroyuki Kawaguchi, Hidemi Kurihara :87th General session and Exhibition of the international association for dental research (April; Miami, USA)
 - 25: Preventive effect of irsogladine maleate for periodontal disease :Akiyoshi Kishimoto, Tsuyoshi Fujita, Hideki Shiba, Kouichi Hayashida, Yuushi Uchida, Hiroyuki Kawaguchi, Hidemi Kurihara :87th General session and Exhibition of the international association for dental research (April; Miami, USA)
 - 26: Irsogladine maleate abolishes IL-8 production through ERK in human epithelial cells :Tsuyoshi Fujita, Akiyoshi Kishimoto, Hideki Shiba, Mikihiro Kajiya, Katsuhiko Takeda, Kouichi Hayashida, Yushi Uchida, Shinji Matsuda, Hiroyuki Kawaguchi, Hidemi Kurihara :87th General session and Exhibition of the international association for dental research (April; Miami, USA)
 - 27: Brain-derived Neurotrophic Factor(BDNF) enhances endothelial cell migration :Shinji Matsuda, Tsuyoshi Fujita, Mikihiro Kajiya, Katsuhiko Takeda, Hideki Shiba, Hiroyuki Kawaguchi, Kouichiro Tsuji, Hidemi Kurihara :87th General session and Exhibition of the international association for dental research (April; Miami, USA)
 - 28: Ceruloplasmin Regulates Superoxide Generation in LAP Neutrophils :Tomoyuki iwata, Alpdogan Kantarci, Motohiko Yagi, Amanda Blackwood, Tina Jackson, Taisuke Ohira, Hatice Hasturk, Hidemi Kurihara, Thomas E. Van Dyke :87th General session and Exhibition of the international association

- for dental research (April; Miami, USA)
- 29: Preventive effect of irsogladine maleate for periodontal disease :Akiyoshi Kishimoto, Tsuyoshi Fujita, Hideki Shiba, Kouichi Hayashida, Yuushi Uchida, Hiroyuki Kawaguchi, Hidemi Kurihara :3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry (November; Hiroshima)
- 30: Brain-derived Neurotrophic Factor (BDNF) Enhances Angiogenesis through ERK Signaling. :Shinji Matsuda, Tsuyoshi Fujita, Katsuhiko Takeda, Hideki Shiba, Hiroyuki Kawaguchi, Kouichiro Tsuji, Hidemi Kurihara :3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry (November; Hiroshima)

F) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1: シンポジウム: 再生医療「自己骨髄間葉系幹細胞移植による歯周組織再生の臨床研究」: 河口浩之, 栗原英見: 日本組織培養学会第82回大会(5月)
- 2: 「歯周病・インプラントにおける口腔検査の実際」日本口腔検査学会の集い: 栗原英見: 第39回口腔インプラント学会学術大会 (9月)
- 3: 「新規歯周組織再生治療法の開発」: 栗原英見: 東京歯科大学学会 シンポジウム (10月)
- 4: 「Periodontal tissue regeneration with brain-derived neurotrophic factor」: Hidemi Kurihara :ADS-ROC annual meeting (November)

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金(若手研究(スタートアップ))新規: 應原 一久, 上皮細胞が産生するIgG能動輸送タンパク質FcRnによる歯周炎治療法の開発. 課題番号 21890165. 1,350千円
 - 2: 科学研究費補助金(若手研究(B))新規: 林田浩一, 細胞分化誘導シグナルとしての担体を併用した歯周組織再生療法の検討 課題番号 21792121 1950千円
 - 3: 科学研究費補助金(基盤研究(B)) : 栗原英見, サイトカイン再生療法をオーダーメイド医療として展開するための基礎研究 課題番号 21390557 8200千円
 - 4: 科学研究費補助金(若手研究(B)) : 水野智仁, 血族婚家系に発症する侵襲性歯周炎の原因遺伝子同定 課題番号 21792122 2200千円
 - 5: 科学研究費補助金(若手研究(B)) : 藤田剛, 歯周組織におけるマレイン酸イルソグラジンの抗炎症作用の解析 課題番号 20791613 1600千円
 - 6: 科学研究費補助金(基盤研究(C)) : 柴秀樹, 多機能分子としてのLL37の歯周炎予防と歯周組織再生における有用性 課題番号 20592430 1100千円
 - 7: 科学研究費補助金(若手研究(B)) : 武田克浩, 脳由来神経栄養因子と高分子ヒアルロン酸を用いた歯周組織再生治療薬の開発 課題番号 20791466 1500千円
 - 8: 科学研究費補助金(基盤研究(C)) : 栗原英見, ヒト骨髄由来間葉系細胞を用いた安全・安心な細胞治療を行うための基盤整備研究 課題番号 20592334 80千円(岡本康正先生の出担金)
- 科学研究費補助金(奨励) : 岩崎代利子, メチルメルカプタン高産生能を示す*P. gingivalis*の特性 課題番号 21932003 470千円

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 柴 秀樹: 抗菌ペプチドLL37によるヒト歯髄細胞の炎症性サイトカイン発現制御: 2009年度(第5回)日本歯内療法学会デンツブライ賞受賞
- 2: 北本泰子 他: 嫌気培養による根管内細菌検査の有用性: 第2回日本口腔検査学会 優秀ポスター賞
- 3: 松田真司 他: 脳由来神経栄養因子(BDNF)は血管内皮細胞の遊走, 細胞間接着を促進する: 第93回広島大学歯学会 奨励賞セッション 奨励賞受賞

展開医科学専攻・病態情報医科学講座（粘膜免疫学研究室）

（１）教員ならびに学生

教授 : 高橋一郎
准教授 : 飛梅圭
大学院生 : 當房浩一（医歯科学修士）

（２）主な研究活動

- 1 : 粘膜免疫システムの作動原理とその生物学的意義に関する研究
- 2 : プログラム細胞死の分子機構に関する研究

（３）研究業績

A) 原著

- 1: Iriyama T, Takeda K, Nakamura H, Morimoto Y, Kuriowa T, Mizukami J, Umeda T, Noguchi T, Naguro I, Nishito H, Saegusa K, Tobiume K, et al. ASK1 and ASK2 differentially regulate the counteracting roles of apoptosis and inflammation in tumorigenesis. *EMBO J.* 28: 843-853, 2009.
- 2: Kawaguchi K, Araki K, Tobiume K, Tanaka N. Loss of p53 enhances catalytic activity of IKK-beta through O-linked beta-N-acetyl glucosamine modification. *Proc. Natl Sci. USA* 106: 3431-3436, 2009.

B) 総説

1. Takahashi I, Nochi T, Yuki Y, Kiyono H. New horizon of mucosal immunity and vaccines. *Current Opinion in Immunology.* 21: 352-358, 2009.

C) 著書

- 1: 岩本めぐみ、高橋一郎. 予防接種（ワクチン接種）；免疫学イラストレイティッド原著第7版，325-340頁（総16頁），平成21年，南江堂.
- 2: 高橋一郎，清野宏. 粘膜免疫「口腔内科学」尾崎登喜夫編，82-92頁，平成21年，飛鳥出版局.

D) その他の出版物

E) 学会発表

1) 招待講演

1. Takahashi, I. A role of mucosal T cells in determining the outcome of commensal bacteria-triggered inflammatory bowel disease. 大阪大学微生物病研究所タイ感染症共同研究センター主催セミナー, 2009年, バンコク, タイ王国.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

1. 若手研究 (B) : 飛梅圭 : p53 機能喪失がん細胞特異的アポトーシス誘導経路の解明. (課題番号 21791823), 3,900 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

展開医科学専攻・病態情報医科学講座(歯科放射線学研究室) 及び口腔再建外科(歯科放射線科)

(1) 職員並びに学生

教授 : 谷本啓二 (*) 科長 : 谷本啓二 (併任)
 准教授 : 藤田 實
 講師 : 末井良和 (診療准教授), 中元 崇
 助教 : 長崎信一, 大塚昌彦, 澤尻昌彦, 小西 勝
 大学院生 : バニック・サミール, 安原幸美, 小西 勝, 清水充子, 太田清人

(2) 主な研究活動

- 1 : 顎骨単純性骨嚢胞のエックス線学的分類
- 2 : 顎骨骨髓炎のエックス線学的検討
- 3 : 診断用X線領域における線量測定の研究
- 4 : 口腔癌放射線治療(小線源治療)の局所制御率の改善に関する検討
- 5 : 嚥下造影検査食品に関する研究
- 6 : 重粒子線の骨代謝におよぼす研究

(3) 研究業績

B) 総説

- 1 : 口腔癌放射線治療の現状と展望 -歯科放射線科と放射線治療の実態調査- : 藤田 實 : 日本口腔腫瘍学会誌, 21 : 184-189, 2009.

C) 著書

- 1 : 第10章 歯科X線撮影法 ; クラーク X線撮影技術学 (島本佳寿広, 山田和美, 齋藤陽子, 丸橋一夫 (監訳)) : 大塚昌彦 : 西村書店 (東京), 281-331, 2009.
- 2 : 新版 歯科診療における放射線の管理と防護 人体への影響の正しい知識と理解 (佐々木武仁, 島野達也編) : 藤田 實 : 医歯薬出版 (東京), 66-74, 2009.
- 3 : 化学放射線療法 : がん化学療法・分子標的治療 update (西條長宏, 西尾和人編) : 永田 靖, 村上祐司, 権丈雅浩, 兼安祐子, 木村智樹, 西淵いくの, 藤田 實 : 中外医学社 (東京), 412-417, 2009.

E) 学会発表

- 1 : 歯科（口内法）用 CR システムにおける IP の画像劣化とその対策：田村恵美，山根由美子，大塚昌彦，山下俊光，大黒俊樹，隅田博臣，高羽順子：日本放射線技術学会第 65 回総会学術大会（横浜），2009.
- 2 : 広島大学病院における口内法デジタル画像運用：中元崇，高羽順子，山本勇一郎，谷本啓二：第 50 回日本歯科放射線学会学術大会（大阪），2009.
- 3 : 早期頬粘膜癌に対する放射線治療（他施設調査報告）：中田健生、晴山雅人、渋谷 均、山田省吾、藤田 實、武本充広、西岡健太郎、青木昌彦、喜多みどり、大泉幸雄、平川浩一：第 33 回日本頭頸部癌学会（札幌），2009.
- 4 : 口腔癌放射線治療の現状と展望 - 歯科放射線科と放射線治療の実態調査- シンポジウム 2 「口腔癌放射線治療の現状と展望」：藤田 實：第 27 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会（宇都宮），2009.
- 5 : 嚥下造影検査における造影剤の希釈による粘性の変化：小西 勝，安原幸美，長崎信一，谷本啓二，山縣誉志江，栢下 淳：第 60 回中国地区歯科医学大会（広島），2009
- 6 : Osteoclasts in The Japanese medaka (*Oryzias latipes*) after carbon ion and gamma ray irradiation. : Banik S., Sawajiri M., Nomura Y., Maruyama K., Tanimoto K. : 17th International Congress of Dento-Maxillo-Facial Radiology (Amsterdam), 2009.
- 7 : 重粒子線の骨代謝におよぼす影響：澤尻昌彦、野村雄二、滝波修一、丸山耕一、谷本啓二：日本放射線影響学会（広島），2009.
- 8 : 重粒子線の骨代謝におよぼす影響：澤尻昌彦、野村雄二、滝波修一、丸山耕一、谷本啓二：重粒子平成20年度がん治療装置共同利用研究成果発表会（千葉），2009.

F) 適宜追加

依頼講演

- 1 : 診断用 X 線領域における線量測定について：大塚昌彦：第 37 回日本放射線技術学会秋季学術大会（岡山），2009.
- 2 : 重粒子放射線の生物影響：澤尻昌彦：第 3 回佐賀大学医学部総合分析実験センターセミナー（佐賀），2009

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金（基盤研究(C)）：澤尻昌彦，放射線照射メダカによる骨代謝障害予防法の開発. 課題番号 20592201. 800 千円

展開医科学専攻・病態制御医科学講座

(口腔成長・発達生物学研究室)

(1) 職員ならびに学生

教授 前田憲彦

准教授 吉子裕二

助教 南崎朋子、吉岡広陽

研究員 北畠聖子

大学院生 錦織亜矢

学生 小間義朗、入江泰正

(2) 主な研究活動

- 1 : 咀嚼システムの発達と老化に関する機能形態学的研究
- 2 : 脳の再生に関する基礎的研究
- 3 : 間葉系細胞の分化機構に関する研究
- 4 : 骨組織の発生、分化に関する分子細胞生物学的研究
- 5 : 歯の発生、分化に関する分子細胞生物学的研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Dynamic nuclear organization of constitutive heterochromatin during fetal male germ cell development in mice. Yoshioka H, McCarrey JR, Yamazaki Y. *Biology of Reproduction* 80: 804-812, 2009
- 2 : EP2 and EP4 receptors differentially mediate MAPK pathways underlying anabolic actions of prostaglandin E₂ on bone formation in rat calvaria cell cultures. Minamizaki T, Yoshiko Y, Kozai K, Aubin JE, Maeda N. *Bone* 44(6), 1177-1185, 2009.

B) 総説

- 1 : 低リン血症にみる歯の形成の分子基盤. 吉子裕二, 南崎朋子, 吉岡広陽, 鈴木清香, 前田憲彦. *広島歯誌* (36), 1-12, 2008.

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表およびシンポジウム

1 : III型Na/Pi共輸送担体Pit1過剰発現ラットはエナメル質の石灰化不全を来す : 小間義朗, 吉岡広陽, 吉子裕二, 南崎朋子, 鈴木敦詞, 伊藤光泰, 前田憲彦 第42回広島大学歯学会総会, 広島, 2009年

2 : III型Na/Pi共輸送担体Pit1過剰発現ラットはエナメル質の形成不全を来す : 吉岡広陽, 吉子裕二, 南崎朋子, 鈴木敦詞, 伊藤光泰, 前田憲彦 第27回日本骨代謝学会学術集会, 大阪, 2009年

3 : PTH と活性型ビタミン D₃ は骨芽細胞における FGF23 の発現とシグナル伝達に相反的に関与し、基質石灰化を調節する : 南崎朋子, 吉子裕二, 吉岡広陽, 前田憲彦 第27回日本骨代謝学会学術集会, 大阪, 2009年.

4 : III型Na/Pi共輸送担体Pit1過剰発現ラットはエナメル質の形成不全をきたす : 吉岡広陽, 吉子裕二, 南崎朋子, 前田憲彦 第51回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009年
第51回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009年

5 : A Parathyroid Hormone-1 α ,25-dihydroxyvitamin D₃-FGF23 Loop Regulating Bone Mineralization in Cultured Rat Calvaria Osteoblasts. Tomoko Minamizaki, Yuji Yoshiko, Hiroataka Yoshioka, Jane E. Aubin, Norihiko Maeda. The 31st Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research, Denver, September, 2009

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

1 : 日本学術振興会科研費 基盤研究 (C) FGF23 シグナル 分子を分子基盤とした歯・骨疾患治療のための基盤研究 (20592139) 吉子裕二 1,430 千円 2009年

2 : 共同研究費 (産学連携) 石灰化調節のための素材評価 ラフィーネ インターナショナル 吉子裕二 3,600 千円 2009年

3 : 日本学術振興会科学技術研究費補助金 若手研究 (B) Klotho を標的とした局所的硬組織再生法の基礎的研究 (21791788) 南崎朋子 1,600 千円 2009年

4 : 学長裁量経費「広島大学女性研究者奨励賞」臨床応用を見据えた Klotho の腎障害非依存的な硬組織石灰化作用に関する研究 南崎朋子 220 千円 2009年

4 : 日本学術振興会科研費 若手研究 (スタートアップ) リン酸代謝を分子基盤とした歯の石灰化不全の解析と実験的治療(21890156) 吉岡広陽 1,326千円 2009年

(5) 学会賞等

1 : 南崎朋子, PTH と活性型ビタミン D₃ は骨芽細胞における FGF23 の発現とシグナル伝達に相反的に関与し、基質石灰化を調節する : 南崎朋子, 吉子裕二, 吉岡広陽, 前田憲彦 第27回日本骨代謝学会学術集会優秀ポスター演題賞受賞, 2009年

2 : 吉岡広陽, III 型 Na/Pi 共輸送担体 Pit1 過剰発現ラットはエナメル質の形成不全を来す : 吉岡広陽, 吉子裕二, 南崎朋子, 鈴木敦詞, 伊藤光泰, 前田憲彦 第27回日本骨代謝学会学術集会優秀ポスター演題賞, 2009年

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

展開医科学専攻・病態制御医科学講座（歯科麻酔学研究室） 及び口腔再建外科（歯科麻酔科）

（1）職員並びに学生

教授 : 入船正浩
助教 : 清水慶隆, 土井 充, 新井由起子, 齊田拓也
医員 : 三浦完菜
大学院生 : 向井明里, 宮原岳史, 福島玲子
研修登録医 : 河原道夫, 片山莊太郎, 河原利哉, 岡本佳明, 小林恵子, 鬼塚千織子, 西中村
 亮,
 林 秀昭

（2）主な研究活動

- 1: 麻酔作用機序に関する研究
- 2: 全身麻酔薬の興奮作用（興奮期）に関する研究
- 3: 鎮静薬の抗不安効果に関する研究
- 4: 笑気の末梢循環動態への作用に関する研究
- 5: 慢性疼痛に関する研究
- 6: 心肺蘇生における胸骨圧迫の有効性に関する研究
- 7: 歯科治療時の全身的合併症に関する研究

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: ワルファリン内服患者の抜歯後において止血困難をきたした一症例：田村恭子, 片山莊太郎, 折田泰造, 川本行彦, 柳谷忠雄, 小川哲次, 入船正浩, 片山 巖：広島歯科医学雑誌, 36 卷 2 号, 54-58, 2009.
- 2: 当初歯冠周囲炎が疑われた特発性血小板減少性紫斑病の 1 例：片山莊太郎, 小野 厚, 浜本和子, 須澤利文, 入船正浩, 片山 巖：広島歯科医学雑誌, 37 卷 1 号, 61-66, 2009.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 内因性神経伝達物質と選択的受容体作動薬が引き起こす行動薬理作用の質の違いー特に運動亢進と麻酔作用についてー: 入船正浩、向井明里、清水慶隆、齊田拓也、土井 充、新井由起子、三浦完菜、宮原岳史、福島怜子: 第6回日本歯科麻酔学会中国・四国地方会(岡山)、2009.
- 2: 境界性パーソナリティ障害患者が身体化症状として抜歯後知覚異常を訴えた1症例: 土井 充、鬼塚千織子、福島怜子、宮原岳史、向井明里、三浦完菜、新井由起子、齊田拓也、清水慶隆、入船正浩: 第6回日本歯科麻酔学会中国・四国地方会(岡山)、2009.
- 3: 広島大学病院に導入された ORSYS TETRA™ の使用経験: 清水慶隆、讃岐美智義、入船正浩、齊田拓也、土井 充、新井由起子、三浦完菜、向井明里、宮原岳史、福島怜子: 第6回日本歯科麻酔学会中国・四国地方会(岡山)、2009.
- 4: ビスホスホネートが原因で発症した重度貧血を伴う下顎骨骨髓炎患者の麻酔経験: 三浦完菜、入船正浩、清水慶隆、齊田拓也、土井 充、新井由起子、向井明里、宮原岳史、福島怜子: 第37回日本歯科麻酔学会総会・学術集会(名古屋)、2009.
- 5: 経鼻挿管におけるエアウェイスクープ™ の有用性評価: 清水慶隆、土井 充、齊田拓也、新井由起子、三浦完菜、向井明里、宮原岳史、福島怜子、入船正浩: 第37回日本歯科麻酔学会総会・学術集会(名古屋)、2009.
- 6: リドカイン静注が有効であった視床痛患者の1症例: 土井 充、清水慶隆、齊田拓也、新井由起子、三浦完菜、向井明里、宮原岳史、福島怜子、小島太郎、入船正浩: 第37回日本歯科麻酔学会総会・学術集会(名古屋)、2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金(基盤研究(C)) 継続: 入船正浩: 全身麻酔要素である鎮痛・不動化作用におけるサブスタンスPの役割. (課題番号 20592373). 500 千円.
- 2: 科学研究費補助金(若手研究(B)) 継続: 土井 充: 難治性慢性疼痛の症状特異性と心理社会的要因における定量的評価ーMEG と f-MRI. (課題番号 20791524). 100 千円.

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座（健康増進歯学研究 室）及び口腔維持修復歯科（歯科保存診療科）

（1）職員並びに学生

教授 : 西村 英紀
 准教授 :
 講師 : 藤井 理史
 助教 : 白井 憲一, 荒川 真, 鈴木 茂樹, 本山 直世, 峯岡 茜, 山下 明子
 医員 :
 大学院生 : 岩下 未咲, 熊本 園子, 米廣 純子, 神人 友樹, 半井 英雄, 永安 慎太郎,
 藤井 紗貴子, 新城 尊徳

（2）主な研究活動

- 1: 齶蝕感受性宿主の宿主因子の解明
- 2: 歯科疾患と全身疾患の関連性の解明
- 3: 栄養素と歯科疾患の関連性の解明
- 4: 歯科疾患診断への新たな検査法の開発
- 5: 新規検査法に基づいた新たな予防法の開発
- 6: 生体親和性材料の開発と臨床応用
- 7: 変色歯の機序解明と治療法の開発
- 8: レーザーを用いた新たな生体非侵襲性治療法の開発
- 9: 象牙質/歯髄複合体の生物学的再生に関する研究

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Synergistic Roles of Amelogenin and Ameloblastin.: Hatakeyama J., Fukumoto S., Nakamura T., Haruyama N., Suzuki S., Hatakeyama Y., Shum L., Gibson C.W., Yamada Y., Kulkarni A. B.: J. Dent. Res., April 88 (4), 318-322, 2009.
- 2: Dentin sialoprotein and dentin phosphoprotein have distinct roles in dentin mineralization.: Suzuki S., Sreenath T., Haruyama N., Honeycutt C., Terse A., Cho A., Kohler T., Müller R., Goldberg M., Kulkarni A. B.: Matrix Biol., May 28 (4), 221-229, 2009.
- 3: Genetic evidence for key roles of decorin and biglycan in dentin.: Haruyama N., Sreenath T. L., Suzuki S., Yao X., Wang Z., Wang Y., Honeycutt C., Iozzo R. V., Young M. F., Kulkarni A. B.: Matrix Biol., April 28 (3), 129-136, 2009.
- 4: Soga Y., Yamasuji Y., Kudo C., Matsuura-Yoshimoto K., Yamabe K., Sugiura Y., Maeda Y., Ishimaru F., Tanimoto M., Nishimura F., Takashiba S. Febrile neutropenia and periodontitis: lessons from a case periodontal treatment in the intervals between chemotherapy cycles for leukemia reduced febrile neutropenia. Support Care in Cancer, 17:581-587, 2009.

- 5: Okada Y., Meguro M., Ohyama H., Yoshizawa S., Takeuchi-Hatanaka K., Kato N., Matsushita S., Takashiba S., Nishimura F. HLA-II - induced cytokines from human gingival fibroblasts promotes proliferation of human umbilical vein endothelial (HUVEC) cells: potential association with enhanced angiogenesis in chronic periodontal inflammation. J Periodontal Res, 44:103-109, 2009.
- 6: Ohyama H., Kato-Kogoe1 N., Kuhara A., Nishimura F., Nakasho K., Yamanegi K., Yamada N., Masaki Hata1., Yamane J., Terada N. The involvement of IL-23 and Th17 pathway in periodontitis. J Dent Res, 88:633-638, 2009.

B) 総説

- 1: Glycine transporter inhibitors as a novel drug discovery strategy for neuropathic pain: Dohi T., Morita K., Kitayama T., Motiyama N., Morioka N.: Pharmacology and Therapeutics, 123, 54-79, 2009.
- 2: Chronic low-grade inflammation accelerating aging: Inflammation and Regeneration Nishimura F., Soga Y., Yamashita A.: Periodontal disease, 29: 186-189, 2009.

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 血小板活性化因子受容体阻害薬による抗神経因性疼痛作用：北山 友也，本山 直世，森田 克也，岡 広子，西村 英紀，土肥 敏博：第 82 回日本薬理学会年会（横浜），2009 年 3 月 16-18 日。
- 2: DNA microarray analyses of LPS-stimulated adipocytes co-cultured with macrophages: Yamashita A., Soga Y., Iwamoto Y., Abiko Y., Nishimura F.: The 87th International Association for Dental Research (Miami), April 4, 2009.
- 3: 脂肪細胞-マクロファージ共培養系におけるインスリン抵抗性発現機序と ARB の作用:岩下 未咲, 熊本 園子, 崔興龍, 神人 友樹, 浅野 知一郎, 西村 英紀：第 52 回日本歯周病学会春季学術大会（岡山），2009 年 5 月 15 日。
- 4: マクロファージと共存する脂肪細胞は LPS 刺激によって toll-like receptor を介するシグナルを増強する分子群を産生する:熊本 園子, 山下 明子, 曾我 賢彦, 岩本 義博, 岩下 未咲, 安孫子宜光, 西村 英紀：第 52 回日本歯周病学会春季学術大会（岡山），2009 年 5 月 15 日。
- 5: マクロファージと共存する脂肪細胞は LPS 刺激によって toll-like receptor を介するシグナルを増強する分子群を産生する:山下 明子, 曾我 賢彦, 岩本 義博, 安孫子宜光,西村 英紀：第 52 回日本糖尿病学会学術大会(大阪)，2009 年 5 月 22 日。
- 6: 脂肪細胞-マクロファージ共培養系におけるインスリン抵抗性の機序と ARB の作用:岩下未咲, 熊本 園子, 迫田 秀之, 櫛山 暁史, 藤城 緑, 崔興龍, 米田 真康, 大野 晴也, 鎌田 英

- 明, 西村 英紀, 浅野 知一郎: 第 52 回日本糖尿病学会年次学術集会 (大阪), 2009 年 5 月 22 日.
- 7: ヒト不死化歯髓細胞とマクロファージの共存で炎症性サイトカイン産生性が亢進しその上昇はフラボノイドによって抑制される: 米廣 純子, 山下 明子, 吉澤 さゆり, 太田 耕司, 鎌田 伸之, 西村 英紀: 第 130 回日本歯科保存学会春季学術大会 (札幌), 2009 年 6 月 11-12 日.
- 8: 血小板活性化因子(PAF)の脊髄腔内投与によるアロディニア発症へのグリシン受容体 $\alpha 3$ の関与: 本山 直世, 森田 克也, 北山 友也, 西村 英紀, 土肥 敏博: 第 130 回日本歯科保存学会春季学術大会 (札幌), 2009 年 6 月 11-12 日.
- 9: 低濃度 LPS 刺激条件下の脂肪細胞・マクロファージ共培養系における脂肪細胞の網羅的遺伝子発現解析: 山下 明子, 曾我 賢彦, 岩本 義博, 安孫子宜光, 西村 英紀: 第 130 回日本歯科保存学会春季学術大会 (札幌), 2009 年 6 月 11-12 日.
- 10: 神経因性疼痛治療薬としてのグリシントランスポーター阻害薬の可能性: 本山 直世, 森田 克也, 西村 英紀, 兼松 隆: 第 29 回日本歯科薬物療法学会(大阪), 2009 年 6 月 20-21 日.
- 11: ストレプトゾトシン誘発有痛性糖尿病モデルに対するグリシントランスポーター(GlyT)阻害薬の寛解作用: 北山 友也, 本山 直世, 西村 英紀, 兼松 隆, 森田 克也, 土肥 敏博: 第 115 回日本薬理学会近畿部会 (金沢), 2009 年 6 月 26 日.
- 12: 糖尿病性疼痛モデルにおけるグリシントランスポーター阻害薬の抗アロディニア作用: 本山 直世, 北山 友也, 神人 友樹, 西村 英紀, 兼松 隆, 森田 克也, 土肥 敏博: 第 51 回日本歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 (新潟), 2009 年 9 月 9-11 日.
- 13: 慢性・難治性疼痛管理における血小板活性化因子(PAF)受容体阻害薬の有用性について: 貴船 幸基, 本山 直世, 北山 友也, 西村 英紀, 兼松 隆, 森田 克也, 土肥 敏博: 第 51 回日本歯科基礎医学会学術大会ならびに総会 (新潟), 2009 年 9 月 9-11 日.
- 14: 脂肪細胞はマクロファージと共存することで LPS 刺激によって急性期タンパク SAA を高産生する: 半井 英雄, 山下 明子, 曾我 賢彦, 岩本 義博, 安孫子宜光, 西村 英紀: 第 52 回日本歯周病学会秋季学術大会 (宮崎), 2009 年 10 月 11 日.
- 15: 低濃度 LPS 持続注入による LDL 受容体欠損マウスにおける慢性炎症の惹起とアンジオテンシン II 受容体拮抗薬の抗炎症効果の検討: 熊本 園子, 岩下 未咲, 西村 英紀: 第 52 回日本歯周病学会秋季学術大会 (宮崎), 2009 年 10 月 11 日.
- 16: 象牙質形成における Dentin sialoprotein 及び Dentin phosphoprotein の機能解析: 鈴木 茂樹, 西村 英紀: 第 131 回日本歯科保存学会秋季学術大会 (仙台), 2009 年 10 月 29-30 日.
- 17: ウェルナー症候群における歯周病の実態: 荒川 真, 鈴木 茂樹, 山下 明子, 白井 憲一, 藤井 理史, 西村 英紀: 第 131 回日本歯科保存学会秋季学術大会 (仙台), 2009 年 10 月 29-30 日.
- 18: 痛み発症における血小板活性化因子(PAF)受容体の関与: 本山 直世, 貴船 幸基, 森田 克也, 北山 友也, 神人 友樹, 西村 英紀, 兼松 隆, 土肥 敏博: 第 131 回日本歯科保存学会秋季学術大会 (仙台), 2009 年 10 月 29-30 日.
- 19: 無血清培地 STK2 のヒト歯髓細胞における有用性: 藤井 紗貴子, 藤本 勝巳, 邵金昌, 西村 英紀, 加藤 幸夫: 第 3 回広島カンファレンス (広島), 2009 年 11 月 7 日.
- 20: Dentin sialoprotein and dentin phosphoprotein have distinct roles in dentin mineralization : Suzuki S.,

Nishimura F.: 第3回広島カンファレンス (広島), 2009年11月7日.

- 21: ヒト不死化歯髄細胞とマクロファージの共存で炎症性サイトカイン産生性が亢進しその上昇はフラボノイドによって抑制される: 米廣 純子, 山下 明子, 吉澤 さゆり, 太田 耕司, 鎌田 伸之, 西村 英紀: 第11回日韓歯科保存学会合同学術大会 (済州), 2009年11月12-14日.
- 22: Glycine transporter inhibitors as a potential therapeutic strategy for neuropathic pain: Morita K., Motoyama N., Kitayama T., Kanematsu T., Dohi T.: The 6th Japan-Korea Conference on Cellular signaling for Young Scientists (Sasebo), November 11-12, 2009.
- 23: LPSによる脂肪組織インスリン抵抗性へのマクロファージの関与と, ARBによるインスリン抵抗性改善作用の機序: 岩下 未咲, 熊本 園子, 迫田 秀之, 櫛山 暁史, 藤城 緑, 中津 祐介, 大野 晴也, 大谷 裕一郎, 土谷 佳弘, 鎌田 英明, 西村 英紀, 浅野 知一郎: 第21回分子糖尿病学シンポジウム (和歌山), 2009年12月12日.

F) 学会シンポジウム, 特別講演

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 日本学術振興会科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究): 西村 英紀, 栄養素と齶蝕感受性の関連性の解明. 課題番号 20659298. 3,200 千円
- 2: 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (B) 一般): 西村 英紀, 歯周医学と不老医学の融合を目指す基盤研究. 課題番号 80208222. 6,890 千円
- 3: 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (C) 一般): 白井 憲一, 鈴木 茂樹, 西村 英紀, Sr-CaPO₄ 複合体を応用した自己修復能を有する接着システムの開発. 課題番号 20592227. 910 千円
- 4: 若手研究 (スタートアップ): 鈴木 茂樹, 象牙質形成における DSPP 開裂のメカニズムと意義の解明. 課題番号 21890158. 1,365 千円
- 5: 日本学術振興会科学研究費補助金 (若手研究 (B)): 荒川 真, 加齢と歯周病の関連性の解明 — ウェルナー症候群患者における検討. 課題番号 21722120. 1,170 千円
- 6: 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (C) 一般): 本山 直世, 痛みの生物学に立脚した歯髄局所の疼痛緩和を目指す創薬アプローチ. 課題番号 21592421. 1,950 千円
- 7: 若手研究 (スタートアップ): 山下 明子, 歯周病とメタボリックシンドロームの関連性に関する基礎ならびに臨床研究. 課題番号 20890143. 1,560 千円
- 8:

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 山下 明子: 第52回日本糖尿病学会学術大会: プレジデントポスター優秀演題賞: 第52回日本糖尿病学会学術大会, 2009年5月22日.
- 2: 米廣 純子: 第130回日本歯科保存学会デンツプライ賞, 2009年10月30日.
- 3: 米廣 純子: 第11回秋季日韓歯科保存学会合同学術大会 新進研究賞, 2009年11月14日.

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座(口腔外科学研究室) 及び口腔再建外科(口腔顎顔面再建外科)

(1) 職員並びに学生

教授 : 鎌田伸之
 准教授 : 武知正晃
 講師 : 宮内美和, 東川晃一郎(学内)
 助教 : 太田耕司(診療講師), 二宮嘉昭, 島末 洋, 小野重弘, 重石英生, 西 裕美,
 瀧 雅行(3月まで)
 医員 : 水田邦子, 中川貴之, 平岡美里
 大学院生 : 藤本伸一, 南 正彦, 田中扶美, 奥井 岳, 奥村俊哉, 福井暁子, 安田雅美,
 太田 彰, 波多野寛子, 根岸佳保里, 高本 愛, Ta To Tran
 研修登録医 : 清見原正騎, 井上義久, 長谷川 總, 尾崎竜太郎, 中本幸夫

(2) 主な研究活動

- 1 : 顎顔面再建法の改良と機能評価
- 2 : 口腔疾患のゲノム研究
- 3 : 口腔腫瘍の生物学的特性と治療に関する研究
- 4 : 口腔癌の浸潤・転移制御に関する細胞生物学的研究
- 5 : 顎骨の硬組織形成線維性病変の原因遺伝子に関する研究
- 6 : 歯と歯周組織の再生治療に関する細胞生物学的研究
- 7 : 新規生体材料、口腔組織の再生・造成に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著(症例報告を含む)

- 1) Amphiregulin induces proliferative activities in osseous dysplasia. Shigeishi H, Yamaguchi S, Mizuta K, Nakakuki K, Fujimoto S, Amagasa T, Kamata N.: J Dent Res. 88(6):563-568, 2009.
- 2) Overexpression of the receptor for hyaluronan-mediated motility, correlates with expression of microtubule-associated protein in human oral squamous cell carcinomas. Shigeishi H, Fujimoto S, Hiraoka M, Ono S, Taki M, Ohta K, Higashikawa K, Kamata N.: Int J Oncol. 34(6):1565-1571, 2009.
- 3) DeltaNp63alpha-dependent expression of Id-3 distinctively suppresses the invasiveness of human squamous cell carcinoma. Higashikawa K, Yoneda S, Tobiume K,

- Saitoh M, Taki M, Mitani Y, Shigeishi H, Ono S, Kamata N.: *Int J Cancer*. 124(12):2837-2844, 2009.
- 4) Oncogenic role of nuclear accumulated Aurora-A. Tatsuka M, Sato S, Kanda A, Miki T, Kamata N, Kitajima S, Kudo Y, Takata T.: *Mol Carcinog*. 48(9):810-820, 2009.
 - 5) Expression of TPX2 in salivary gland carcinomas. Shigeishi H, Ohta K, Hiraoka M, Fujimoto S, Minami M, Higashikawa K, Kamata N.: *Oncol Rep*. 21(2):341-344, 2009.
 - 6) Nodal lymphangiogenesis and metastasis: Role of tumor-induced lymphatic vessel activation in extramammary Paget's disease. Hirakawa S, Detmar M, Kerjaschki D, Nagamatsu S, Matsuo K, Tanemura A, Kamata N, Higashikawa K, Okazaki H, Kameda K, Nishida-Fukuda H, Mori H, Hanakawa Y, Sayama K, Shirakata Y, Tohyama M, Tokumaru S, Katayama I, Hashimoto K.: *Am J Pathol*, 175(5):2235-2248, 2009.
 - 7) Effect of TGF- β 1 on differentiation and mineralization of osteoblasts in interconnective porous calcium hydroxyapatite ceramics. Hiraoka M, Takechi M, Minami M, Ohta K, Kamata N.: *Archives of BioCeramics Research*; (9) 303-306, 2009.
 - 8) 下顎枝矢状分割骨切り術の骨片固定にポリ-L-乳酸スクリューとコントラアングルドライバ
ーシステムを用いた完全口腔内アプローチ法 : 太田耕司, 小野重弘, 水田邦子, 二宮嘉昭
中川貴之, 宮内美和, 柄なつみ, 武知正晃, 丹根一夫, 鎌田伸之. : 広島大学歯学雑誌
第41巻2号, 143-148, 2009
 - 9) 下顎隆起除去骨を応用した骨増生の1症例 : 福井暁子, 武知正晃, 三谷佳嗣, 二宮嘉昭,
津賀一弘, 赤川安正, 鎌田伸之. : 広島大学歯学会雑誌 第41巻2号, 60-164, 2009

B) 総説

形態と機能再建を目的とした顎骨再生のためのバイオマテリアルの応用: 鎌田伸之, 武知正晃. : 患者まで届いている再生誘導治療「バイオマテリアル、生体シグナル因子、細胞を利用した患者のための再生医療の実際」遺伝子医学MOOK 13号 53-58, 2009

C) 著書

- 1) 全身性エリテマトーデス: 鎌田伸之: 有病者歯科ポケットブック 全身疾患VS歯科治療 94-95 デンタルダイヤモンド社, 2009
- 2) 関節リウマチ・全身性強皮症: 鎌田伸之: 有病者歯科ポケットブック 全身疾患VS歯科治療 96-97 デンタルダイヤモンド社, 2009
- 3) シェーグレン症候群: 鎌田伸之: 有病者歯科ポケットブック 全身疾患VS歯科治療 98-99 デンタルダイヤモンド社, 2009
- 4) ベーチェット病: 鎌田伸之: 有病者歯科ポケットブック 全身疾患VS歯科治療 100-101 デンタルダイヤモンド社, 2009
- 5) 肩関節周囲炎・頸肩腕症候群: 鎌田伸之 : 有病者歯科ポケットブック 全身疾患VS歯科治療 188-189 デンタルダイヤモンド社, 2009

- 6) 変形性膝関節症：鎌田伸之：有病者歯科ポケットブック 全身疾患V S 歯科治療 190-191 デンタルダイヤモンド社，2009
- 7) 椎間板ヘルニア：鎌田伸之：有病者歯科ポケットブック 全身疾患V S 歯科治療 192-193 デンタルダイヤモンド社，2009
- 8) 脊柱管狭窄症：鎌田伸之：有病者歯科ポケットブック 全身疾患V S 歯科治療 194-195 デンタルダイヤモンド社，2009

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1) 口腔癌術前 PET-CT を契機に発見された同時性重複癌の 2 例：宮内美和，西 裕美，重石英生，小野重弘，島末 洋，二宮嘉昭，太田耕司，藤本伸一，米田進吾，武知正晃，鎌田伸之．：第 27 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会（2009. 1. 29 栃木）
- 2) Evaluation of bone tissue regeneration of novel interconnected porous hydroxyapatite ceramics hybridized with osteoblasts. Hiraoka M, Takechi M, Minami M, Ohta K, Shigeishi H, Kamata N. : The first Workshop for Bio-dental education. (2009. 2. 7-8. Hiroshima)
- 3) GM 含有 α -TCP/AC の顎骨骨髓炎への応用に関する基礎的研究「基本物性と生体親和性について」：二宮嘉昭，武知正晃，太田耕司，平岡美里，南 正彦，湯浅哲也，石川邦夫，鎌田伸之．：第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会（2009. 4. 17 浜松）
- 4) Candida albicans 感染による口腔粘膜上皮細胞、線維芽細胞における Fractalkine (CX3CL1) の発現の検討：太田耕司，西 裕美，福井暁子，瀧 雅行，重石英生，武知正晃，鎌田伸之．：第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会（2009. 4. 16 浜松）
- 5) 歯肉線維芽細胞における炎症性サイトカインによる JAK/STAT シグナル伝達経路の解析：西 裕美，太田耕司，福井暁子，武知正晃，鎌田伸之．：第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会（2009. 4. 16 浜松）
- 6) 人工呼吸器関連肺炎（VAP）予防のための口腔ケア：二宮嘉昭，小野重弘，重石英生，水田邦子，高本 愛，小林雅史，岡本康生，福井康人，石田康隆，武田 卓，近藤美穂，梶谷佳世，田村裕子，岡本哲治，谷川攻一，鎌田伸之．：第 38 回（社）日本口腔外科学会 中・四国地方会（2009. 5. 30 広島）
- 7) 口腔癌切除後にインプラント治療を行い咬合機能を回復した 1 例：島末 洋，武知正晃，重石英生，太田耕司，南 正彦，宮内美和，高本 愛，西村正宏，鎌田伸之．：第 38 回（社）日本口腔外科学会 中・四国地方会（2009. 5. 30 広島）
- 8) 口腔粘膜上皮・歯肉線維芽細胞における炎症性サイトカインによる JAK/STAT シグナル伝達経路の解析：西 裕美，太田耕司，福井暁子，武知正晃，鎌田伸之．：第 19 回日本口腔粘膜学会・総会（2009. 6. 6 神奈川）
- 9) Candida albicans による歯肉線維芽細胞の Fractalkine (CX3CL1) 発現誘導と機能：太田耕司，西 裕美，福井暁子，重石英生，武知正晃，鎌田伸之．：第 19 回日本口腔粘膜学会・総会（2009. 6. 6 神奈川）
- 10) 口腔粘膜上皮細胞、歯肉線維芽細胞における Toll-like Receptor の発現と機能：福井暁

- 子, 太田耕司, 西 裕美, 武知正晃, 鎌田伸之. : 第 19 回日本口腔粘膜学会 (2009. 6. 6 神奈川)
- 11) 墜落外傷に伴う下顎骨粉碎骨折に対してインプラントによる咬合再建を行った 1 例 : 小野重弘, 水田邦子, 太田耕司, 武知正晃, 奥井 岳, 島末 洋, 高本 愛, 東川晃一郎, 鎌田伸之. : 第 11 回日本口腔顎顔面外傷学会 (2009. 7. 18 札幌)
 - 12) 顔面多発骨折を伴った交通外傷の治療の 1 例 : 島末 洋, 武知正晃, 南 正彦, 平岡美里, 高本 愛, 小野重弘, 宮内美和, 鎌田伸之. : 第 11 回日本口腔顎顔面外傷学会 (2009. 7. 18 札幌)
 - 13) 「歯科外来手術クリニカルパス」の使用者側及び患者側からの評価 : 高本愛, 中岡美由紀, 石尾正子, 佐々木由紀子, 東川晃一郎, 吉岡幸男, 祐井智美, 田村裕子. : 日本歯科衛生学会 第 4 回学術大会 (2009.9.20 大阪)
 - 14) 新規連通多孔体ハイドロキシアパタイト骨補填材を用いたスプリットクレスト法の 1 例 : 二宮嘉昭, 武知正晃, 太田耕司, 高本 愛, 西村正宏, 鎌田伸之. : 第 39 回日本口腔インプラント学会・学術総会 (2009. 9. 27 大阪)
 - 15) 新規連通多孔体ハイドロキシアパタイト/骨芽細胞複合体の骨形成能に及ぼす transforming growth factor- β 1 (TGF- β 1) の影響 : 平岡美里, 武知正晃, 南 正彦, 太田耕司, 鎌田伸之. : 第 39 回日本口腔インプラント学会・学術総会 (2009. 9. 26 大阪)
 - 16) Snail による転写調節と EMT の誘導 (シンポジウム「Epithelial Mesenchymal Transition と腫瘍の転移・浸潤」) : 鎌田伸之, 東川晃一郎, 飛梅 圭. : 第 68 回日本癌学会・学術総会 (2009. 10. 3 横浜)
 - 17) Functional role of tumor-associated lymphatic vessels in skin cancer metastasis to lymph nodes. : Hirakawa S, Keitaro M, Higashikawa K, Kamata N. : 第 68 回日本癌学会・学術総会 (2009. 10. 2 横浜)
 - 18) Functional Analysis of Snail-mediated downregulation of deltaNp63alpha in squamous cell carcinoma cells. : Higashikawa K, Tobiume K, Kamata N. : 第 68 回日本癌学会・学術総会 (2009. 10. 3 横浜)
 - 19) A Snail-induced secretory protein associated with the invasiveness of squamous cell carcinoma. : Tanaka F, Higashikawa K, Tobiume K, Ono S, Shigeishi H, Kamata N. : 第 68 回日本癌学会・学術総会 (2009. 10. 3 横浜)
 - 20) EMT 型口腔扁平上皮癌細胞における gamma-secretase inhibitor 抵抗性の解析 : 東川晃一郎, 田中扶美, 重石英生, 小野重弘, 鎌田伸之. : 第 54 回 (社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2009. 10. 9 札幌)
 - 21) 口腔扁平上皮癌細胞における高度浸潤能獲得機構の解析 : 田中扶美, 東川晃一郎, 重石英生, 小野重弘, 鎌田伸之. : 第 54 回 (社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2009. 10. 9 札幌)
 - 22) インプラント治療に新規連通多孔体ハイドロキシアパタイト骨補填剤とチタンメッシュを用いて骨造成を行った 1 例 : 太田耕司, 武知正晃, 二宮嘉昭, 南 正彦, 高本 愛, 鎌田伸之. : 第 54 回 (社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2009. 10. 10 札幌)
 - 23) 口腔粘膜上皮細胞、歯肉線維芽細胞における Toll-like Receptor の発現と機能 : 福井暁子, 太田耕司, 西 裕美, 武知正晃, 鎌田伸之. : 第 54 回 (社) 日本口腔外科学会総会

(2009. 10. 10 札幌)

- 24) 顎骨骨幹異形成症原因遺伝子 GDD1 のマウス歯・歯周組織における免疫組織化学的発現解析：水田邦子，藤本伸一，鎌田伸之．：第 54 回（社）日本口腔外科学会総会（2009. 10. 9 札幌）
- 25) 広島大学病院歯科衛生士外来センターにおける 4 年の歩み：原奈緒美，臺信花菜，梶谷佳世，田村裕子，鎌田伸之．：第 60 回中国地区歯科医学大会 第 48 回広島県歯科医学会・第 93 回広島大学歯学会・日本歯科技工学会中国・四国支部第 4 回学術大会（2009. 10. 25）
- 26) 2009 歯科医師臨床研修プログラムについて一臨床教育と臨床研修医の意識調査について：田中千香子，本山智得，森本克廣，土江健也，川原正照，熊谷 宏，中元雅志，山崎 徹，山本智之，荒谷恭史，三戸敦史，久保康治，瓜生 賢，島末一則，光山武文，山崎保彦，中村隆一，岸民 祐，妹尾博文，進藤典久，小川哲次，田口則宏，三島幸司，柏 典子，本山直世，神人友樹，神人大輔，鎌田伸之．：第 60 回中国地区歯科医学大会 第 48 回広島県歯科医学会・第 93 回広島大学歯学会・日本歯科技工学会中国・四国支部第 4 回学術大会（2009. 10. 25）
- 27) 新規連通多孔体ハイドロキシアパタイトを用いてサイナスリフトを行った 1 例：小野重弘，武知正晃，西 裕美，福井暁子，重石英生，太田 彰，高本 愛，鎌田伸之．：第 57 回 NPO 法人日本口腔科学会中国・四国地方部会（2009. 11. 14 倉敷）
- 28) 術前 PET-CT により同時性重複癌を発見した舌癌の 2 例：水田邦子，宮内美和，小野重弘，藤本伸一，奥井岳，武知正晃，鎌田伸之．：第 57 回 NPO 法人日本口腔科学会中国・四国地方部会（2009. 11. 14 倉敷）
- 29) GM 含有 α -TCP/AC の顎骨骨髓炎への応用に関する基礎的研究「基本物性と骨形成評価について」：二宮嘉昭，武知正晃，太田耕司，南 正彦，平岡美里，太田 彰，湯浅哲也，石川邦夫，鎌田伸之．：第 31 回日本バイオマテリアル学会（2009. 11. 17 京都）
- 30) 連通多孔ハイドロキシアパタイト/骨芽細胞複合体の骨形成能に及ぼす transforming growth factor- β 1 (TGF- β 1) の影響：平岡美里，武知正晃，太田耕司，南 正彦，鎌田伸之．：第 31 回日本バイオマテリアル学会：（2009. 11. 17 京都）
- 31) Effect of TGF- β 1 on differentiation and mineralization of osteoblasts in interconnective porous calcium hydroxyapatite ceramics: Hiraoka M, Takechi M, Minami M, Ohta K, Kamata N. : 9 th Asian BioCeramics Symposium 2009 (2009. 12. 10 名古屋)
- 32) 経過不良インプラント除去後に新規連通多孔体 HA と自家骨を用いてインプラント治療を行った 1 例：二宮嘉昭，武知正晃，太田耕司，高本 愛，小野重弘，奥井 岳，太田 彰，鎌田伸之．：第 13 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会（2009. 12. 13 佐賀）
- 33) 高エネルギー多発外傷に伴う下顎骨粉碎骨折に対してインプラントによる咬合再建を行った 1 例：小野重弘，武知正晃，水田邦子，太田耕司，東川晃一郎，高本 愛，二宮嘉昭，鎌田伸之．：第 13 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会（2009. 12. 13 佐賀）

F) 講演会，特別講演など

- 1) 鎌田 伸之 歯原性腫瘍 6. 15 岡山大学
- 2) 鎌田 伸之 歯原性腫瘍 11. 5 長崎大学

3) 鎌田 伸之 歯原性腫瘍と疾患遺伝子 11.13 大阪大学

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)一般) 継続: 鎌田伸之, 上皮・間葉移行の解明による口腔癌の浸潤転移の制御. 課題番号 18390541.
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 新規: 東川晃一郎, 口腔癌の浸潤・転移を制御する上皮整合性機構の解明. 課題番号 21592526.
- 3: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 新規: 島末 洋, 口腔癌の浸潤・転移における上皮・間葉移行と細胞運動制御機構の解析. 課題番号 21592554.
- 4: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新規: 武知正晃, 薬物徐放制御能を有する高機能性骨置換型アパタイトセメントの開発. 課題番号 21792000.
- 5: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 継続: 太田耕司, カンジダ症で口腔粘膜細胞より誘導される特異的蛋白の同定とその意義. 課題番号 20791522.
- 6: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新規: 小野重弘, 上皮・間葉移行を介した扁平上皮癌の高度浸潤能獲得におけるマイクロRNAの関与. 課題番号 21791999.
- 7: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新規: 重石英生, ヒト唾液腺腫瘍における TPX 2 遺伝子の発現および解析. 課題番号 21791998.
- 8: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新規: 西 裕美, 難治性口腔粘膜疾患発生に関する粘膜上皮・真皮における免疫応答の細胞生物学的研究. 課題番号 20791518.
- 9: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 継続: 水田邦子, 顎骨骨幹異形成症 (GDD) の原因遺伝子GDD1の機能解析 課題番号 20791517.
- 10: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 継続: 瀧 雅行, 口腔癌の高度浸潤能獲得機構におけるWnt 遺伝子の発現制御および機能解析. 課題番号 18791497.

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1) 水田邦子 第54回(社)日本口腔外科学会総会・学術大会(札幌)ゴールドリボン受賞

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座（先端歯科補綴学研究室）及び口腔維持修復歯科（口腔インプラント診療科）

（４）職員並びに学生

教授 : 赤川安正
 准教授 : 津賀一弘, 久保隆靖 (診療)
 講師 : 阿部泰彦, 田地 豪 (学内), 日浅 恭 (診療)
 助教 : 是竹克紀, 吉川峰加, 土井一也
 事務補佐員 : 来実倫子
 医員 : 竹内真帆, 林 和彦, 宮本泰成, 松浦 歩, 森田晃司
 大学院生 : 金久弥生, 丸山真理子, 竹下 亮, 大上博史, 岡崎洋平, 土岡寛和, Maretaningtias
 Dwi Ariani

（２）主な研究活動

- 1 : インプラントの新素材の開発と臨床応用
- 2 : 間葉系幹細胞を用いたハイブリッド人工骨の開発
- 3 : FGF がインプラント周囲骨の骨形成能に及ぼす影響
- 4 : インプラント周囲および義歯の生体力学解析
- 5 : 歯科補綴治療が高齢者の QOL に及ぼす影響
- 6 : 高齢者の義歯と嚥下機能
- 7 : 舌機能評価を応用した摂食嚥下リハビリテーションの確立

（３）研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

1. Effect of combined application of bFGF and inorganic polyphosphate on bioactivities of osteoblasts and initial bone regeneration : Yuan Q, Kubo T, Doi K, Morita K, Takeshita R, Katoh S, Shiba T, Gong P and Akagawa Y : Acta Biomater., 5, 1716-1724, 2009.
2. Body weight and serum albumin change after prosthodontic treatment among institutionalized elderly in a longtermcare geriatric hospital : Kanehisa, Y, Yoshida M, Taji T, Akagawa Y and Nakamura H : Community Dent Oral Epidemiol, 37, 534-538, 2009.
3. Bone formation ability of carbonate apatite-collagen scaffolds with carbonate contents : Matsuura A, Kubo T, Doi K, Hayashi K, Morita K, Yokota R, Hayashi H, Hirata I, Okazaki M and Akagawa Y : Dental Material Journal, 28, 234-242, 2009.
4. The effect of tooth loss on body balance control among community-dwelling elderly persons : Yoshida

- M, Kikutani T, Okada G, Kawamura T, Kimura M and Akagawa Y : Int J Prosthodont, 22, 136-139, 2009.
5. Oral motor function and masticatory performance in the community-dwelling elderly : Kikutani T, Tamura F, Nishiwaki, K, Kodama M, Suda M, Fukui T, Takahashi N, Yoshida M, Akagawa Y and Kimura M : Odontology, 97, 38-42, 2009.
 6. Initial bone regeneration around fenestrated implants in Beagle dogs using basic fibroblast growth factor-gelatin hydrogel complex with varying biodegradation rates : Akagawa Y, Kubo T, Koretake K, Hayashi K, Doi K, Matsuura A, Morita K, Takeshita R, Yuan Q and Tabata Y : J. Prosthodont. Res, 53, 41-47, 2009.
 7. ポリリン酸吸着型連通多孔性ハイドロキシアパタイト人工骨の新規開発 : 森田晃司 : 広大歯誌, 41(1), 57-70, 2009.
 8. 脳卒中地域連携クリティカルパスと歯科 : 吉田光由, 赤川安正 : 広大歯誌, 41, 80-82, 2009.
 9. 肺炎発症に関する口腔リスク項目の検討—口腔ケア・マネジメントの確立に向けて— : 吉田光由, 菊谷武, 渡部芳彦, 花形哲夫, 戸倉聡, 高橋賢晃, 田村文誉, 赤川安正 : 老年歯学, 24, 3-9, 2009.
 10. 咀嚼能力の標準化に関する研究 : 市川哲雄, 永尾 寛, 窪木拓男, 木村 彩, 秀島雅之, 玉置勝司, 小平順可, 貞森紳丞, 津賀一弘, 越野 寿, 赤川安正, 平井敏博 : 日本歯科医学会雑誌, 28, 34-38, 2009.

B) 総説

- 1: 広島市総合リハビリテーションセンターにおける歯科の取り組み : 吉田光由 : 広大歯誌, 36, 20-23, 2009.

C) 著書

- 1: こころとからだのしくみ (分担) 介護福祉士養成テキストブック⑬ (初版) : 赤川安正 : ミネルヴァ書房, 東京, 80-104, 2009.
- 2: こころとからだのしくみ (分担) 介護福祉士養成テキストブック⑬ (初版) : 吉田光由 : ミネルヴァ書房, 東京, 88-102, 2009.
- 3: 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴 (分担) 最新歯科衛生士教本 (初版) : 赤川安正 : 医歯薬出版, 東京, 1, 2009.
- 4: 歯学生のパーシャルデンチャー (第 5 版) : 三谷春保, 小林義典, 赤川安正 (編) : 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 5: 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴 (分担) 最新歯科衛生士教本 (初版) : 吉田光由, 医歯薬出版, 東京, 4-6, 2009
- 6: 回復期リハビリテーション病院歯科が中心となる病診連携への取り組み (分担) 地域医療の新たな展開【医科歯科連携事例集】 : 吉田光由 : 財団法人 8020 推進財団, 31-38, 2009.

D) その他の出版物

- 1: 障害を把握した歯科治療計画の立案「超高齢時代の歯科臨床のあり方」：吉田光由：日本歯科評論, 69(11), 71-78, 2009.

E) 学会発表

- 1: Swallowing sound analysis for amyotrophic lateral sclerosis patients. : Yoshikawa M, Nagasaki T, Okada G, Yoshida M and Akagawa Y : The 17th Annual Dysphagia Research Society Meeting (New Orleans), 2009.
- 2: Comparative evaluation of bone regeneration by using differently-formed granule types of newly developed interconnected porous hydroxyapatite. A beagle dog study : Takeshita R, Doi K, Kubo T, Hayashi K, Morita K, Koretake K and Akagawa Y : 6th Biennial Congress of Asian Academy of Prosthodontics (Seoul) , 2009.
- 3: Forum I Chair : Akagawa Y : 6th Biennial Congress of Asian Academy of Prosthodontics (Seoul) , 2009.
- 4: Development of inorganic polyphosphate-adsorbed interconnected porous calcium hydroxyapatite as a new bone regeneration material : Doi K, Kubo T, Morita K, Hayashi K, Takeshita R and Akagawa Y : The 13th Meeting of the International College of Prosthodontists (CapeTown) , 2009.
- 5: Postgraduate education curriculum in Prosthodontics in Japan : Akagawa Y : University of Oslo, Seminar (Oslo), 2009.
- 6: Bone augmentation for esthetic-functional implant treatment - State of the science : Akagawa Y : 37th Indian Prosthodontic Society Conference, Special lecture (Thrissur, Kerala) , 2009.
- 7: Postgraduate education curriculum in Prosthodontics in Japanese Universities : Akagawa Y : Sri Ramachandra University, Seminar (Chennai) , 2009.
- 8: Bone formation ability of a newly developed carbonate apatite collagen sponge scaffold : Matsuura A, Kubo T, Koretake K, Doi K, Hayashi K, Morita K, Hirata I, Okazaki M and Akagawa Y : 5th Asian Academy of Osseointegration(Bali) , 2009.
- 9: Application of bFGF - gelatin hydrogel complex for bone regeneration around fenestrated implants : Morita K, Koretake K, Hayashi K, Doi K, Matsuura A, Takeshita R, Kubo T and Akagawa Y : 5th Asian Academy of Osseointegration (Bali) , 2009.
- 10: 総義歯補綴と健康長寿：赤川安正：日本歯科大学歯学部特別講義（東京都），2009.
- 11: ディスポーザブルの口腔内プローブを用いる簡易型舌圧測定装置：津賀一弘：新潟大学地域連携フードサイエンスセンター シリーズ講演会「食品のサイエンス・テクノロジー」第11回「食べる」を計る（新潟市），2009.
- 12: 有床義歯補綴の未来価値：赤川安正：北海道大学大学院歯学研究科特別講義（札幌市），2009.
- 13: 患者の満足する義歯治療のキーポイント：赤川安正：山口県歯科医師会学術講演会（宇部市），2009.
- 14: 補綴歯科領域での感染予防・防塵対策：津賀一弘：独立行政法人国際協力機構（JICA）（集団研修）口腔健康科学教育（福岡市），2009.
- 15: 高齢者の口腔機能リハビリテーション：津賀一弘：独立行政法人国際協力機構（JICA）（集

- 団研修) 口腔健康科学教育 (福岡市), 2009.
- 16: 先進医療の現状について: 赤川安正: 日本歯学系学会協議会講演会 (東京都), 2009.
 - 17: 骨再生能を有するポリリン酸吸着型人工骨の創製: 森田晃司, 久保隆靖, 土井一矢, 竹下亮, 赤川安正: 日本補綴歯科学会第 118 回学術大会 (京都市), 2009.
 - 18: 脳卒中後遺症の口唇閉鎖不全に対するリハビリテーションの一症例: 吉川峰加, 丸山真理子, 金久弥生, 津賀一弘, 吉田光由, 赤川安正: 第 118 回日本補綴歯科学会学術大会 (京都市), 2009.
 - 19: 良い義歯でしっかり噛むことは長生きの秘訣: 赤川安正: 第 118 回日本補綴歯科学会学術大会市民フォーラム (京都市), 2009.
 - 20: 診療ガイドライン作成部会報告 臨床決断をどうするか — 補綴歯科診療ガイドライン 2008 を臨床に生かす— 4. 臨床決断をするためにどうガイドラインを生かすか: 津賀一弘: 日本補綴歯科学会第 118 回学術大会 (京都市), 2009.
 - 21: インプラントを始めるために—現代のスタンダードを知る—: 赤川安正: 日本歯科医師会平成 21 年度生涯研修セミナー (盛岡市), 2009.
 - 22: 口腔周囲筋の圧力とオーラルディアドコキネシスとの関連性: 丸山真理子, 岡田源太郎, 吉川峰加, 吉田光由, 津賀一弘, 赤川安正: 第 4 2 回広島大学歯学会総会 (広島市), 2009.
 - 23: インプラントを始めるために—現代のスタンダードを知る—: 赤川安正: 日本歯科医師会平成 21 年度生涯研修セミナー (岐阜市), 2009.
 - 24: インプラントを始めるために—現代のスタンダードを知る—: 赤川安正: 日本歯科医師会平成 21 年度生涯研修セミナー (福岡市), 2009.
 - 25: 脳卒中後遺症における構音障害, 咀嚼・嚥下機能障害に対する簡易型舌圧測定装置を用いた口腔リハビリテーション: 吉川峰加, 森 利恵, 金久弥生, 吉田光由: 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会 (名古屋), 2009.
 - 26: 要介護高齢者に食べやすいパンの新開発: 吉川峰加, 吉田光由, 庄林 愛, 長崎信一, 津賀一弘, 赤川安正: 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会 (名古屋), 2009.
 - 27: 一回法ジルコニアインプラントの長期予後について: 久保隆靖, 土井一矢, 林 和彦, 森田晃司, 竹下 亮, 日浅 恭, 赤川安正: 第 39 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会 (大阪市), 2009.
 - 28: 新規バイオミメティック骨移植材の骨形成能: 松浦 歩, 久保隆靖, 土井一矢, 平田伊佐雄, 岡崎正之, 赤川安正: 第 54 回日本歯科理工学会学術講演会 (鹿児島), 2009.
 - 29: 簡易型舌圧測定装置を用いた健常高齢者における口腔周囲筋の圧力測定: 丸山真理子, 岡田源太郎, 吉川峰加, 吉田光由, 津賀一弘, 赤川安正: 日本咀嚼学会第 20 回記念学術大会・総会 (福岡市), 2009.
 - 30: 要介護高齢者のための易咀嚼性パンの新開発: 吉川峰加, 吉田光由, 庄林 愛, 長崎信一, 津賀一弘, 赤川安正: 日本咀嚼学会第 20 回記念学術大会・総会 (福岡市), 2009.
 - 31: シンポジウム II 「高齢者歯科治療における検査」簡便な舌圧測定装置による口腔機能検査: 津賀一弘: 第 2 回日本口腔検査学会総会・学術大会 (広島市), 2009.
 - 32: インプラントを始めるために—現代の水準を理解する—: 赤川安正: 重県歯科医師会講演会 (津市), 2009.

- 33: 日本歯学系学会協議会とは? : 赤川安正 : 松本歯科大学大学院 FD 研究会 (塩尻市), 2009.
- 34: インプラント上部構造製作の Tips, 一診療サイドと技工サイドのコラボレーション : 久保隆靖 : 第 60 回中国地区歯科医学大会ランチョンセミナー (広島市), 2009.
- 35: インプラントを始めるために一現代のスタンダードを知る一 : 赤川安正 : 日本歯科医師会平成 21 年度生涯研修セミナー (札幌市), 2009.
- 36: 歯学部初年次教育における水平横断的 PBL チュートリアル教育 : 田地 豪, 田口則宏, 竹本俊伸, 玉本光弘, 宮内美和, 渡邊峰朗, 金輪真佐美, 原 久美子, 里田隆博, 村山 長, 小川哲次, 内田 隆 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島市), 2009.
- 37: ナイトセッション「歯科補綴学の専門性を生かした口腔リハビリテーション医を目指して」 : 吉川峰加 : 歯科補綴ウインタースクール淡路 2009 (淡路市), 2009.
- 38: 簡易舌圧測定で介護現場の高齢者の口腔機能をはかる : 津賀一弘 : 歯科補綴ウインタースクール淡路 2009 (淡路市), 2009.
- 39: インプラントを始めるために一現代のスタンダードを知る一 : 赤川安正 : 日本歯科医師会平成 21 年度生涯研修セミナー (神戸市), 2009.
- 40: 1 回法 1 パーツジルコニアインプラント臨床応用 15 年の経過報告 : 久保隆靖, 土井一矢, 森田晃司, 竹下 亮, 和田本昌良, 橋本正毅, 赤川安正 : 平成 21 年度日本補綴歯科学会関西支部・中国四国支部合同学術大会 (淡路市), 2009.
- 41: インプラントを始めるために一現代のスタンダードを知る一 : 赤川安正 : 日本歯科医師会平成 21 年度生涯研修セミナー (千葉市), 2009.
- 42: インプラント GBR 研究の先端 : 赤川安正 : 鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科特別講義 (鹿児島), 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) : 赤川安正 : bFGF・ポリリン酸重層結合型インテリジェント機能性人工骨の新開発. (課題番号 2139051). 5,200 千円
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) : 赤川安正 : インテリジェントゲル・bFGF 複合体による新しいインプラント GBR の法の開発. (課題番号 19390498). 6,900 千円
- 3: 科学研究費補助金 (萌芽研究) : 赤川安正 : アルツハイマー型認知症と歯の喪失・咬合の関連における分子生物学的探求. (課題番号 19390498). 900 千円
- 4: 厚生労働科学研究費補助金 : 赤川安正 : 口腔ケア・マネジメントの確立. (課題番号 KOSE202001). 4,340 千円
- 5: 独立行政法人医薬基盤研究所科学研究費補助金 : 赤川安正 : 歯科領域における薬剤流出人工骨の研究. (課題番号 1809JE023). 4,480 千円
- 6: 科学研究費補助金 (基盤研究 (A)) : 赤川安正 : 短縮歯列への補綴介入に関するマルチセンサー・リサーチ. (課題番号 20249077). 1,750 千円
- 7: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) : 津賀一弘 : 補綴治療の抗加齢作用を増強する機能レーザーチャートの開発. (課題番号 20592269). 9,000 千円
- 8: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) : 阿部泰彦 : 組織適合型チタンインプラントの開発を目

- 指した高次生体機能性ナノ表面改質. (課題番号 21592452). 1,400 千円
- 9: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)): 田地 豪: 部分床義歯デザインプロセスのための咬合支持能力指数の開発. (課題番号 20592270). 2,700 千円
- 10: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)): 日浅 恭: 高度インプラント診断治療統合システムのためのマルチフィジックスシミュレータの開発. (課題番号 20592299). 3,000 千円
- 11: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)): 是竹克紀: インプラント追加埋入のための骨モデリングを応用する新しい骨質改善法. (課題番号 19791443). 1,100 千円
- 12: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)): 吉川峰加: 咬合の維持・回復による嚥下機能のアンチエイジング. (課題番号 19791442). 3,500 千円
- 13: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)): 吉川峰加: 脳磁図と拡散MR I. (課題番号 20592202). 60 千円
- 14: 科学研究費補助金 (若手研究 (スタートアップ)): 松浦 歩: サイトカイン添加型バイオミメティック人工骨による骨再生促進効果. (課題番号 21890159). 1,050 千円
- 15: 科学研究費補助金 (若手研究 (スタートアップ)): 森田晃司: bFGF を用いたポリリン酸結合型人工骨による骨形成促進の解明. (課題番号 21890160). 1,050 千円

(5)学会賞等の受賞状況

- 1: 広島大学学長表彰: 赤川安正
- 2: The13th Meeting of the International College of Prosthodontists (ICP) Poster Competition Award : 土井一矢

(6)特許

[目次へ戻る](#)

展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座（先端歯科補綴学研究室）及び口腔維持修復歯科（咬合・義歯診療科）

（１）職員並びに学生

教授	: 赤川安正
准教授	: 貞森紳丞, 安部倉仁 (診療准教授), 西村正宏 (診療准教授 5月まで)
助教	: 井上俊二, 洪 光 (3月まで), 香川和子, 土井一矢
事務補佐員	: 宮川路子
歯科診察医	: 原田佳枝, 林昭志, 藤原勲
後期研修医	: 末廣史雄(チーフ 3月まで), 藤原勲(シニア 3月まで), 堀智治(シニア 3月まで), 前田武志, 水町亘, 山本貴慧
大学院生	: 前田武志 (3月まで), 水町亘 (3月まで), 林昭志, 鎌田浩一, 柄博紀, 坪井将洋, ディリヌル (5月まで), 大倉和久
研修登録医	: 古胡真佐美 (3月まで), 深野木豊 (3月まで)

（２）主な研究活動

- 1 : 間葉系幹細胞の骨分化に関わる分子生物学的解析
- 2 : 高齢者（認知症）における補綴治療と全身状態との関連
- 3 : 唾液中クロモグラニンを指標とした精神的ストレス量と口腔習癖に関する研究
- 4 : 歯科材料のレオロジー及び義歯裏装材の開発に関する研究
- 5 : 低侵襲な顎堤増生法の開発
- 6 : 精神障害と歯科診療

（３）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : Identification of mesenchymal stem cell (MSC)-transcription factors by microarray and knockdown analyses, and signature molecule-marked MSC in bone marrow by immunohistochemistry: Kubo H., Shimizu M., Taya Y., Kawamoto T., Michida M., Kaneko E., Igarashi A., Nishimura M., Segoshi K., Shimazu Y., Tsuji K., Aoba T., Kato Y.: Genes to Cells 14, 407-424, 2009.
- 2 : Influence of denture cleansers on the color stability of three types of resin: Hong G., Murata H., Li Y.A., Sadamori S., Hamada T.: J Prosthet Dent, 101(3), 205-213, 2009.
- 3 : The clinical application of silicone type resilient denture liner: Jin C., Hong G., Hamada T.: Dent Resource Guide, (3), 44-48, 2009.

- 4 : Influence of denture cleansers on the color stability of three types of resin: Hong G., Murata H., Li Y.A., Sadamori S., Hamada T.: J Prosthet Dent, 101, 205-213, 2009.
- 5 : 間葉系幹細胞の骨分化に関わる転写調節因子の探索と機能解析: 末廣史雄. 広島大学歯学雑誌(査読無), 41(1), 12-26, 2009.
- 6 : 異汗性湿疹の手指症状が口腔内金属の除去治療により緩和された症例: 原田佳枝, 牧平 清超, 二川浩樹, 小川郁子, 北川雅恵, 安部倉仁, 西村正宏, 栗原英見, 赤川安正, 濱田泰三: 日本口腔検査学会誌, 1 (1), 31-36, 2009.
- 7 : 咀嚼能力評価の標準化に関する研究: 市川哲雄, 永尾 寛, 窪木拓男, 木村 彩, 秀島雅之, 玉置勝司, 小平順可, 貞森紳丞, 津賀一弘, 越野 寿, 赤川安正, 平井敏博: 日本歯科医学会誌, 28, 34-38, 2009.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : The influence of Sericin solution on wettability and antifungal effect of resin surface: Hong G, Hamada T, Maeda T, Yuda S, Yamada H, Tsujimoto K, Sadamori S.: The 3rd International Symposium for Interface Oral Health Science (Sendai), 2009.
- 2 : Interface, implant, regenerated bone and recipient alveolar bone: M Nishimura, Y Sakai, F Suehiro, M Tsuboi, K Kamada, T Hori, M Sakai, M Takeda, K Tsuji and T Hamada: The 3rd International Symposium for Interface Oral Health Science in Sendai, 2009.
- 3 : PMMA の添加が試作粘膜調整材の粘弾性と成分溶出に与える影響: 前田武志, 洪 光, 濱田泰三, 貞森紳丞: 第一回日本義歯ケア学会学術大会(横浜), 2009.
- 4 : 組成成分が粘膜調整材の工学的性質に及ぼす影響: 柄 博紀, 洪 光, 前田武志, 水町亘, 濱田泰三, 村田比呂司, 貞森紳丞: 第一回日本義歯ケア学会学術大会(横浜), 2009.
- 5 : 試作ティッシュコンディショナーの動的粘弾性について: 洪 光, 前田武志, 堀 智治, 貞森紳丞, 濱田泰三, 村田比呂司: 社団法人日本補綴歯科学会第118回学術大会(京都), 2009.
- 6 : 施設入所認知症高齢者の義歯装着の有無と身体・精神状態の経年的変化: 林 昭志, 貞森紳丞, 藤原 勲, 安部倉仁, 濱田泰三, 赤川安正: 日本老年歯科医学会総会・学術大会(横浜), 2009.
- 7 : 介護施設入所認知症高齢者の義歯使用と身体・精神状態の経年的変化: 林 昭志, 貞森紳丞, 藤原 勲, 安部倉仁, 濱田泰三, 赤川安正: 広島大学歯学会総会(広島), 2009.
- 8 : 認知症高齢者の全身状態と口腔内状態との関連—身体状態・精神状態, 日常生活動作能力, 口腔内状態から—: 藤原勲, 貞森紳丞, 林昭志, 濱田泰三, 赤川安正: 第20回日本老年歯科医学会(横浜), 2009.

- 9 : 認知症高齢者と非認知症高齢者の BMI , 口腔内状態の比較 : 藤原勲, 貞森紳丞, 林昭志, 井上俊二, 濱田泰三, 赤川安正 : 平成 21 年度日本補綴歯科学会関西支部, 中国・四国支部合同学会 (淡路) , 2009.
- 10 : 唾液中クロモグラニンにより測定したストレス反応量と口腔習癖の関連性 : 安部倉 仁, 坪井 将洋, 貞森紳丞, 赤川安正 : 日本顎関節学会学術大会 (東京) , 2009.
- 11 : 認知症高齢者と非認知症高齢者の BMI , 口腔内状態の比較 : 藤原勲, 貞森紳丞, 林昭志, 井上俊二, 濱田泰三, 赤川安正 : 日本補綴歯科学会関西支部, 中国・四国支部合同学会 (淡路市) (横浜) , 2009.
- 12 : アルコールフリー試作粘膜調整材の動的粘弾性について : 柄 博紀, 洪 光, 前田武志, 濱田泰三, 赤川安正, 野村雄二, 岡崎正之 : 第 53 回日本歯科理工学会学術講演会 (東京) , 2009

F) 講演発表

- 1 : 歯と口の健康 (ブラキシズム) : 安部倉 仁 : 広島県歯科衛生連絡協議会平成 21 年度 8020 運動推進事業歯・口と心の健康づくり推進事業研修会 (三原) , 2009.12 月 2 日

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) 一般) 継続 : 安部倉 仁 : 唾液中クロモグラニンを指標とした精神的ストレス量と口腔習癖の関連性. 課題番号 19592242.1, 560 千円
- 2 : 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (一般) : 西村正宏 : 自己由来細胞の機能制御による顎骨再生医療の開発. 課題番号 19390497.3, 200,000 千円
- 3 : 若手研究 (B) : 洪 光 : 口臭対策を中心とした試作生薬成分配合組織調整材の評価に関する研究. 課題番号 19791441.1, 100 千円
- 4 : 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) 一般) 継続 : 香川和子 : 口腔乾燥症に用いる生薬配合口腔内潤滑補助剤の開発. 課題番号 19592238.700 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1 : 西村正宏: Excellent Young Investigator Award at The 3rd International Symposium for Interface Oral Health Science in Sendai: 2009.1.15

(6) 特許

- 1 : 加藤 幸夫, 河本 健, 西村 正宏, 辻 紘一郎 : 誘導性間葉系幹細胞およびその作製方法 (特願 2009-115378) (出願人 : 国立大学法人広島大学, 株式会社ツーセル)

展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座(歯科矯正学研究室) 及び口腔健康発育歯科(矯正歯科)

(1) 職員並びに学生

教授	丹根 一夫
講師	河田 俊嗣, 上田 宏, 谷本 幸太郎
助教(大学院)	加来 真人, 藤田 正, 田中 伸明, 大谷 淳二, 丹根 由起
助教(病院)	本川 雅英, 高 明善
医員(研修医)	末川 洋平, 山本 浄子, 犬伏 俊博, 大熊 暁, 神谷 貴志, 佐野 良太, 白倉 麻耶, 高橋 拓史, 柄 なつみ,
大学院生	岩渕 泰憲, 国松 亮, 渡辺 元気, Emanuel Braga Rego, Rene Arturo Marquez Hernandes, 黄 郁苓, 伊藤 剛志, 尾崎 徳継, 川添 亜希, 小跡 弘幸, 砂 川絃子, 笹本 智子, 廣瀬 尚人, 堀畑 篤史, 道田 将彦, 吉岡 基子, 林 英貴, 松田 弥生, 光吉 智美, Sara Abedini, 小島 俊逸, 鷺見 圭輔, 椿本 昇子, 寺尾 明子, 吉見 友希, 増永 守雄(社会人)
研修医	石川 絵海, 村崎 恭子
留学生	Daniele Irina Shiratori
非常勤講師	植木 和弘, 小島 敏嗣, 柄 博治, 花岡 宏, 飯田 順一郎(北大歯教授)
研修登録医	田中 邦昭, 板谷 和徳, 木村 五十鈴, 植木 雅士, 釜田 寛子, 末川 珠 美, 長谷川 拓郎, 山野 玲子, 山野 栄三,
歯科衛生士	岡田 美穂

(2) 主な研究活動

1. 顎関節円板の粘弾性特性
2. 顎関節軟骨および円板細胞の増殖・分化に対する成長因子の影響
3. 顎関節負荷の生体力学的検索と潤滑機能の評価
4. 実験的歯の移動時の疼痛伝達機構およびその鎮痛機構の解明
5. 外科的矯正治療による顎口腔機能の変化
6. 鼻気道障害と顎顔面形態, 咀嚼筋機能, 呼吸機能との関連
7. 軟骨増殖および分化に対する機械的刺激の影響
8. 歯根膜の再生と修復機序の解明
9. 関節滑液中のヒアルロン酸代謝に関する研究
10. 食物性状の違いが大腦皮質の神経病理変化に及ぼす影響
11. 間葉系幹細胞による軟骨・骨再生医療の開発研究
12. 骨の成長発育に対する性ホルモンの制御機能

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

1. The Effect of Two Jaw Exercises on Occlusal Function in Obstructive Sleep Apnea Patients during Oral Appliance Therapy—A Randomized Controlled Trial.: Ueda H., Almeida FR., Chen H., Lowe AA.: *American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics*, 135, 430-437, 2009.
2. Supraposition of unopposed molars in young and adult rats: Fujita T., Montet X., Tanne K., Kiliaridis S.: *Archives of Oral Biology*, 54, 40-44, 2009.
3. Evaluation of aesthetic brackets' resistance to torsional forces from archwire: Nishio C., de Moraes Mendes A., de Oliveira Almeida M.A., Tanaka E., Tanne K., Elias C.N.: *American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics*, 135, 42-48, 2009.
4. Fms-like tyrosine kinase(Flt)-4 signaling participates in osteoclast differentiation in osteopetrotic (op/op) mice: Tsuka N., Motokawa M., Kaku M., Kawata T., Fujita T., Ohtani J., Koseki H., Sunagawa H., Matsuda Y., Abedini S., Hayashi H., Tanne K.: *Biomedical Research*, 30, 31-37, 2009.
5. Effect of mandibular advancement on growth after condylectomy: Nakano M., Fujita T., Ohtani J., Kawata T., Kaku M., Motokawa M., Tsuka N., Hayashi H., Tanne K.: *Journal of Dental Research*, 88, 261-265, 2009.
6. Functional roles of prolines at amelogenin C terminal during tooth enamel formation: Zhu L., Tanimoto K., Le T., Den Besten PK., Li W.: *Cells Tissues Organs*, 189, 203-206, 2009.
7. The mandibular cartilage metabolism is altered by damaged subchondral bone from traumatic impact loading: Lin YY., Tanaka N., Ohkuma S., Kamiya T., Kunimatsu R., Huang YC., Yoshioka M., Mitsuyoshi T., Tanne Y., Tanimoto K., Tanaka E., Tanne K.: *Annals of Biomedical Engineering*, 37, 1358-1367, 2009.
8. Effects of increased occlusal vertical dimension on daily activity and myosin heavy chain composition in rat jaw muscle: Ohnuki Y., Kawai N., Tanaka E., Langenbach GE., Tanne K., Saeki Y.: *Archives of Oral Biology*, 54, 783-789, 2009.
9. Effects of hyaluronan oligosaccharide on the expression of MMP-1 in periodontal ligament cells: Nakatani Y., Tanimoto K., Tanaka N., Tanne Y., Kamiya T., Kunimatsu R., Tanaka E., Tanne K.: *Archives of Oral Biology*, 54, 757-763, 2009.
10. A newly developed snack effective for enhancing bone volume: Ohtani J., Marquez Hernandez R.A., Sunagawa H., Fujita T., Kawata T., Kaku M., Motokawa M., Tsuka N., Koseki H., Matsuda Y., Hayashi H., Sara A., Tanne K.: *Nutrition Journal*, 8, 1-7, 2009.
11. Stress analysis in the mandibular condyle during prolonged clenching: a theoretical approach with the finite element method: Nishio C., Tanimoto K., Hirose M., Horiuchi S., Kuroda S., Tanne K., Tanaka E.: *Journal of Engineering in Medicine*, 223, 739-748, 2009.
12. Functional characteristics of the rat jaw muscles: daily muscle activity and fiber type composition: Kawai N., Sano R., Korfage JA., Nakamura S., Tanaka E., van Wessel T.,

- Langenbach GE., Tanne K.: *Journal of Anatomy*, 215, 656-62, 2009.
13. Correction of severe open bite using miniscrew anchorage: Kaku M., Kawai A., Koseki H., Abedini S., Kawazoe A., Sasamoto T., Sunagawa H., Yamamoto R., Tsuka N., Motokawa M., Ohtani J., Fujita T., Kawata T., Tanne K.: *Australian Dental Journal*, 54, 374-380, 2009.
 14. 乳歯外傷後に生じた後継永久歯萌出障害の二治療例: 川合暢彦, 川合晶子, 植木雅士, 丹根一夫: *広島歯科医学雑誌*, 36, 48-53, 2009.
 15. 骨量改善を目的とした骨強化補助食品の有用性について: 大谷淳二, 石川郁子, 石田秀彦, 小野珠美, 藤田正, 丹根一夫: *広島歯科医学雑誌*, 36, 24-30, 2009.
 16. 矯正歯科治療後に生じた開咬に再度矯正歯科治療を行った顎関節に骨変形のみられた一例: 谷本幸太郎, 丹根由起, 丹根一夫: *日本顎関節学会雑誌*, 21, 5-10, 2009.
 17. 最近8年間に広島大学病院矯正歯科を受診した不正咬合患者の臨床調査: 過去32年間の調査結果との比較: 中村彩花, 川合暢彦, 山野栄三, 犬伏俊博, 上田 宏, 丹根一夫: *中・四国矯正歯科学会雑誌*, 21, 77-85, 2009.
 18. 疼痛性障害を伴う患者に対しペインクリニックとの連携により矯正歯科治療を行った一治療例: 小跡弘幸, 加来真人, 河田俊嗣, 藤田 正, 本川雅英, 柄なつみ, 大谷淳二, Rene Arturo Marquez Hernandez, 砂川紘子, 松田弥生, Abedini Sara, 丹根一夫: *中・四国矯正歯科学会雑誌*, 21, 19-24, 2009.
 19. 広島大学病院矯正歯科の不正咬合患者における顎顔面部への外傷既往に関する臨床調査: 川合暢彦, 中村彩花, 大谷淳二, 本川雅英, 當麻愉衣子, 西 美香, 丹根一夫: *Orthodontic Waves-Japanese Edition*, 68, 75-82, 2009.
 20. 学童における口唇閉鎖力と横顔との関連について: 上田 宏, 堀畑篤史, 渡辺元気, 相澤光恵, 大松恭宏, 丹根一夫: *広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要*, 37, 285-287, 2009.
 21. 大豆レシチンによるリポソーム化ラクトフェリン経口投与がリポポリサッカライド誘導歯周組織破壊に及ぼす抑制効果: 川添亜希, 宮内睦美, 山野栄三, 石角 篤, 田中栄二, 牧野武利, 犬伏俊博, Emanuel Braga Rego, 丹根一夫, 高田 隆: *ラクトフェリン* 2009, 79-83, 2009.
 22. 広島大学病院矯正歯科における口唇裂・口蓋裂患者の統計学的調査: 尾崎徳継, 植木雅士, 長谷川拓郎, 田中伸明, 當麻愉衣子, 西 美香, 國松 亮, 谷本幸太郎, 丹根一夫: *広島大学歯学雑誌*, 41, 4-11, 2009.
 23. 下顎枝矢状分割骨切り術の骨片固定にポリ-L-乳酸スクリューとコントラアングルドライバースystemを用いた完全口腔内アプローチ法: 太田耕司, 小野重弘, 水田邦子, 二宮嘉昭, 中川貴之, 宮内美和, 柄なつみ, 武知正晃, 丹根一夫, 鎌田伸之: *広島大学歯学雑誌*, 41, 143-148, 2009.
 24. 矯正歯科治療期間短縮を目的とした矯正装置 Anti Brake System86(ABS86)について: 河田俊嗣, 神谷貴志, 加来真人, 上田 宏, 本川雅英, 藤田 正, 大谷淳二, 國松 亮, 丹根一夫: *広島大学歯学雑誌*, 41, 114-120, 2009.

B) 総説

1. より安全で確実な矯正歯科用インプラントの植立 ミニスクリュー植立時におけるリスクマネジメント(その 1): 大谷淳二, 砂川紘子, 植木和弘, 丹根一夫: 矯正臨床ジャーナル, 01, 99-104, 2009.
2. より安全で確実な矯正歯科用インプラントの植立 ミニスクリュー植立時におけるリスクマネジメント(その 2): 大谷淳二, 砂川紘子, 植木和弘, 丹根一夫: 矯正臨床ジャーナル, 03, 41-50, 2009.
3. 睡眠時無呼吸症候群治療における歯科の役割 口腔内装置のコンプライアンスと副作用: 上田 宏, 渡辺元気, 堀畑篤史, 丹根一夫: 睡眠医療, 3, 264-269, 2009.
4. 文献と臨床の橋わたし咬合治療と顎機能改善の一考察 —矯正歯科治療からみる形態と機能の関わり—: 上田 宏, 渡辺元気, 高 明善, 丹根一夫: 日本歯科評論, 69,150-152,2009.
5. 文献と臨床の橋わたし 矯正歯科と顎関節症: 谷本幸太郎, 丹根一夫: 日本歯科評論, 69, 148-150, 2009.
6. 文献と臨床の橋わたし 下顎骨の成長発育に対する機能的矯正装置の治療効果: 藤田正, 丹根一夫: 日本歯科評論, 69, 169-171, 2009.
7. 新たな審美修復材料 歯の銀行の役割: 河田俊嗣, 神谷貴志, 加来真人, 國松 亮, 上田 宏, 栗原英見, 岡崎正之, 西村英紀, 白井憲一, 藤井理史, 内田 隆, 丹根一夫: 広島大学歯学雑誌, 41, 121-125, 2009.

C) 著書

D) その他の刊行物

E) 学会発表

1. Cryopreservation of PDL cells by use of program freezer with magnetic field for teeth banking: Abedini S., Kaku M., Koseki H., Kawata T., Motokawa M., Matsuda Y., Tsuka N., Fujita T., Ohtani J., Sunagawa H., Marquez Hernandez R.A., Tanne K.: The International Workshop on BioDental Education and Research Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences (Hiroshima, Japan), 2009.
2. Effects of Amelogenin on the Proliferation and Differentiation of Human Mesenchymal Stem Cells: Huang YC., Tanimoto K., Tanaka N., Tanne Y., Kamiya T., Kunimatsu R., Yoshioka M., Michida M., Kato Y., Tanne K.: Workshop on Bio-Dental Education and Research in Hiroshima (Hiroshima, Japan), 2009.
3. Effect of recombinant human amelogenin on the proliferation of cementoblasts and periodontal ligament cells: Kunimatsu R., Tanimoto K., Tanne Y., Kamiya T., Ohkuma S., Inubushi T., Huang YC., Yoshioka M., Hirose N., Mitsuyoshi T., Miyauchi M., Takata T., Tanne K.: Workshop on Bio-Dental Education and Research in Hiroshima (Hiroshima, Japan), 2009.
4. Ultrasound stimulation increases PGE2 production and induces mineral deposition via prostaglandin EP4 receptor activation in mouse cementoblasts.: Emanuel B.R., Inubushi T., Kawazoe A., Miyauchi M., Takata T., Tanne K.: Workshop on Bio-Dental Education and Research in Hiroshima (Hiroshima,

- Japan), 2009.
5. Regeneration of condyle by use of a functional appliance: Fujita T., Ohtani J., Tanne K.: 85th Congress of the European Orthodontic Society (Helsinki, Finland), 2009.
 6. Influences of different oral appliances for obstructive sleep apnea on occlusal function: Watanabe G., Ueda H., Horihata A., Tanne K.: America Academy of dental sleep Medicine 18th Annual Meeting (Seattle, USA), 2009.
 7. Influence of oral appliance for the treatment of obstructive sleep apnea on occlusal function: Ueda H., Watanabe G., Horihata A., Tanne K.: America Academy of dental sleep Medicine 18th Annual Meeting (Seattle, USA), 2009.
 8. Masticatory muscle activity in a rat model of Parkinson's disease: Nakamura S., Kawai N., Kitayama T., Watanabe M., Tanne K and Tanaka E.; 2nd Meeting of IADAR Pan Asian Pacific Federation and 1st Meeting of IADAR Asia/Pacific Region (Beijing, China), 2009.
 9. Examination of twisting torque and healing period for the success rate of mini-screw: Investigation by animal experiment and clinical survey: Sunagawa H., Ohtani J., Marquez Hernandez R.A., Fujita T., Kawata T., Kaku M., Motokawa M., Tsuka N., Koseki H., Matsuda Y., Hayashi H., Shiratori I.D., Tsubamoto N., Terao A. and Tanne K.: 8th Asian Implant Orthodontic Conference(Sendai, Japan), 2009.
 10. A new concept of screw implantation and clinical outcomes of self-drilling screw in the Department of Orthodontics, Hiroshima University Hospital: Shiratori I.D., Ohtani J., Sunagawa H., Sano R., Marquez Hernandez R.A., Fujita T., Kaku M., Tsubamoto N. and Tanne K.: 8th Asian Implant Orthodontic Conference(Sendai, Japan), 2009.
 11. A cleft lip and palate patient treated with maxillary distraction osteogenesis using a rigid external distraction (RED) system: Tanne Y., Tanimoto K., Yoshioka M., Huang YC., Mitsuyoshi T., Tanne K.: Cleft 2009 11th International Congress (Fortaleza, Brazil), 2009.
 12. Bone Regeneration for the Treatment of Jaw Cleft with Mesenchymal Stem Cells Derived from Bone Marrow: Yoshioka M., Tanimoto K., Tanaka N., Tanne Y., Sugiyama M., Kato Y., Tanne K.: Cleft 2009 11th International Congress (Fortaleza, Brazil), 2009.
 13. Effects of amelogenin on the proliferation and differentiation of human mesenchymal stem cells and the possible intracellular mechanism: Huang YC., Tanimoto K., Tanaka N., Tanne Y., Kamiya T., Kunimatsu R., Okuma S., Yoshioka M., Michida M., Mitsuyoshi T., Kato Y., Tanne K.: 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, (Hiroshima, Japan), 2009.
 14. Effect of recombinant human amelogenin on the proliferation of cementoblastsand periodontal ligament cells: Kunimatus R., Tanimoto K., Tanaka N., Tanne Y., Kamiya T., Ohkuma S., Huang YC., Yoshioka M., Mitsuyoshi T., Miyauchi M., Takata T., Tanne K.: 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry (Hiroshima, Japan), 2009
 15. Regeneration of Maxillary Bone with Mesenchymal Stem Cells for the Treatment of Jaw Cleft: Yoshioka M., Tanimoto K., Tanaka N., Tanne Y., Sumi K., Kato Y., Sugiyama M., Tanne K.: 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry (Hiroshima, Japan), 2009.
 16. Anti-inflammatory effects of soybean lecithin liposomal lactoferrin: Kawazoe A, Miyauchi M, Inubushi T, Emanuel B.R., Yamano E, Ishikado A, Tanne K, Takata T: 3rd Hiroshima Conference on

Education and Science in Dentistry,(Hiroshima, Japan), 2009.

17. 宿主年齢の異なる歯肉組織の創傷治癒過程におけるアポトーシス調節に対する bFGF の影響: 大熊 暁, 田中 伸明, 谷本幸太郎, 丹根由起, 神谷貴志, 國松亮, 黄 郁苓, 吉岡基子, 光吉智子, 丹根一夫: 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 (東京), 2009.
18. 骨髄由来未分化間葉系幹細胞を用いた骨再生による顎裂閉鎖治療: 吉岡基子, 谷本幸太郎, 田中伸明, 丹根由起, 神谷貴志, 大熊 暁, 國松 亮, 黄 郁苓, 光吉智美, 坂井裕大, 杉山 勝, 加藤幸夫, 丹根一夫: 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 (東京), 2009
19. 長期の成長観察後に下顎骨仮骨延長術を施行した hemifacial microsomia の 1 症例: 佐野良太, 大谷淳二, 砂川絃子, 藤田 正, 上田 宏, 丹根一夫: 第 19 回顎変形症学会 (仙台), 2009.
20. 顎矯正手術を受けた開咬症例における術後変化との関連要因: 伊藤剛志, 高 明善, 藤田 正, 白倉麻耶, 上田 宏, 丹根一夫: 第 19 回顎変形症学会 (仙台), 2009.
21. 核内受容体による時計遺伝子発現調節機構の解明: 尾崎徳継, 能城光秀, 本田清昌, 河本 健, 藤本勝巳, 谷本幸太郎, 加藤幸夫, 丹根 一夫: 第 42 回広島大学歯学会 (広島), 2009.
22. 歯の移植と上下顎移動術を行った著しい叢生と歯の欠損を伴う下顎前突の一治療例: 道田 将彦, 田中伸明, 谷本幸太郎, 丹根一夫: 第 42 回広島大学歯学会 (広島), 2009.
23. 骨密度の改善を目的とした骨強化補助食品の開発: 大谷淳二, 石川郁子, 丹根一夫: 第 42 回広島大学歯学 (広島), 2009.
24. リポソーム化ラクトフェリン経口投与がリポポリサッカライド誘導歯周組織破壊に及ぼす抑制効果: 川添亜希, 山野栄三, 宮内睦美, 石角 篤, 牧野武利, 丹根一夫, 高田 隆: 第 42 回広島大学歯学会 (広島), 2009.
25. Emdogenous PGE₂ induced by ultrasound stimulation mediates cementblast differentiation through the activation of prostaglandin receptors EP2 and EP4: Emanuel B.R., Inubushi T, Kawazoe A, Miyauchi M, Takata T, Tanne K.: 第 42 回広島大学歯学会 (広島), 2009.
26. アメロジェニンのセメント質代謝調節機構への影響: 國松 亮, 谷本幸太郎, 田中伸明, 丹根由起, 神谷貴志, 大熊 暁, 黄 郁苓, 吉岡基子, 光吉智美, 宮内睦美, 高田 隆, 丹根一夫: 第 42 回広島大学歯学会 (広島), 2009.
27. 矯正歯科治療に伴う歯根吸収と治療要因の関連性: 本川雅英, 松田弥生, 加来真人, 河田俊嗣, 山本浄子, 柄なつみ, 犬伏俊博, 笹本智子, 尾崎徳継, 小跡弘幸, 川添亜希, 丹根一夫: 第 52 回中四国矯正歯科学会 (徳島), 2009.
28. ミニスクリューを用いて治療したⅡ級ガミースマイル症例: 加来真人, 小跡弘幸, 川添亜希, 本川雅英, 柄なつみ, 笹本智子, 松田弥生, 藤田正, 林 英貴, 大谷淳二, 砂川絃子, 河田俊嗣, 丹根一夫: 第 52 回中四国矯正歯科学会 (徳島), 2009.
29. A treatment case of posterior open bite due to a long-term use of occlusal splint for temporomandibular joint disorders; Huang YC., Tanimoto K., Honda K., Ueda H., Tanne Y., Kunimatsu R., Yoshioka M., Tanne K.: 第 52 回中四国矯正歯科学会 (徳島), 2009.
30. 軟骨形成不全症を伴う骨格性下顎前突および開咬の治療: 光吉智美, 丹根由起, 谷本幸太郎, 黄 郁苓, 神谷貴志, 國松 亮, 吉岡基子, 丹根一夫: 第 52 回中・四国矯正歯科学会大会 (徳島), 2009.
31. 矯正歯科治療に伴う歯根吸収と宿主要因の関連性に関する臨床調査: 松田弥生, 本川雅英, 加来真人, 河田俊嗣, 山本浄子, 柄なつみ, 犬伏俊博, 笹本智子, 尾崎徳継, 小跡弘幸, 川添

- 亜希, 丹根一夫: 第 52 回中・四国矯正歯科学会 (徳島), 2009.
32. 著しい歯肉増殖を伴う難治性てんかん患者に対する矯正歯科治療: 國松 亮, 谷本幸太郎, 丹根由起, 神谷貴志, 尾崎徳継, 黄 郁芬, 吉岡基子, 光吉智美, 丹根一夫: 第 52 回中四国矯正歯科学会大会, (徳島), 2009.
 33. 滑膜細胞のヒアルロン酸分解酵素活性に対する炎症性サイトカインの影響: 丹根由起, 谷本幸太郎, 山野玲子, 神谷貴志, 光吉智美, 丹根一夫: 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会 (船堀), 2009.
 34. Superficial zone protein 発現に対するヒアルロン酸の影響: 光吉智美, 神谷貴志, 谷本幸太郎, 田中申明, 丹根由起, 丹根一夫: 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会/ 第 14 回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会 (東京), 2009.
 35. 不正咬合患者群における顎関節病態と顎顔面形態の関連性: 佐野良太, 谷本幸太郎, 丹根由紀, 神谷貴志, 光吉智美, 杉山拓紀, 小澤 奏, 丹根一夫: 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会/ 第 14 回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会 (東京), 2009.
 36. ベストフェイシャルプロポーションにおけるセファロと顔面写真分析の重要性: 尾崎徳継, 河田俊嗣, 加来真人, 本川雅英, 神谷貴志, 國松 亮, 笹本智子, 小跡弘幸, 廣瀬尚人, 伊藤剛志, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 37. 矯正治療期間短縮を目的とした矯正装置 Anti brake system 86(AB86): 河田俊嗣, 加来真人, 神谷貴志, 上田 宏, 藤田 正, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 38. 矯正歯科用インプラントの成功率と回転トルクの関連性: 砂川紘子, 大谷淳二, 佐野良太, Rene Arturo Marquez Hernandez, 藤田 正, 河田俊嗣, 加来真人, 本川雅英, シラトリ・イリーナ・ダニエレ, 柄なつみ, 小跡弘幸, 林 英貴, 松田弥生, Sara Abedini, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 39. 矯正歯科治療に伴う歯根吸収と矯正的歯の移動の関連性における臨床調査: 笹本智子, 本川雅英, 加来真人, 河田俊嗣, 山本浄子, 柄なつみ, 犬伏俊博, 尾崎徳継, 小跡弘幸, 川添亜希, 松田弥生, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 40. 矯正歯科固定源としてのミニスクリューの初期安定性の評価: 大谷淳二, 砂川紘子, 加来真人, 渡辺元気, 佐野良太, Rene Arturo Marquez Hernandez, 藤田正, 河田俊嗣, 本川雅英, シラトリ・イリーナ・ダニエレ, 柄なつみ, 小跡弘幸, 林英貴, 松田弥生, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 41. 下顎頭軟骨細胞に対する低出力超音波(LIPUS)照射の影響について: 岩渕泰憲, 谷本幸太郎, 田中申明, 丹根由起, 犬伏俊博, 神谷貴志, 大熊 暁, 國松 亮, Huang Yu-Ching, 吉岡基子, 尾崎徳継, 笹本智子, 道田将彦, 田中栄二, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 42. 未分化間葉系幹細胞(MSC)増殖、分化における転写因子 GATA6 の機能: 道田将彦, 河本健, 笹本智子, 尾崎徳継, 田中申明, 谷本幸太郎, 加藤幸夫, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 43. Vascular endothelial growth factor(VEGF)-C、D の破骨細胞の分化誘導および骨吸収能に及ぼす影響: 柄なつみ,

- 本川雅英, 加来真人, 河田俊嗣, 藤田正, 大谷淳二, 小跡弘幸, 砂川絃子, Rene Arturo Marquez Hernandez, 松田弥生, Abedini Sara, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
44. ヒト歯根膜細胞代謝調節機構に対するヒトリコンビナントアメロジェニンの効果: 國松亮, 谷本幸太郎, 田中伸明, 丹根由起, 神谷貴志, 大熊暁, 犬伏俊博, 岩淵泰憲, Huang Yu-Ching, 吉岡基子, 尾崎徳継, 笹本智子, 道田将彦, 光吉智美, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 45. Proliferation and characteristics of PDL cells after long-term cryopreservation: Abedini Sara, 加来真人, 河田俊嗣, 小跡弘幸, 藤田正, 本川雅英, 大谷淳二, 柄なつみ, Rene Arturo Marquez Hernandez, 砂川絃子, 松田弥生, 林英貴, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 46. 神経因性疼痛における P2×7 受容体の役割: 伊藤剛志, 渡邊峰朗, 末川洋平, 犬伏俊博, 高橋拓史, 廣瀬尚人, 樋山伸二, 内田隆, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 47. Regulation of bone growth by sex hormone receptor in newborn mice: Rene Arturo Marquez Hernandez, 大谷淳二, 藤田正, 河田俊嗣, 加来真人, 本川雅英, 柄なつみ, 砂川絃子, 小跡弘幸, 林英貴, 松田弥生, Abedini Sara, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 48. リポソーム化ラクトフェリン経口投与の抗炎症効果: 川添亜希, 犬伏俊博, レゴ・エマヌエル・ブラガ, 山野栄三, 石角篤, 高田隆, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 49. 磁場を利用したマウス骨芽細胞の長期凍結保存法: 小跡弘幸, 加来真人, 河田俊嗣, 本川雅英, 柄なつみ, 藤田正, 大谷淳二, 砂川絃子, Rene Arturo Marquez Hernandez, Abedini Sara, 松田弥生, 林英貴, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 50. 睡眠時無呼吸症候群の治療に用いる口腔内装置による歯列への負荷: 堀畑篤史, 上田宏, 渡辺元気, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 51. Effects of amelogenins on the proliferation and differentiation of human mesenchymal stem cells: Huang YC., Tanimoto K., Tanne Y., Kamiya T., Ohkuma S., Inubushi T., Kunimatsu R., Yoshioka M., Michida M., Mitsuyoshi T., Yoshimi Y., Kato Y., Tanne K: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 52. ラット咀嚼筋線維の加齢変化に関する免疫組織学的研究: 中村彩花, 川合暢彦, 佐野良太, 木内奈央, 川上恵実, 丹根一夫, 田中栄二: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.
 53. ティースバンク・便宜抜去歯を用いた新規歯冠修復への提言: 神谷貴志, 河田俊嗣, 加来真人, 國松亮, 丹根一夫: 第 68 回日本矯正歯科学会学術大会 (福岡), 2009.

F) シンポジウムおよび依頼講演

1. Tanne K.: Induction mechanisms of temporomandibular joint disorder (TMD) and the problem-oriented therapeutic system: The 7th Congress of Iranian Association of Orthodontists (Hamadan, Iran), 2009.

2. Tanne K.: Recent advances in clinical orthodontics: evidence-based therapeutic strategy with use of teeth cryopreservation and implant anchorage: The 7th Congress of Iranian Association of Orthodontists (Hamadan, Iran), 2009.
3. Tanne K.: Recent innovation in edgewise technique for the correction of vertical discrepancy cases: multiloop edgewise archwire (MEAW) or micro-implant?: The 5th World Edgewise Orthodontic Congress (Xi'an, China), 2009.
4. Tanne K.: A strategic innovation in the treatment for open bite: multiloop edgewise archwire of micro-implant?: 2009 Annual Meeting of Taiwan Association of Orthodontists (Kaohsiung, Taiwan), 2009.
5. Ohtani J.: Establishment of reliable and safety implantation : Investigation by animal study and clinical survey: 8th Asian Implant Orthodontic Conference (Sendai, Japan), 2009.
6. 丹根一夫: 顎関節症の教育カリキュラムの立案 矯正歯科治療結果の長期安定性に繋がる、顎関節症の基本的な学識と治療術式を教育することが大切である: 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会/ 第 14 回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会 (東京), 2009.
7. 谷本幸太郎: 未分化間葉系幹細胞を用いた顎裂閉鎖治療—臨床応用の実現に向けた 試み一: 平成 21 年度広島矯正歯科医会第一回例会講演会 (広島), 2009.
8. 谷本幸太郎: 未分化間葉系幹細胞の顎裂閉鎖治療への応用—上顎骨の再生と歯の移動 について—: 第 73 回幹細胞研究会 (広島), 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

1. 科学研究費補助金 基盤研究 (B): 丹根一夫: 外因刺激に対する下顎頭軟骨各層の応答と進行性下顎頭吸収との関わり. 5200 千円
2. 広島大学病院臨床研究助成金: 丹根一夫: 骨髄間葉系幹細胞に対する磁場を応用した長期凍結保存法の確立とその臨床応用. 500 千円
3. 科学研究費補助金 基盤研究 (C): 上田 宏: 睡眠時無呼吸症候群における歯列への副作用の少ない口腔内装置の臨床応用. 課題番号 20592403. 1450 千円
4. 科学研究費補助金 基盤研究 (B): 谷本幸太郎: バイオミネラライゼーションモデルを用いたエナメル質形成不全症(AI)発症機構の解明. 課題番号 20390522. 4290 千円
5. 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究: 谷本幸太郎: ナノプロセスによるアパタイト結晶誘導技術の開発とエナメル質再生治療への応用: 課題番号 21659474. 1600 千円
6. 科学研究費補助金 若手研究(B): 藤田 正: 顎関節症の発現に性ホルモンが及ぼす影響について. 課題番号 20791577. 1700 千円
7. 科学研究費補助金 若手研究 (スタートアップ): 丹根由起: 未分化間葉系細胞による骨再生誘導に対応した微小環境構築へのアメロゲンinの応用. 課題番号 21890164. 1352 千円
8. 科学研究費補助金 若手研究 (スタートアップ): 神谷貴志: 潤滑機能性蛋白 SZP の発現調節機構の解明と顎関節機能改善を目指した治療法の開発 . 課題番号 21890163.1456 千円
9. 科学研究費補助金 若手研究 (スタートアップ): 高橋拓史: 顎顔面領域慢性疼痛時のギャップ結合の役割
課題番号 21890162. 1365 千円

10. 平成 20 年度ひろしま産業創生補助金: (株)ツーセル: 開業歯科医院に普及可能な顎骨骨髄採取法および採取した間葉系幹細胞の培養・保存法の開発: 135 千円.
11. 共同研究費: (株)プロシード: ショートスクリーン開発における組織学的検討. 700 千円
12. ものづくり中小企業製品開発等支援補助金: (株)イシカワ: カルシウムイオン水に於ける殺菌効果の商品化検証. 800 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

1. Huang YC.: Effects of Amelogenin on the Proliferation and Differentiation of Human Mesenchymal Stem Cells: Poster
award: Workshop on Bio-Dental Education and Research in Hiroshima (Hiroshima, Japan), 2009.
2. Emanuel B.R.: Ultrasound stimulation increases PGE₂ production and induces mineral deposition via prostaglandin EP4 receptor activation in mouse cementoblasts: Poster award: Workshop on Bio-Dental Education and Research in Hiroshima (Hiroshima, Japan), 2009.
3. Fujita T.: Regeneration of condyle by use of a functional appliance: EOS Best Poster Award: 85th Congress of the European Orthodontic Society (Helsinki, Finland), 2009.
4. Emanuel B.R.: Endogenous PGE₂ induced by ultrasound stimulation mediates cementblast differentiation through the activation of prostaglandin receptors EP2 and EP4: 奨励賞: 第 42 回広島大学歯学会 (広島), 2009.
5. 藤田 正: 第 12 回広島大学歯学部同窓会奨励賞, 2009.
6. 光吉智美: Superficial zone protein 発現に対するヒアルロン酸の影響: 優秀ポスター賞: 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会 / 第 14 回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会 (東京), 2009.
7. 佐野良太: 不正咬合患者群における顎関節病態と顎顔面形態の関連性: 優秀ポスター賞: 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会 (東京), 2009.
8. 神谷貴志: ティースバンク・便宜抜去歯を用いた新規歯冠修復への提言: 優秀発表賞: 第 68 回日本矯正歯科学会大会 (福岡), 2009.
9. Huang YC.: Effects of amelogenins on the proliferation and differentiation of human mesenchymal stem cells: 優秀発表賞: 第 68 回日本矯正歯科学会大会 (福岡), 2009.
10. 犬伏俊博: 広島大学 学長表彰, 2009.
11. 國松 亮: 広島大学エクセレント・スチューデント・スカラシップ, 2009.
12. 渡辺元気: 広島大学エクセレント・スチューデント・スカラシップ, 2009.

(6) 特許

展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座(小児歯科学研究室) 及び口腔健康発育歯科(小児歯科)

(1) 職員並びに学生

教授	: 香西克之
准教授	: 鈴木淳司
助教	: 海原康孝(診療講師), 林 文子(診療講師), 光畑智恵子 吉村 剛, 太刀掛銘子(4月から), 角本法子(3月まで)
診療医	: 角本法子(4月から), 三浦 梢, 有木美早, 平田涼子, 大谷聡子, 三宅奈美
大学院生	: 坪井 文, 大原 紫, 胡 軼群, 小西有希子(4月から) : 島田 歩(4月から), 松浦和則(4月から), 山根 陽(4月から)
研究生	: 財賀かおり, 番匠谷綾子, 平川美重, 敖敏
研修登録医	: 山城真美

(2) 主な研究活動

- 1: ミュータンス連鎖球菌の溶菌酵素に関する研究
- 2: 小児口腔細菌, 特に黄色ブドウ球菌に関する研究
- 3: osteoblast の分化におけるプロスタグランジンの影響
- 4: osteoblast の分化における細胞間連絡の分子生物学的解析
- 5: 小児の歯周疾患における細菌学および疫学的研究
- 6: 小児の心理学的ストレスの行動学的評価
- 7: 齲蝕原因菌の伝播の解明
- 8: 抗齲蝕性物質の天然物質からの探求
- 9: 低 pH 飲料の歯の脱灰能

(3) 研究業績

A) 原著(症例報告を含む)

- 1: 小児歯科学基礎実習における教育内容の大学間共有化に関する検討 (1) 全国29歯科大学・大学歯学部における小児歯科学基礎実習の5項目の実態: 林 文子, 香西克之, 内川喜盛, 木本茂成, 田村康夫, 中島一郎, 小野俊朗, 有田憲司, 新谷誠康, 福本 敏, 鈴木淳司, 海原康孝, 土屋友幸: 小児歯誌, 47(1), 24-32, 2009.
- 2: 小児歯科学基礎実習における教育内容の大学間共有化に関する検討 (2) 教育ワークショップの成果について: 海原康孝, 香西克之, 内川喜盛, 木本茂成, 田村康夫, 中島一郎,

- 小野俊朗, 有田憲司, 新谷誠康, 福本 敏, 鈴木淳司, 林 文子, 土屋友幸: 小児歯誌, 47(1), 33-40, 2009.
- 3: 中学生における歯周疾患実態調査および歯周病原細菌の分布: 林 文子, 保田利恵, 中田啓子, 鈴木淳司, 岡田 貢, 河村 誠, 香西克之: 広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要, 37, 275-278, 2009.
- 4: 小児外傷における陥入乳歯の治療評価: 平田涼子, 海原康孝, 鈴木淳司, 香西克之: 広大歯誌, 41(2), 44-49, 2009.
- 5: Automutanolysin disrupts clinical isolates of cariogenic streptococci in biofilms and planktonic cells :Thanysarisung P, Komatuzawa H., Yoshimura G, Fujiwara T., Kozai K., Etoh K., Izumi Y., Sugai M.: Oral microbiology and Immunology, 24(6), 451-455, 2009.
- 6: 大臼歯の近心傾斜および萌出不全に対する効率的な咬合誘導: 吉村 剛, 海原康孝, 林 文子, 香西克之: 小児歯誌, 47(5), 780-786, 2009.
- 7: 下顎乳切歯の再植を行った2例: 三宅奈美, 林 文子, 鈴木淳司, 角本法子, 太刀掛銘子, 香西克之: 小児歯誌, 47(5), 787-795, 2009.
- 8: 歯の衛生週間に当科が開催する市民啓発活動の実態: 三浦 梢, 海原康孝, 吉村 剛, 鈴木淳司, 香西克之: 日歯福祉誌, 14(1), 41-46, 2009.
- 9: 小学1年生の食事の実態調査: 林 文子, 海原康孝, 鈴木淳司, 香西克之: 日歯福祉誌, 14(1), 47-51, 2009.
- 10: Possibility of more than one strain of *Streptococcus mutans* post initial acquisition in children: Udijanto T., Kozai K., Proceeding of 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, 105, 2009.
- 11: EP2 and EP4 receptors differentially mediate MAPK pathways underlying anabolic actions of prostaglandin E2 on bone formation in rat calvaria cell cultures.: Minamizaki T., Yoshiko Y., Kozai K., Aubin J E., Maeda N.: Bone, 44(6), 1177-1185, 2009.

B) 総説

- 1: Transmission of Mutans streptococci and aprevention of Caries (review): Kozai K., Suzuki J.: Cariology Today 5(August), 29-32, 2009.
- 2: CO・GO の趣旨を十分に活かした学校歯科保健活動を展開するために: 各論② 小児の歯肉炎と GO: 香西克之: 日学校歯医学会誌, 101, 24-29, 2009.

C) 著書

- 1: Pediatric Dentistry (第3版小児歯科学,医歯薬出版, 2007 のモンゴル語翻訳書): 小児の歯周疾患, 155-167: 小児の歯周疾患治療, 268-276: 小児の歯の外傷の処置と予防, 407-430: 香西克之 (分担): ISHIYAKU PUBLISSHERS, INC., 2009.

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: リンガルアーチとセクショナルワイヤーによる少数歯の咬合誘導: 海原康孝, 鈴木淳司, 香西克之: 平成 21 年度成育歯科医療研究会徹底討論会 (神戸), 2009.
- 2: 小児および脳性麻痺における嚥下障害に対する口腔内補装具の効果: 益田 慎, 鈴木淳司, 林 文子, 角本法子, 太刀掛銘子, 香西克之: 第 18 回耳鼻咽喉科リハビリテーション医学研究会 (東京), 2009.
- 3: 学童期におけるミュータンス連鎖球菌の分布と齲蝕罹患状況との関連: 三宅奈美, 岡田 貢, 有木美早, 林 文子, 香西克之: 第 47 回日本小児歯科学会大会 (大阪), 2009.
- 4: 酸性環境下におけるミュータンスレンサ球菌の性状変化の検討: 大原 紫, 吉村 剛, 鈴木淳司, 香西克之: 第 47 回日本小児歯科学会大会および総会 (大阪), 2009.
- 5: 大白歯の近心傾斜および萌出不全に対する効率的な咬合誘導: 海原康孝, 吉村 剛, 角本法子, 林文子, 香西克之: 第 47 回日本小児歯科学会大会および総会 (大阪), 2009.
- 6: 小児における real-time PCR 法を用いた *Porphyromonas gingivalis* の定量解析: 林 文子, 角本法子, 鈴木淳司, 岡田 貢, 香西克之: 第 47 回日本小児歯科学会大会 (大阪), 2009.
- 7: 乳歯陥入の処置とその予後: 平田涼子, 海原康孝, 鈴木淳司, 香西克之: 第 47 回日本小児歯科学会大会および総会 (大阪), 2009.
- 8: 歯科的アプローチによる呼吸不全の改善: 太刀掛銘子, 鈴木淳司, 大原 紫, 香西克之: 第 47 回日本小児歯科学会大会および総会 (大阪), 2009.
- 9: 歯科恐怖症が疑われる患児に認知行動療法的アプローチを併用し治療が行えた 1 例: 光畑智恵子, 有木美早, 平田涼子, 鈴木淳司, 天野秀昭, 香西克之: 第 1 回日本心身医学会 5 学会合同集会 (東京), 2009.
- 10: Children's stress in dental treatment with salivary chromogranin A: Mitsuhashi C., Suzuki J., Kozai K.: The 21st IAPD International Congress (München), 2009.
- 11: QOL 向上を目指した小児病棟入院患児への口腔管理: 香西克之: 小児口腔外科学会 (松山), 2009.
- 12: 一時保護施設における歯科健診の実施: 山根 陽, 番匠谷綾子, 山崎健次, 香西克之: 第 28 回日本小児歯科学会中四国地方会大会および総会 (広島), 2009.
- 13: 小学校での齲蝕予防指導の取り組み: 大谷聡子, 坪井 文, 森本英樹, 太刀掛銘子, 吉村剛, 林 文子, 海原康孝, 鈴木淳司, 香西克之: 第 28 回日本小児歯科学会中四国地方会大会および総会 (広島), 2009.
- 14: Possibility of more than one strain of *Streptococcus mutans* post initial acquisition in children. Udijanto T., Kozai K.: The 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry (広島), 2009.

- 15：医歯薬 3 学部合同「かすみオリエンテーションキャンプ」における異専攻間交流の意義を問う：岩本優子，岩本明子，高田隆，香西克之，二川浩樹，小川哲次，田口則宏：第 28 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会（広島），2009.

F) 特別講演

- 1：山口市小児科医会主催，第 2 回菜香亭セミナー 講演会「元気な歯・元気なからだ」：海原康孝：山口市菜香亭，2009.
- 2：日本外傷歯学会認定医セミナー「小児の口腔外傷に対する処置と予防ー学校関係者への指導ー」：香西克之：御堂会館，2009.
- 3：平成 20 年度佐世保市子ども期歯科保健研修会「子どもの歯肉と健康」：香西克之：佐世保市コミュニティセンター，2009.
- 4：The Fifth National Scientific Meeting in Dentist: Guidance of the Developing Occlusion.: Kozai K.: Surabaya, 2009.
- 5：小児歯科学会総会基礎研究講演「小児歯周疾患の発症に関する基礎的研究」：鈴木淳司：大阪大学，2009.
- 6：第 17 回広島口腔ケア研究会「小児における成長発達と口腔ケア」：香西克之：広島大学歯学部大講義室，2009.
- 7：第 22 回口腔診断学会総会シンポジウム「唾液を用いたストレス評価の基礎と臨床」クロモグラニン A 測定の歯科臨床における意義：光畑智恵子：ロフォス湘南，2009.
- 8：小児歯科学会専門医セミナー「ミクロからみた小児の歯周疾患」：鈴木淳司：広仁会館，2009.
- 9：第 20 回西日本臨床小児口腔外科学会「全身疾患を有する小児の口腔ケアー小児科との連携ー」：香西克之：熊本県歯科医師会館，2009.
- 10：第 17 回広島県学校歯科保健研究大会「子どもの口腔の健康と安全」：香西克之：広島県歯科医師会館ハーモニーホール，2009.
- 11：第 14 回成育歯科医療研究会大会ミニセミナー「成長期の歯の外傷への対応」：香西克之：広島大学広仁会館，2009.
- 12：第 14 回成育歯科医療研究会大会シンポジウム「小児科と小児歯科の連携ー小児ガン治療に寄り添う小児歯科ー」：鈴木淳司：広島大学広仁会館，2009.
- 13：第 14 回成育歯科医療研究会大会シンポジウム：「小児科と小児歯科の連携ー広汎性発達障害児に対する歯科治療ー」：林 文子：広島大学広仁会館，2009.
- 14：模擬授業「むし歯」と「噛む力」：香西克之：島根県立出雲高校，2009.
- 15：2009 年度広島県歯科衛生士会研修会「ライフステージに応じた歯科保健ー周産期から小児期までー」：香西克之：広島県歯科医師国保会館，2009.
- 16：H21 年度広島大学公開講座「こどもの健康づくりと咬合育成 健康力は子どもの歯から育てよう」：香西克之：廿日市文化センターさくらびあ，2009.

- 17：第27回日本小児歯科学会中四国地方会大会テーブルクリニック「当科における発達障害児への対応」：角本法子：広島大学歯学部大講義室，2009.
- 18：原子育て支援セミナー研究会「口腔機能の発達と支援 -0-1歳を中心に-」：香西克之：三原市市民福祉会館，2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1：科学研究費補助金（若手研究B）21-23年度：角本法子：造血幹細胞移植時の免疫抑制下における3DSを用いた全身的感染予防プログラムの開発（課題番号21792073）. 1,170千円
- 2：科学研究費補助金（若手研究B）21-22年度：太刀掛銘子：歯周病原性菌（*A.a*）のLPSによる骨芽細胞分化阻害のメカニズムの解明（課題番号21792074）. 2,600千円
- 3：科学研究費補助金（基盤研究（B））19-21年度：香西克之：歯周病原性菌の小児口腔内への伝播機序の解明と成人性歯周炎予防対策への展開（課題番号19390530）. 2,200千円
- 4：科学研究費補助金（基盤研究（C））18-20年度：鈴木淳司：歯周病原性菌（*A.a*）の産生する未知のビルレンス因子（課題番号18592236）. 600千円
- 5：科学研究費補助金（基盤研究（C））19-21年度：光畑智恵子：内分泌攪乱物質が発達期の脳ドパミン神経系に及ぼす影響（課題番号19592354）. 1,500千円
- 6：科学研究費補助金（若手研究（B））19-21年度：吉村剛：小児口腔のバイオフィルム解析によるオーダーメイド治療の確立.（課題番号19791581）. 1,000千円
- 7：2008年度 財団法人 富徳会研究助成金：角本法子，300千円
- 8：平成21年度学部・附属学校共同研究「研究プロジェクト」：海原康孝：（6）学校における食育 小学生の食行動に関する調査および食事指導. 133千円
- 9：平成21年度学部・附属学校共同研究「研究プロジェクト」：林文子：中学生における歯周疾患実態調査および歯周病原細菌の分布. 94千円
- 10：2009年度 財団法人 富徳会研究助成金：胡軼群. 300千円
- 11：科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）21-23年度：香西克之：口腔内バイオフィルムの除去が小児糖尿病病態因子の改善に及ぼす影響（課題番号21659475）. 1,000千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

口腔健康科学専攻・口腔健康科学講座

(公衆口腔保健学研究室)

(1) 職員並びに学生

教授 : 杉山 勝

講師 : 野宗万喜

助教 : 内藤朱実

(2) 主な研究活動

- 1 : 口腔粘膜疾患と微生物感染との関連についての研究
- 2 : 高齢者の口腔内知覚と口腔機能に関する研究
- 3 : 学校歯科保健活動に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : 耳小骨機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 牧平清超, 玉本光弘, 松本厚枝, 原久美子, 野宗万喜, 仁井谷善恵, 杉山勝, 竹本俊伸, 村山長, 天野秀昭, 二川浩樹 : 解剖学雑誌 84 巻 2 号, 41-46, 2009.

B) 総説

- 1 : プロバイオティクスの口腔への応用 : 二川浩樹, 牧平清超, 三村純代, 檜山あや, 高本祐子, 野宗万喜 : BACTERIAL ADHERENCE & BIOFILM 22 巻, 19-24, 2009.

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : 歯科衛生士学生における養護教諭課程選択者の医科外来での基礎看護学実習の教育効果に関する検討 : 野宗万喜, 内藤朱実, 杉山 勝, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵, 鶴田圭伊子, 島津篤, 竹本俊伸, 天野秀昭 : 第 28 回日本歯科医学教育学会 (広島), 2009
- 2 : 学生の自己評価からみた口腔リハビリテーション学実習の授業評価 : 原久美子, 岩本明子, 久保皓太郎, 川井千恵子, 西村瑠美, 山下薫, 内藤朱美, 野宗万喜, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 竹本俊伸, 島津篤, 鶴田圭子, 杉山勝, 天野秀昭 : 第 28 回日本歯科医学教育学会 (広島),

2009

- 3 : 学生の自己評価にもとづく基礎看護学実習の学習効果と近年の動向: 藤井宝恵, 宮腰由紀子, 寺岡幸子, 小林敏生, 高瀬美由紀, 川田綾子, 上野和美, 野宗万喜: 第35回日本看護研究学会学術集会 (横浜), 2009.
- 4 : 市販人工唾液の抗菌性と物性評価(その 1): 石井仁美, 大倉恵美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 里田隆博, 村山長, 原久美子, 竹本俊伸, 内藤朱実, 穂垣幸枝: 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 5 : 市販人工唾液の抗菌性と物性評価(その 2): 大倉恵美, 石井仁美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 里田隆博, 村山長, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 原久美子, 野宗万喜, 島津篤, 穂垣幸枝: 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 6 : 義歯床用レジンの表面処理による抗菌加工の試み: 高山幸宏, 高本祐子, 石井仁美, 大倉恵美, 鴨居浩平, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 天野秀昭, 野宗万喜, 杉山勝, 竹本俊伸, 北川雅恵, 小川郁子, 栗原英見: 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 7 : カンジダ属の組み合わせがバイオフィーム形成に与える影響: 高本祐子, 高山幸宏, 石井仁美, 大倉恵美, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 下江宰司, 里田隆博, 村山長, 野宗万喜, 鶴田圭伊子, 天野秀昭, 杉山勝, 竹本俊伸: 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 8 : 遺伝的アルゴリズムを用いた支台歯評価システムの開発: 宮本梓, 村山長, 玉本光弘, 下江宰司, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 二川浩樹, 内藤朱実, 鶴田圭伊子, 島津篤, 野宗万喜, 杉山勝: 第 60 回中国地区歯科医学大会 (広島), 2009.
- 9 : 新規抗菌ペプチド JH8194 がヒト間葉系幹細胞の増殖に与える影響: 河村卓, 牧平清超, 二川浩樹, 河原和子, 西村正宏, 下江宰司, 玉本光弘, 村山長, 里田隆博, 村山長, 杉山勝, 天野秀昭: 第 60 回中国地区歯科医学大会 (広島), 2009.
- 10 : Amiloride が破骨細胞の分化に与える影響: 宮井良介, 牧平清超, 二川浩樹, 岡崎昌太, 峯裕一, 山口裕, 河原和子, 野宗万喜, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵: 第 60 回中国地区歯科医学大会 (広島), 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔健康科学専攻・口腔健康科学講座

(口腔発達機能学研究室)

(1) 職員並びに学生

教授 : 天野秀昭

講師 : 原久美子

(2) 主な研究活動

- 1 : 小児の顎・顔面の成長発育に関する研究
- 2 : 小児および障害児(者)の歯科医療に関する研究
- 3 : 学校歯科保健に関する研究
- 4 : 唾液腺機能賦活に関する研究
- 5 : 口腔ケアに関する研究
- 6 : 口腔保健教育に関する研究
- 7 : 食育に関する研究
- 8 : 歯科衛生士リカレント教育に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : 食事の楽しさと唾液アミラーゼ・ペルオキシダーゼ量解析から食事指導を目指して : 柴 芳樹, 原 久美子, 岩佐 佳子, 丸山たかね, 神野正喜, 樽本 和子, 後藤美由紀, 井上麻知子 : 広島大学 学部・附属学校共同研究紀要, 37, 223-227, 2009.
- 2 : 口腔ケア実践セミナーにおける口腔清掃実習の効果について検討 : 鹿田 碧, 丸山たかね, 原久美子 : オーラルケアメイト, 4, 16-22, 2009.
- 3 : 耳小骨機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 牧平清超, 玉本光弘, 松本厚枝, 原久美子, 野宗万喜, 仁井谷善恵, 杉山勝, 竹本俊伸, 村山長, 天野秀昭, 二川浩樹 : 解剖学雑誌 84(2), 41-46, 2009.

B) 総説

C) 著書

- 1 : 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 I 歯科補綴 : 原久美子 : 医歯薬出版株式会社 (東京), 181-190, 2009.

D) その他の出版物

1. 第2回学術大会自由集会まとめ：原久美子：日本歯科衛生学会雑誌2(2), 84-85, 2008.2.
2. 唾液の分泌が入れ歯の安定にも役立ちます, 唾液腺マッサージの方法：原久美子：入れ歯の話 安定編, グラクソスミスクライン株式会社(東京), 9-10, 2009.

E) 学会発表

- 1：口腔清掃技術向上を目指した実技実習の効果についての検討：鹿田 碧, 丸山たかね, 原久美子：第20回日本口腔衛生学会近畿・中国・四国地方会総会(広島), 2009.6.21.
- 2：学生の自己評価からみた口腔リハビリテーション学実習の授業評価：原久美子, 岩本明子, 久保皓太郎, 川井千恵子, 西村瑠美, 山下薫, 内藤朱美, 野宗万喜, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 竹本俊伸, 島津篤, 鶴田圭子, 杉山勝, 天野秀昭：第28回日本歯科医学教育学会(広島), 2009.11.6-7.
- 3：本学口腔健康科学科専攻生の健康概念に関する実態調査：山下 薫, 西村瑠美, 岩本明子, 久保皓太郎, 川井千恵子, 内藤朱美, 野宗万喜, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 竹本俊伸, 島津篤, 鶴田圭子, 杉山 勝, 原久美子, 天野秀昭：第28回日本歯科医学教育学会(広島), 2009.11.6-7.
- 4：歯科衛生士学生における養護教諭課程選択者の医科外来での基礎看護学実習の教育効果に関する検討：野宗万喜, 内藤朱美, 杉山 勝, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵, 鶴田圭子, 島津篤, 竹本俊伸, 天野秀昭：第28回日本歯科医学教育学会(広島), 2009.11.6-7.
- 5：歯学部初年次教育における水平横断的PBLチュートリアル教育：田地 豪, 田口則宏, 竹本俊伸, 玉本光弘, 宮内美和, 渡邊峰朗, 金輪真佐美, 原久美子, 里田隆博, 村山 長, 小川哲次, 内田 隆：第28回日本歯科医学教育学会(広島), 2009.11.6-7.
- 6：広島大学歯学部口腔保健学科生における口腔保健カウンセリング実習の授業評価について：松本厚枝, 仁井谷善恵, 原久美子, 久保皓太郎, 野宗万喜, 内藤朱美, 玉本光弘, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 村山 長, 杉山 勝, 竹本俊伸, 天野秀昭：第28回日本歯科医学教育学会(広島), 2009.11.6-7.
- 7：口腔リハビリテーション学実習の取り組み：原久美子, 内藤朱美, 野宗万喜, 鶴田圭子, 島津篤, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 竹本俊伸, 杉山勝, 天野秀昭：2009年度 歯科衛生士専任教員秋期学術研修会(東京), 2009.12.4.
- 8：唾液腺マッサージの唾液分泌亢進作用について：原久美子, 前原朝子, 丸山たかね, 岩佐佳子, 杉田 誠, 廣野 力・天野秀昭, 柴 芳樹：第54回日本唾液腺学会(東京), 2009.12.5.

F) 講演

- 1：原久美子：「看護部口腔ケア研修会」, 医療法人社団更生会草津病院(広島), 2009.7.16.
- 2：天野秀昭：広島大学教員免許状更新講習。広島大学(広島), 2009.8.3.
- 3：原久美子：「日本赤十字広島看護大学認定看護師過程『摂食・嚥下訓練技術論』」, 日本赤十

宇広島看護大学（広島），2009. 8. 25.

- 4：原久美子：「平成 21 年度 歯科衛生士専任教員講習会Ⅳ『研究指導法』」，全国歯科衛生士教育協議会（神奈川），2009. 8. 28.
- 5：原久美子：「口腔ケア研究会ひろしま第 10 期口腔ケア実践セミナー 口腔を清潔にする技術－基礎編－」，口腔ケア研究会ひろしま，（広島），2009. 10. 17.
- 6：原久美子：「口腔ケア研究会ひろしま第 10 期口腔ケア実践セミナー 口腔を清潔にする技術－応用編－」，口腔ケア研究会ひろしま，（広島），2009. 10. 17.

G)座長

- 1：原久美子：第 52 回日本歯周病学会ランチョンセミナー「将来に向けた歯科衛生士の可能性」（岡山）2009. 5. 15.

H) 社会貢献

- 1：小学生のためのデンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう！」：二川浩樹，天野秀昭，里田隆博，竹本俊伸，村山 長，杉山 勝，玉本光弘，原久美子，下江宰司，藤本比登美，松本厚枝，仁井谷喜恵，小川郁子，小原 勝，牧平清超，末井良和，高田 隆，菅井基行，岡本哲治，栗原英見：広島大学公開講座（広島），2009. 8.
- 2：平成 21 年度広島大学高校生公開講座：広島大学（広島），2009. 7.
- 3：通所介護事業所光清苑における口腔機能向上プログラム評価に協力（2009. 2 月. 5 月. 8 月. 11 月.）

（4）科学研究費補助金等の受領状況

- 1：平成21年度科学研究費補助金（基盤C一般）：原久美子：安静時唾液量の低下因子の解析と口腔乾燥予備軍の悪化予防処置の開発について。（課題番号21592650）. 2000千円.
- 2：平成21年度研究支援要員雇用制度（文部科学省）：原久美子. 324千円.

（5）学会賞等の受賞状況

（6）特許

（7）教育業績

A) 活動

- 1：歯科衛生士リカレント研修会（2009. 1. ～2009. 12.）

B). 受講

(8) 委員

- 1 : 天野秀昭 : 日本歯科医療福祉学会評議員 (2005. 4～)
- 2 : 天野秀昭 : 広島県歯科衛生協議会学校歯科保健部門委員 (2003. 4～2009. 3)
- 3 : 原久美子 : 日本歯科衛生学会委員 (社団法人日本歯科衛生士会) (2006. 4～)
- 4 : 原久美子 : 日本歯科医療福祉学会評議員 (2008. 1. 1～)
- 5 : 原久美子 : 日本口腔ケア学会評議員 (2004. 4～)
- 6 : 原久美子 : 口腔ケア研究会ひろしま副代表 (1993. 9～)
- 7 : 原久美子 : 全国歯科衛生士教育協議会教育委員 (2008. 4～2009. 3)
- 8 : 原久美子 : 日本口腔ケア学会用語委員会委員 (2009. 1～)
- 9 : 天野秀昭 : 広島県歯科衛生協議会地域歯科保健委員会委員 (2009. 4～)

[目次へ戻る](#)

口腔健康科学専攻・口腔健康科学講座

(口腔保健管理学研究室)

(1) 職員並びに学生

教授 : 竹本 俊伸
講師 : 松本 厚枝
助教 : 仁井谷善恵
大学院生 : 久保皓太郎 (4月から)

(2) 主な研究活動

- 1 : 歯科衛生士教育に関する研究
- 2 : 口臭に関する研究
- 3 : 学生のキャリア形成に関する研究
- 4 : 口腔リラクゼーション法に関する研究
- 5 : 唾液流出量と情動に関する研究
- 6 : カウンセリング教育に関する研究
- 7 : 歯科医療における感染予防対策に関する研究
- 8 : 男性歯科衛生士に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

1. 耳小骨機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 牧平清超, 玉本光弘, 松本厚枝, 原久美子, 野宗万喜, 仁井谷善恵, 杉山 勝, 竹本俊伸, 村山 長, 天野秀昭, 二川浩樹 : 解剖学雑誌, 84(1), 41-46, 2009.

C) 著書

1. 医療・福祉専門教育の動向-歯科衛生士教育, 歯科医学教育白書 2008年版 : 竹本俊伸 (分担執筆) : 日本歯科医学教育学会, 201-203, 2009.
2. 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴 : 監修 : 全国歯科衛生士教育協議会, 編集者 : 松井恭平, 栗原英見, 白鳥たかみ, 山田小夜子, 執筆 : 赤川安正, 吉田光由, 大川周治, 山本裕信, 矢谷博文, 野村修一, 田中みか子, 羽田 勝, 五十嵐順正, 笛木賢治, 嶋倉道郎, 櫻井 薫, 渡辺文彦, 鈴木哲也, 細川隆司, 中本哲自, 伊藤 裕, 佐藤裕二, 太田 功, 佐藤博信, 緒方稔泰, 宮崎晶子, 吉田直美, 堀江明子, 松本厚枝, 原久美子, 医歯薬出版株式会社, 2009.

E) 学会発表

- 1 : 市販人工唾液の抗菌性と物性評価～その2～ : 高山幸宏, 高本祐子, 石井仁美, 大倉恵美, 嶋居浩平, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 天野秀昭, 野宗万喜, 杉山 勝, 竹本俊伸, 北川雅恵, 小川郁子, 栗原英見, 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 2 : 義歯床用レジン表面処理による抗菌加工の試み : 大倉恵美, 石井仁美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 里田隆博, 村山 長, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 原久美子, 野宗万喜, 島津 篤, 穂垣幸枝, 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 3 : カンジダ属の組み合わせがバイオフィルム形成に与える影響 : 高本祐子, 高山幸宏, 石井仁美, 大倉恵美, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 下江幸司, 里田隆博, 村山 長, 野宗万喜, 鶴田圭伊子, 天野秀昭, 杉山 勝, 竹本俊伸, 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 4 : 喫煙者における唾液中のストレス指標物質クロモグラニン A の定量 : 久保皓太郎, 松本厚枝, 仁井谷善恵, 竹本俊伸, 島津 篤, 鶴田圭伊子, 天野秀昭, 第 20 回 日本口腔衛生学会近畿・中国・四国地方会総会 (広島), 2009.
- 5 : CAD と 3D プリンターを用いた指部プロテーゼの陰型の設計・製作 : 藤田紗季江, 村山 長, 玉本光弘, 下江幸司, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 二川浩樹, 仁井谷善恵, 原久美子, 松本厚枝, 竹本俊伸, 天野秀昭, 第 60 回中国地区歯科医学大会 第 48 回広島県歯科医学会 第 93 回広島大学歯学会 日本歯科技工学会中国・四国支部第 4 回学術大会 (広島), 2009.
- 6 : 義歯洗浄剤を使用したマウスガードの清掃によるシートへの影響 : 兼石晴美, 村山 長, 玉本光弘, 下江幸司, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 二川浩樹, 仁井谷善恵, 原久美子, 松本厚枝, 竹本俊伸, 天野秀昭, 第 60 回中国地区歯科医学大会第 48 回広島県歯科医学会第 93 回広島大学歯学会日本歯科技工学会中国・四国支部第 4 回学術大会 (広島), 2009.
- 7 : 歯科給水系統からの従属栄養細菌の検出 : 仁井谷善恵, 日野孝宗, 應原一久, 林田浩一, 松本厚枝, 柴 秀樹, 河口浩之, 竹本俊伸, 栗原英見, 第 60 回中国地区歯科医学大会 第 48 回広島県歯科医学会 第 93 回広島大学歯学会 日本歯科技工学会中国・四国支部第 4 回学術大会 (広島), 2009.
- 8 : Amiloride が破骨細胞の分化に与える影響 : 宮井良介, 牧平清超, 二川浩樹, 岡崎昌太, 峯裕一, 山口 裕, 河原和子, 野宗万喜, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵, 第 60 回中国地区歯科医学大会 第 48 回広島県歯科医学会 第 93 回広島大学歯学会 日本歯科技工学会中国・四国支部第 4 回学術大会 (広島), 2009.
- 9 : 新規抗菌ペプチド JH8194 がヒト間葉系幹細胞の増殖に与える影響 : 河村卓, 牧平清超, 二川浩樹, 河原和子, 西村正宏, 下江幸司, 玉本光弘, 村山 長, 里田隆博, 竹本俊伸, 杉山 勝, 天野秀昭, 第 60 回中国地区歯科医学大会 第 48 回広島県歯科医学会 第 93 回広島大学歯学会 日本歯科技工学会中国・四国支部第 4 回学術大会 (広島), 2009.
- 10 : 口腔インプラント体周囲から分離した *Candida albicans* のチタンへの付着能および歯肉線維芽細胞に与える影響 : 赤嶺翠林, 牧平清超, 二川浩樹, 河原和子, 岡崎昌太, 高本祐子,

- 里田隆博, 村山 長, 竹本俊伸, 杉山 勝, 天野秀昭, 第 60 回中国地区歯科医学大会 第 48 回広島県歯科医学会 第 93 回広島大学歯学会 日本歯科技工学会中国・四国支部第 4 回学術大会 (広島), 2009.
- 11: 歯学部初年次教育における水平横断的 PBL チュートリアル教育: 田地 豪, 田口 則宏, 竹本俊伸, 玉本 光弘, 宮内 美和, 渡邊 峰朗, 金輪 真佐美, 原 久美子, 里田 隆博, 村山 長, 小川 哲次, 内田 隆, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会 (広島), 2009.
- 12: 本学口腔健康科学専攻生の健康概念に関する実態調査: 山下 薫, 岩本明子, 久保皓太郎, 川井千恵子, 西村瑠美, 内藤朱実, 野宗万喜, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 竹本俊伸, 島津 篤, 鶴田佳伊子, 杉山 勝, 原 久美子, 天野秀昭, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会 (広島), 2009.
- 13: 広島大学歯学部口腔保健学科生における口腔保健カウンセリング実習の授業評価について: 松本厚枝, 仁井谷善恵, 原 久美子, 久保皓太郎, 野宗万喜, 内藤朱実, 玉本光弘, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 村山 長, 杉山 勝, 竹本俊伸, 天野秀昭, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会 (広島), 2009.
- 14: 歯科衛生士学生における養護教諭課程選択者の医科外来での基礎看護学実習の教育効果に関する検討: 野宗万喜, 内藤朱実, 杉山 勝, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵, 鶴田佳伊子, 島津 篤, 竹本俊伸, 天野秀昭, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会 (広島), 2009.
- 15: 口腔リハビリテーション学実習の検討ー学生の自己評価をもとにー: 原久美子, 岩本明子, 久保皓太郎, 川井千恵子, 西村瑠美, 山下 薫, 内藤朱実, 野宗万喜, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 竹本俊伸, 島津 篤, 鶴田佳伊子, 杉山 勝, 天野秀昭, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会 (広島), 2009.
- 16: 歯科衛生士養成の 4 年制大学におけるキャリアサポートのあり方ー学生に対する縦断的な意識調査結果ー: 久保 皓太郎, 竹本 俊伸, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会 (広島), 2009.
- 17: 口腔リハビリテーション学実習の取り組み: 原久美子, 内藤朱実, 野宗万喜, 鶴田佳伊子, 島津 篤, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 竹本俊伸, 杉山 勝, 天野秀昭, 2009 年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会 (東京), 2009.
- 18: 歯科給水システムで使用されるチューブからの従属栄養細菌の検出: 仁井谷善恵, 日野孝宗, 應原一久, 林田浩一, 柴秀樹, 河口浩之, 竹本俊伸, 栗原英見, 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第 131 回) (仙台), 2009

F) 講演など

- 1: 広島県歯科衛生士会安佐地区会研修会: 松本厚枝: 「口腔リラクゼーション法と唾液流出量についてー高齢者指導のためにー」 (広島), 2009.
- 2: 口腔に関する講話と集団歯磨き指導: 松本厚枝: 「保育所地域活動事業の一環である育児講座」社会福祉法人微妙福祉会 段原みみょう保育園 (広島), 2009.
- 3: 口腔に関する講話と集団歯磨き指導: 松本厚枝: 「保育所地域活動事業の一環である育児講座」社会福祉法人微妙福祉会 みみょう保育園 (広島), 2009.
- 4: 妊産婦と赤ちゃんの口腔ケア: 松本厚枝: 広島大学病院 産婦人科外来 妊産婦教室 第 1

回～第12回（広島）2009.

- 5：歯科衛生学3：仁井谷善恵：全国歯科衛生士教育協議会平成21年度歯科衛生士専任教員講習会Ⅱ（岐阜），2009.

G) 社会貢献

- 1：デンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう！」：広島大学歯学部（広島），2009.
2：平成21年度広島大学高校生公開講座：広島大学（広島），2009.
3：教員免状更新講習「口腔のサイエンスと学校歯科保健 Q&A」：竹本俊伸，天野秀昭，杉山勝：広島大学（広島）2009.
4：口腔機能評価の協力：松本厚枝：通所介護事業所 光清苑（広島），2009.
5：歯科衛生士試験委員会 幹事委員会（第1回～8回）：松本厚枝：財団法人歯科医療研修振興財団（東京）2009.
6：日本口腔衛生学会近畿・中国・四国地方会幹事：松本厚枝：日本口腔衛生学会近畿・中国・四国地方会幹事会 学会準備委員長（広島）2009.
7：認定歯科衛生士委員会（第1回～7回）：松本厚枝：日本歯科衛生士会（東京）2009.
8：日本歯科衛生学会編集委員会（第1回～2回・学会誌査読）：松本厚枝：日本歯科衛生学会（東京）2009
9：国際歯科医療支援活動：松本厚枝（カンボジア）2009.
10：全国歯科衛生士教育協議会教育委員会（第1回～3回）：仁井谷善恵：全国歯科衛生士教育協議会（東京）2009.
11：国立大学附属病院感染対策協議会歯科医療作業部会委員：仁井谷善恵：2009年中国四国ブロック研修会（山口）2009.

[目次へ戻る](#)

口腔健康科学専攻・口腔健康科学講座

(生体構造・機能修復学研究室)

(1) 職員並びに学生

教授 : 里田隆博

講師 : 下江幸司

(2) 主な研究活動

- 1 : 解剖学教育用模型の開発
- 2 : 咀嚼運動を制御する脳内ニューロンの形態学的研究
- 3 : 審美歯科複合材料に関する研究
- 4 : 前装材料と歯科用金属の接着に関する研究
- 5 : 義歯刻印法に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

1 : 耳小骨機能模型の製作 : 里田隆博, 下江幸司, 牧平清超, 玉本光弘, 松本厚枝, 原久美子, 野宗万喜, 仁井谷善恵, 杉山勝, 竹本俊伸, 村山長, 天野秀昭, 二川浩樹 : 解剖誌, 84, 41-46, 2009.

2 : 光切断法を用いた顔面計測とその応用 : 木原琢也, 村山長, 河原和子, 下江幸司, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 牧平清超, 里田隆博, 二川浩樹 : 広歯誌, 41-2, 2009.

B) 総説

C) 著書

1 : 新歯科技工士教本「歯冠修復技工学」: 末瀬一彦, 松村英雄, 丸茂義二, 雲野泰史, 下江幸司 : 医歯薬出版, 東京, 174 頁, 2007~.

2 : 新歯科技工士教本「歯科技工実習」: 金井正行, 桑田正博, 下江幸司, 前田芳信, 松村英雄, 三浦宏之他, 医歯薬出版, 東京, 207 頁, 2008~.

D) その他の出版物

E) 学会発表

1 : 口腔周辺の顔面表情筋機能模型の製作 : 里田隆博, 藤本佳那, 伊藤章子, 草野顕太, 荒木結子, 下江幸司 : 第 114 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (岡山), 2009.

2：鯉弓軟骨変遷模型の製作：有馬陽介，本多宏美，弘瀬公美子，下江宰司，里田隆博： コ・メディカル形態機能学会第8回学術集会（京都），2009.

3：眼球機能模型の製作：本多宏美，有馬陽介，弘瀬公美子，下江宰司，里田隆博：第31回日本歯科技工学会学術大会（福岡），2009.

4：眼球機能模型の製作：里田隆博，本多宏美，有馬陽介，弘瀬公美子，下江宰司：日本解剖学会第64回中国・四国支部学術集会（高知），2009.

5：表面処理の違いがジルコニアと前装用コンポジットレジンの接着に及ぼす影響：草野顕太，荒木結子，下江宰司，里田隆博，田上直美，松村英雄：第60回中国地区歯科医学大会 第48回広島県歯科医学会 第93回広島大学歯学会 日本歯科技工学会中国・四国支部第4回学術大会（広島），2009.

6：非接触式三次元形状計測装置を用いた歯型彫刻作品の客観的評価 第1報体積と特徴点の定量化：木原拓也，下江宰司，二川浩樹，村山 長，里田隆博，牧平清超，玉本光弘，河原和子，笹原妃佐子：日本歯科医学教育学会第28回学術大会（広島），2009.

（4）科学研究費補助金等の受領状況

1：科学研究費補助金（基盤研究（C））新規：下江宰司，生体にやさしい高分子複合型ジルコニアクラウンの開発．課題番号 21592453. 1,820 千円

（5）学会賞等の受賞状況

（6）特許

口腔健康科学専攻・口腔健康科学講座（医療システム・生体材料工学研究室）

（1）職員並びに学生

教授：村山 長

准教授：玉本光弘

大学院生：宮本 梢

卒研究生：立畠一樹，矢内啓太，藤田紗季江，工 裕大，友成奈悟，川上真奈，岩畔将吾，兼石晴美，日高 強，川口真奈，小笠原将峰，和田 薫，千葉真也，石津航希

（2）主な研究活動

- 1：CAD/CAM，ラピッドプロトタイピングの歯科医療への応用
- 2：コンカレントエンジニアリングを適用した修復物の設計・製作
- 3：歯科医療のための3Dモデリングとコンピュータ・シミュレーション
- 4：治療用・保護用口腔装具の開発と臨床応用
- 5：審美歯科に関する研究
- 6：歯科医学教育に関する研究
- 7：センサーを用いた歯科技工作業の技能分析
- 8：シミュレーションによる歯科技工プロセスの分析
- 9：スポーツ歯科（マウスガード）に関する研究
- 10：音楽歯科（アダプター）に関する研究

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1：耳小骨機能模型の製作：里田隆博，下江宰司，牧平清超，玉本光弘，松本厚枝，原久美子，野宗万喜，仁井谷善恵，杉山 勝，竹本俊伸，村山 長，天野秀昭，二川浩樹：解剖学雑誌，84（2），41-46，2009.

B) 総説

- 1：光切断法を用いた顔面計測とその応用：木原琢也，村山 長，河原和子，下江宰司，笹原妃佐子，玉本光弘，牧平清超，里田隆博，二川浩樹：広大歯誌，41（2），107-113，2009.

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : 市販人工唾液の抗菌性と物性評価～その 1～ : 石井仁美, 大倉恵美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 里田隆博, 村山長, 原久美子, 竹本俊伸, 内藤朱美, 穂垣幸枝 : 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 2 : 市販人工唾液の抗菌性と物性評価～その 2～ : 大倉恵美, 石井仁美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 里田隆博, 村山長, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 原久美子, 野宗万喜, 島津篤, 穂垣幸枝 : 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 3 : カンジダ属の組み合わせがバイオフィルム形成に与える影響 : 高本祐子, 高山幸宏, 石井仁美, 大倉恵美, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 下江幸司, 里田隆博, 村山長, 野宗万喜, 鶴田圭伊子, 天野秀昭, 杉山 勝, 竹本俊伸 : 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 4 : 高性能 MRI を利用した顎関節の三次元シミュレーションシステムの開発 : 二川浩樹, 村山長, 上田寛治, 小川大一, 長崎信一, 田中栄二 : 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会 (東京), 2009.
- 5 : 口腔健康科学科におけるコンピュータ利用ものづくり教育 : 村山 長, 玉本光弘, 下江幸司, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 二川浩樹 : 日本機械学会 2009 年度 年次大会 (盛岡), 2009.
- 6 : 市販人工唾液の抗菌性と物性評価 : 石井仁美, 大倉恵美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 里田隆博, 村山 長, 原 久美子, 竹本俊伸, 内藤朱美, 穂垣幸枝 : 第 36 回日本防菌防黴学会 (大阪), 2009.
- 7 : Candida 属の組み合わせがバイオフィルム形成に与える影響 : 高本祐子, 高山幸宏, 石井仁美, 大倉恵美, 上原文子, 岡崎昌太, 岩田慧, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 下江幸司, 里田隆博, 村山 長, 野宗万喜, 鶴田圭伊子, 天野秀昭, 杉山 勝, 竹本俊伸 : 第 36 回日本防菌防黴学会 (大阪), 2009.
- 8 : MR 画像の 3 次元構築とシミュレーションモデルの作成 : 二川浩樹, 村山 長, 上田寛治, 小川大一, 長崎信一, 田中栄二 : 第 2 回日本口腔検査学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 9 : デンタルプレスケールと T-ScanIII による咬合力の測定 : 木原琢也, 二川浩樹, 村山 長, 牧平清超, 玉本光弘, 里田隆博, 下江幸司, 河原和子, 笹原妃佐子 : 第 2 回日本口腔検査学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 10 : 遺伝的アルゴリズムを用いた支台歯評価システムの開発 : 宮本 梢, 村山 長, 玉本光弘, 下江幸司, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 二川浩樹, 内藤朱実, 鶴田圭伊子, 島津 篤, 野宗 万喜, 杉山 勝 : 第 93 回広島大学歯学会例会 (広島), 2009.
- 11 : CAD と 3D プリンターを用いた指部プロテーゼの陰型の設計・製作 : 藤田紗季江, 村山長, 玉本光弘, 下江幸司, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 二川浩樹, 仁井谷善恵, 原 久美子, 松本厚枝, 竹本俊伸, 天野秀昭 : 第 93 回広島大学歯学会例会 (広島), 2009.

- 1 2 : 歯科用 CAD/CAM システムによる新開発ハイブリッドセラミックブロックを用いた小臼歯審美修復 : 立島一樹, 玉本光弘, 村山 長, 安部倉 仁, 田地 豪, 山本昌信, 下江宰司, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 二川浩樹, 赤川安正 : 第 9 3 回広島大学歯学会例会 (広島), 2009.
- 1 3 : 義歯洗浄剤を使用したマウスガードの清掃によるシートへの影響 : 兼石 晴美, 村山 長, 玉本 光弘, 下江 宰司, 牧平 清超, 笹原妃佐子, 河原 和子, 里田 隆博, 二川 浩樹, 仁井谷喜恵, 原 久美子, 松本 厚枝, 竹本 俊伸, 天野 秀昭 : 第 9 3 回広島大学歯学会例会 (広島), 2009.
- 1 4 : 新規抗菌ペプチド JH8194 がヒト間葉系幹細胞の増殖に与える影響 : 河村 卓, 牧平 清超, 二川 浩樹, 河原 和子, 下江 宰司, 玉本 光弘, 村山 長, 里田隆博, 竹本俊伸, 杉山 勝, 天野秀昭 : 第 9 3 回広島大学歯学会例会 (広島), 2009.
- 1 5 : 口腔インプラント体周囲から分離した *Candida albicans* のチタンへの付着能および歯肉線維芽細胞に与える影響 : 赤嶺 翠林, 牧平 清超, 二川 浩樹, 河原 和子, 岡崎 昌太, 高本祐子, 里田 隆博, 村山 長, 竹本俊伸, 杉山 勝, 天野秀昭 : 第 9 3 回広島大学歯学会例会 (広島), 2009.
- 1 6 : 非接触式三次元形状計測装置を用いた歯型彫刻作品の客観的評価 第 1 報体積と特徴点の定量化 : 木原拓也, 下江宰司, 二川浩樹, 村山 長, 里田隆博, 牧平清超, 玉本光弘, 河原和子, 笹原妃佐子 : 日本歯科医学教育学会第 28 回学術大会 (広島), 2009.
- 1 7 : 広島大学歯学部口腔保健学科生における口腔保健カウンセリング実習の授業評価について : 松本厚枝, 仁井谷善恵, 原 久美子, 久保皓太郎, 野宗 万喜, 内藤朱実, 玉本光弘, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 村山 長, 杉山 勝, 竹本俊伸, 天野秀昭 : 日本歯科医学教育学会第 28 回学術大会 (広島), 2009.
- 1 8 : 歯学部初年次教育における水平横断的 PBL チュートリアル教育 : 田地 豪, 田口則宏, 竹本俊伸, 玉本光弘, 宮内美和, 渡邊峰朗, 金輪真佐美, 原 久美子, 里田隆博, 村山 長, 小川哲次, 内田 隆 : 日本歯科医学教育学会第 28 回学術大会 (広島), 2009.
- 1 9 : 3 テスラ MRI を利用した顎関節の三次元シミュレーション用モデルの構築 : 川上真奈, 村山 長, 長崎信一, 上田寛治, 小川大一, 田中栄二, 二川浩樹 : 日本歯科技工学会第 3 1 回学術大会 (福岡), 2009.
- 2 0 : センサーを用いた歯科技工作業の技能分析 : 岩畔将吾, 立島一樹, 工 裕大, 藤田紗季江, 下江宰司, 玉本光弘, 村山 長 : 日本歯科技工学会第 3 1 回学術大会 (福岡), 2009.
- 2 1 : 管楽器演奏障害改善の試みと評価 : 友成奈悟, 玉本光弘, 村山 長, 矢内啓太, 兼石晴美, 里田隆博, 二川浩樹 : 日本歯科技工学会第 3 1 回学術大会 (福岡), 2009.
- 2 2 : マウスガードの咬合面付与を可能とした安価な咬合器の開発 : 矢内啓太, 玉本光弘, 村山 長, 友成奈悟, 兼石晴美, 里田隆博, 二川浩樹 : 日本歯科技工学会第 3 1 回学術大会 (福岡), 2009.
- 2 3 : チタンイオンとリポ多糖が歯肉上皮細胞に与える影響 : 鴨居浩平, 牧平清超, 二川浩樹, 岩田慧, 里田隆博, 村山 長 : 第 31 回日本歯科技工学術大会 (福岡), 2009.
- 2 4 : 脱落した口腔インプラント表面の付着物が歯肉上皮細胞に与える影響 : 岡崎昌太, 牧平清超, 二川浩樹, 村山 長, 高本祐子 : 日本補綴歯科学会 H21 年度関西支部・中国四国支部合同学術大会, 2009.

F) シンポジウム招待講演

- 1 : Toward Further Development of Oral Health Science- Establishment of Master's Program of Oral Health Science-: Takeshi Murayama, Hideaki Amano, Toshinobu Takemoto, Masaru Sugiyama, Takahiro Satoda, Hiroki Nikawa : The International Workshop for BioDental Education and Research, p.24 , 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 地域イノベーション創出研究開発事業 : 二川浩樹, 村山 長, 田中栄二, 長崎信一ほか (代表者 デジタルソリューション代表取締役社長 上田寛治), 関節機能のFEM解析による診断・治療最適化システムの開発. 3999万9千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔健康科学専攻・口腔健康科学講座

(口腔生物工学研究室)

(1) 職員並びに学生

教授	: 二川浩樹 (*) 診療支援部歯科技工室長
准教授	: 牧平清超
講師	: 笹原妃佐子 (H21.4-)
助教	: 河原和子 (H21.4-)
事務補佐員	: 蔭地美紀
教育研究補助職員	: 田口香織
大学院生	: 今利直也, 山田阿津沙, 大前侑子, 檜山あや, 峯 裕一, 三村純代, 木原琢也, 首藤崇裕, 高橋愛里, 赤嶺翠林 (H21.4-H21.9)

(2) 主な研究活動

- 1 : 歯科材料アレルギーの材料学的研究
- 2 : カンジダバイオフィルムとデンチャープラークの研究
- 3 : プロバイオティクスを応用したう蝕予防の研究
- 4 : 塩基性抗菌性ペプチドの設計
- 5 : 塩基性抗菌性ペプチドを応用した間葉系幹細胞の大量増殖の研究
- 6 : 歯槽骨吸収機構の解明と骨吸収抑制剤の開発
- 7 : 新規インプラント材料の開発

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Authenticity of health communication skills development assessed by means of OSCE stations : Taguchi N., Ogawa T., Sasahara H., Taji T.: Journal of Hiroshima University Dental Society , 41 , 1-3, 2009.
- 2 : Immobilized-OPG-Fc on a titanium surface inhibits RANKL-dependent osteoclast differentiation in vitro : Makihira S., Mine Y., Nikawa H., Shuto T., Kosaka E., Sugiyama M., Hosokawa R.:J Mater Sci Mater Med, 2009.
- 3 : Impact of titanium ions on osteoblast-, osteoclast- and gingival epithelial-like cells :Mine Y., Makihira S., Nikawa H., Murata H., Hosokawa R., Hiyama A., Mimura S.:J Prosthodont Res. 2010 Jan;54(1):1-6. Epub 2009 Sep 4.
- 4 : 耳小骨機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 牧平清超, 玉本光弘, 松本厚枝, 原久美子,

野宗万喜, 仁井谷善恵, 杉山勝, 竹本俊伸, 村山長, 天野秀昭, 二川浩樹: 解剖誌, 84, 41-46, 2009.

- 5 : 異汗性湿疹の手指症状が口腔内金属の除去治療により緩和された症例: 原田佳枝, 牧平清超, 二川浩樹, 小川郁子, 北川雅恵, 安部倉仁, 西村正宏, 栗原英見, 赤川安正, 濱田泰三: 日本口腔検査学会雑誌, 1, 31-36, 2009.
- 6 : 母親の養育態度と幼児のう蝕罹患状態との関連: 笹原妃佐子, 河村誠: 口腔衛生学会雑誌, 第59巻 第2号, 118-124, 2009.
- 7 : 光切断法を用いた顔面計測とその応用: 木原琢也, 村山長, 河原和子, 下江宰司, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 牧平清超, 里田隆博, 二川浩樹: 広島大学歯学雑誌, 41巻2号, 107-113, 2009.

B) 総説

- 1 : Research projects related to complete dentures published in 2008 by members of the Japan Prosthodontic Society : Nikawa H., Makihira S.: J Prosthodont Res, 53, 103-106, 2009.

C) 著書

D) その他の出版物

- 1 : 第5回 義歯洗浄剤を再考する 連載 長く・快適に義歯を使用するためのソリューション: 二川浩樹: 補綴臨床, 42, 585-592, 2009.
- 2 : 口腔インプラント周囲炎とその対応: 牧平清超, 高橋愛里, 二川浩樹: 広大歯誌: 41, 165-169, 2009.

E) 学会発表

- 1 : Effects of JH8194-immobilized titanium on the differentiation of osteoblastic cell line, MC3T3-E1 : Shuto T., Makihira S., Mine Y., Hiyama A., Mimura S., Nikawa H. : The International Workshop on BioDental Education & Research Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences, 2009.
- 2 : Antimicrobial effects of oral isolates of lactobacilli against mutans streptococci and Candida spp : Hiyama A., Nikawa H., Makihira S., Mimura S., Mine Y., Shuto T. : The International Workshop on BioDental Education & Research Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences, 2009.
- 3 : Effects of titanium ion on osteoblast and osteoclast differentiation : Mine Y., Makihira S., Shuto T., Mimura D., Hiyama A., Nikawa H. : The International Workshop on BioDental Education & Research Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences, 2009.
- 4 : Inhibitory effect of oral isolates of Lactobacillus fermentum on mutans streptococci : Mimura S., Nikawa S., Makihira S., Hiyama A., Mine Y., Shuto T. : The International Workshop on BioDental

Education & Research Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences, 2009.

- 5 : JH8194 を固定化したチタンが骨芽細胞様細胞株 MC3T3-E1 細胞に与える影響 : 首藤崇裕, 牧平清超, 峯 裕一, 大前侑子, 赤嶺翠林, 二川浩樹 : 第 1 回 広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所シンポジウム(広島), 2009.
- 6 : 口腔由来乳酸菌株による *mutans streptococci* および *Candida* の阻止作用 : 檜山あや, 二川浩樹, 牧平清超, 三村純代 : 第 1 回 広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所シンポジウム(広島), 2009.
- 7 : チタンイオンが骨芽細胞および破骨細胞の分化に与える影響 : 峯 裕一, 牧平清超, 首藤崇裕, 大前侑子, 赤嶺翠林, 村田比呂司, 二川浩樹 : 第 1 回 広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所シンポジウム(広島), 2009.
- 8 : 口腔より分離した *Lactobacillus* 属の抗ミュータンス作用 : 三村純代, 二川浩樹, 牧平清超, 檜山あや : 第 1 回 広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究所シンポジウム(広島), 2009.
- 9 : インプラント体周囲から分離した *Candida albicans* の歯肉繊維芽細胞に与える影響 : 岡崎昌太, 牧平清超, 二川浩樹 : 第 118 回日本補綴歯科学会(京都), 2009.
- 10 : P 型 ATPase 阻害剤の顎提吸収抑制作用に関する研究 : 牧平清超, 岡崎昌太, 二川浩樹 : 第 118 回日本補綴歯科学会(京都), 2009.
- 11 : 市販人工唾液の抗菌性と物性評価～その 1～ : 石井仁美, 大倉恵美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 里田隆博, 村山 長, 原 久美子, 竹本俊伸, 内藤朱美, 穂垣幸枝 : 第 42 回広島大学歯学会(広島), 2009.
- 12 : 市販人工唾液の抗菌性と物性評価 - その 2 - : 大倉恵美, 石井仁美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 里田隆博, 村山 長, 仁井田善恵, 松本厚枝, 原 久美子, 野宗万喜, 島津 篤, 穂垣幸枝 : 第 42 回広島大学歯学会(広島), 2009.
- 13 : *Candida* 属の組み合わせがバイオフィルム形成に与える影響 : 高本祐子, 高山幸宏, 石井仁美, 大倉恵美, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 下江幸司, 里田隆博, 村山 長, 野宗万喜, 鶴田圭伊子, 天野秀昭, 杉山 勝, 竹本俊伸 : 第 42 回広島大学歯学会(広島), 2009.
- 14 : 義歯床用レジン表面处理による抗菌加工の試み : 高山幸宏, 高本祐子, 石井仁美, 大倉恵美, 鴨居浩平, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 天野秀昭, 野宗万喜, 杉山 勝, 竹本俊伸, 北川雅恵, 小川郁子. 栗原英見 : 第 42 回広島大学歯学会(広島), 2009.
- 15 : 市販洗口剤の抗菌性と固定化抗菌剤を用いた洗口剤の試作 : 平松美菜子, 高本祐子, 柚下香織, 田村智哉, 石井仁美, 高山幸宏, 大倉恵美, 二川浩樹, 牧平清超, 栗原英見 : 第 42 回広島大学歯学会(広島), 2009.
- 16 : 衣服や布の抗菌加工の洗剤の試作 : 柚下香織, 高本祐子, 平松美菜子, 田村智哉, 石井仁美, 高山幸宏, 大倉恵美, 二川浩樹, 牧平清超, 栗原英見 : 第 42 回広島大学歯学会(広島), 2009.
- 17 : P 型 ATPase 阻害剤は RANKL 添加に依存した RAW264.7 の細胞融合を抑制する : 峯 裕一, 牧平清超, 岡崎昌太, 二川浩樹 : 第 27 回日本骨代謝学会学術集会(大阪), 2009.
- 18 : 高性能 MRI を利用した顎関節の三次元シミュレーションシステムの開発 : 二川浩樹, 村山 長, 上田寛治, 小川大一, 長崎信一, 田中栄二 : 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会・第 14 回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会(東京), 2009.
- 19 : 市販人工唾液の抗菌性と物性評価 : 石井仁美, 大倉恵美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 里田隆博, 村山 長, 原 久美子, 竹本俊伸, 内藤朱美, 穂垣幸枝 : 第 36 回日本防菌防黴学会(大阪), 2009.

- 20 : *Candida* 属の組み合わせがバイオフィルム形成に与える影響 : 高本祐子, 高山幸宏, 石井仁美, 大倉恵美, 上原文子, 岡崎昌太, 岩田慧, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 下江幸司, 里田隆博, 村山 長, 野宗万喜, 鶴田圭伊子, 天野秀昭, 杉山 勝, 竹本俊伸 : 第 36 回日本防菌防黴学会(大阪), 2009.
- 21 : 義歯床用レジンの表面処理による抗菌加工の試み : 高山幸宏, 高本祐子, 石井仁美, 大倉恵美, 鴨居浩平, 二川浩樹, 牧平清超, 河原和子, 笹原妃佐子, 玉本光弘, 天野秀昭, 野宗万喜, 杉山 勝, 竹本俊伸, 北川雅恵, 小川郁子, 栗原英見 : 第 36 回日本防菌防黴学会(大阪), 2009.
- 22 : DLC コーティングしたチタンが骨芽細胞様細胞株 MC3T3-E1 細胞の分化に与える影響 : 岩田 慧, 牧平清超, 二川浩樹, 岡本圭司, 高萩隆行, 西村正宏, 首藤崇裕, 岡崎昌太 : 第 39 回日本口腔インプラント学会(大阪), 2009.
- 23 : JH8194 を固定化したチタンによる骨芽細胞の分化促進作用 : 首藤崇裕, 牧平清超, 二川浩樹, 杉山 勝, 岩田慧, 岡崎昌太 : 第 39 回日本口腔インプラント学会学術大会(大阪), 2009.
- 24 : 市販人工唾液の抗菌性評価 : 石井仁美, 大倉恵美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超 : 第 54 回日本歯科理工学会(鹿児島), 2009.
- 25 : 紫外線照射がシリコーン系顎顔面補綴用材料の動的粘弾性に及ぼす影響 : 上原文子, 水町 亘, 二川浩樹, 牧平清超, 村田比呂司, 峯 裕一 : 第 54 回日本歯科理工学会(鹿児島), 2009.
- 26 : 市販人工唾液の物性評価 : 大倉恵美, 石井仁美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超 : 第 54 回日本歯科理工学会(鹿児島), 2009.
- 27 : *Candida* 属の組み合わせがバイオフィルム形成に与える影響 : 高本祐子, 高山幸宏, 石井仁美, 大倉恵美, 二川浩樹, 牧平清超 : 第 54 回日本歯科理工学会(鹿児島), 2009.
- 28 : 固定化抗菌剤の抗カンジダ作用の評価 : 高山幸宏, 高本祐子, 石井仁美, 大倉恵美, 二川浩樹, 牧平清超 : 第 54 回日本歯科理工学会(鹿児島), 2009.
- 29 : 市販洗口剤の抗菌性と固定化抗菌剤を用いた洗口剤の試作 : 平松美菜子, 高本祐子, 柚下香織, 田村智哉, 石井仁美, 高山幸宏, 大倉恵美, 二川浩樹, 牧平清超, 栗原英見 : 第 54 回日本歯科理工学会(鹿児島), 2009.
- 30 : 衣服や布の抗菌加工の洗剤の試作 : 柚下香織, 高本祐子, 平松美菜子, 田村智哉, 石井仁美, 高山幸宏, 大倉恵美, 二川浩樹, 牧平清超, 栗原英見 : 第 54 回日本歯科理工学会(鹿児島), 2009.
- 31 : デンタルプレスケールと T-ScanⅢによる咬合力の測定 : 木原琢也, 二川浩樹, 村山 長, 牧平清超, 玉本光弘, 里田隆博, 下江幸司, 河原和子, 笹原妃佐子 : 第 2 回日本口腔検査学会総会・学術大会(広島), 2009.
- 32 : 口腔衛生学実習の一環として実施した歯学部生による歯科保健指導 —中学生の口腔衛生意識向上とその要因 : 島津 篤, 笹原妃佐子, 河村 誠 : 第 58 回日本口腔衛生学会・総会(岐阜), 2009.
- 33 : 新規抗菌ペプチド JH8194 がヒト間葉系幹細胞の増殖に与える影響 : 河村 卓, 牧平清超, 二川浩樹, 河原和子, 西村正宏, 下江幸司, 玉本光弘, 村山 長, 里田隆博, 竹本俊伸, 杉山 勝, 天野秀昭 : 第 60 回中国地区歯科医学大会 (広島県歯学会), 2009.
- 34 : Amiloride が破骨細胞の分化に与える影響 : 宮井良介, 牧平清超, 二川浩樹, 岡崎昌太, 峯裕一, 山口 裕, 河原和子, 野宗万喜, 原 久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵 : 第 60 回中国地

- 区歯科医学大会（広島県歯学会），2009.
- 35：お茶ゼリーのテクスチャー解析および抗菌性・官能評価：諸岡英里，石井仁美，柚下香織，平松美菜子，高本祐子，二川浩樹，牧平清超，栗原英見：第60回中国地区歯科医学大会（広島県歯学会），2009.
- 36：非接触式三次元形状計測装置を用いた歯型彫刻作品の客観的評価 第一報 体積と特徴点による定量化：木原琢也，下江幸司，二川浩樹，村山 長，牧平清超，里田隆博，玉本光弘，河原和子，笹原妃佐子：第28回日本歯科医学教育学会総会および学術大会(広島)，2009.
- 37：研修歯科医が受けた指導歯科医からのネガティブな待遇—管理型施設と協力型施設との比較—：田口則宏，岡田 貢，田中良治，笹原妃佐子，小川哲次：第28回日本歯科医学教育学会総会および学術大会（広島），2009.
- 38：口腔衛生学実習の一環として実施した歯科保健指導 —中学生の口腔衛生意識の向上とその要因—：長井宏樹，藤井絵理，金田 剛，島津 篤，笹原妃佐子，河村 誠：第28回日本歯科医学教育学会総会および学術大会（広島），2009.
- 39：脱落した口腔インプラント表面の付着物が歯肉上皮細胞に与える影響：岡崎昌太，牧平清超，二川浩樹，村山 長，高本祐子：日本補綴歯科学会 H21 年度関西支部・中国四国支部合同学術大会(淡路)，2009.
- 40：Candida 属の組み合わせがバイオフィルム形成に与える影響：高本祐子，高山幸宏，岡崎昌太，檜山あや，二川浩樹，牧平清超：日本補綴歯科学会 H21 年度関西支部・中国四国支部合同学術大会(淡路)，2009.
- 41：固定化抗菌剤の抗カンジダ作用の評価：高山幸宏，高本祐子，石井仁美，大倉恵美，檜山あや，二川浩樹，牧平清超：日本補綴歯科学会 H21 年度関西支部・中国四国支部合同学術大会 (淡路)，2009.
- 42：食品の硬さと咬合力との関係について：中野友里絵，木原琢也，二川浩樹，牧平清超：日本補綴歯科学会 H21 年度関西支部・中国四国支部合同学術大会(淡路)，2009.
- 43：口腔由来乳酸菌株による mutans streptococci および Candida の阻止作用：檜山あや，二川浩樹，牧平清超，三村純代，高本祐子：日本補綴歯科学会 H21 年度関西支部・中国四国支部合同学術大会(淡路)，2009.
- 44：市販人工唾液の抗菌性と物性評価：石井仁美，二川浩樹，牧平清超，河原和子，笹原妃佐子，里田隆博，穂垣幸枝：第31回日本歯科技工学術大会(福岡)，2009.
- 45：DLC コーティングしたチタンが骨分化に与える影響：岩田 慧，牧平清超，二川浩樹，鴨居浩平，高萩隆行，岡本圭司：第31回日本歯科技工学術大会(福岡)，2009.
- 46：市販人工唾液の抗菌性と物性評価 - その2 -：大倉恵美，石井仁美，高本祐子，高山幸宏，二川浩樹，牧平清超，里田隆博：第31回日本歯科技工学術大会(福岡)，2009.
- 47：チタンイオンはLPSによるヒト歯肉線維芽細胞のCCL2発現を増強する：岡崎昌太，牧平清超，二川浩樹，首藤崇裕，峯 裕一，高本祐子，山口 裕：第31回日本歯科技工学術大会(福岡)，2009.
- 48：チタンイオンとりポ多糖が歯肉上皮細胞に与える影響：鴨居浩平，牧平清超，二川浩樹，岩田慧，里田隆博，村山 長：第31回日本歯科技工学術大会(福岡)，2009.
- 49：JH8194固定化チタンによるMC3T3-E1細胞のALPase活性への影響：首藤崇裕，牧平清超，二川浩樹，峯 裕一，岡崎昌太，高本祐子，山口裕：第31回日本歯科技工学術大会(福岡)，2009.

- 50 : 固定化抗菌剤の抗カンジダ作用の評価 : 高山幸宏, 高本祐子, 鴨居浩平, 二川浩樹, 牧平清超 : 第 31 回日本歯科技工学会(福岡), 2009.
- 51 : 脱落したインプラント体の表面解析 : 峯 裕一, 牧平清超, 二川浩樹, 岡崎昌太, 高本祐子, 山口 裕, 首藤崇裕 : 第 31 回日本歯科技工学会(福岡), 2009.
- 52 : TGF-Beta1 enhances MICA expression in the human periodontal ligament cells : Kawahara K., Shimazu A., Kajiya M., Shiba H., Fujita T., Kawaguchi H.:International Association for Dental Research 87th
- 53 : β -三リン酸カルシウムによる骨髄間葉系幹細胞の骨分化誘導を併用した歯周組織再生 : 永原隆吉, 河口浩之, 武田克浩, 藤田剛, 林田浩一, 河原和子, 坂井宜之, 上田武, 辻紘一郎, 栗原英見 : 日本歯周病学会 第 52 回春季学術大会(岡山), 2009.
- 54 : 広島大学歯学部口腔保健学科生における口腔保健カウンセリング実習の授業評価について : 松本厚枝, 仁井谷善恵, 原久美子, 久保皓太郎, 野宗万喜, 内藤朱実, 玉本光弘, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 村山長, 杉山勝, 竹本敏伸, 天野秀昭 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 (広島), 2009.

F) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1 : 21 世紀の歯科医療を担う口腔保健工学とかぶきメイク : 二川浩樹 : 第 5 回外観先端医療シンポジウム フェイシャルセラピスト協会 (大阪), 2009.
- 2 : お口のバイ菌の研究と派生したもの : 二川浩樹 : 広島大学イーブニングセミナー (東京), 2009.
- 3 : お口の健康がお菓子で守れたら…いいな! : 二川浩樹 : 広島大学・県立大学連携シンポジウム～考えよう食と健康～ (広島), 2009.
- 4 : A cleanser or detergent containing immobilizing disinfectant : Nikawa H : チュラロンコン大学ー広島大学ジョイントセミナー(タイ バンコク), 2009.
- 5 : Antimicrobial and biologically active surface treatment of titanium for dental implants : Nikawa H : NADST (タイ バンコク), 2009.
- 6 : Dental Technician から Oral Engineer へ : 二川浩樹, 牧平清超, 玉本光弘, 下江宰司, 村山 長, 里田隆 : 全国技工士教育協議会シンポジウム (京都), 2009.
- 7 : 歯科用インプラントとチタンの表面処理 : 二川浩樹, 牧平清超, 西村正宏, 高萩隆行, 京極秀樹 : 広島大学ナノデバイス・バイオ融合科学研究シンポジウム 集積医科学研究部門 (広島), 2009.
- 8 : MR 画像の 3 次元構築とシミュレーションモデルの作成 : 二川浩樹, 村山 長, 上田寛治, 小川大一, 長崎信一, 田中栄二 : 第 2 回 口腔検査学会 (広島), 2009.
- 9 : 広島大学における 4 年制の歯科技工士教育 : 二川浩樹 : 広島大学における 4 年制の歯科技工士教育. 日本歯科技工学会北海道・東北支部学術大会 特別講演 (福島), 2009.
- 10 : 歯科技工カリキュラムと口腔工学カリキュラム : 二川浩樹 : 第 28 回歯科医学教育学会 (広島), 2009.

G) 報道関連

テレビ放映

- 1 : 9月17日 19:18 RCC ローカル
- 2 : 9月17日 20:45 NHK ローカル ; NHK 深夜 全国
- 3 : 10月1日 NHK ローカル 18:10 お好みワイド 特集
- 4 : 10月13日 NHK 全国 14:00 お元気ですか日本列島 特集
- 5 : 12月4日 日本テレビ 17:00 リアルニュース
- 6 : 12月7日 NHK 18:10 お好みワイド
- 7 : 12月7日 NHK 20:45 NHK ローカルニュース

新聞報道

- 1 : 9月18日 中国新聞 消毒剤に抗菌効果 インフル拡大抑制期待
- 2 : 9月18日 日経産業新聞 病原菌消毒薬 机や繊維に長期固定 広島大学が化合物開発
- 3 : 9月29日 中国新聞 新型インフル防ごう フェリーに抗菌剤
- 4 : 9月29日 朝日新聞 秋の宮島抗菌バリアーインフル効果できめん広大院教授が新剤開発
- 5 : 10月2日 西広島タイムズ 新型インフル拡大防止へ
- 6 : 10月8日 中国新聞 抗菌剤で感染予防 東広島「酒まつり」新型インフル対策
- 7 : 10月9日 科学新聞 抗菌効果半年持続 広島大二川浩樹教授ら消毒薬開発
- 8 : 10月19日 中国新聞 対インフル市場開発 マナック抗菌持続原料開発
- 9 : 10月20日 読売新聞 ウィルス感染軽減繊維 クラボウ開発
- 10 : 10月20日 朝日新聞 ウィルス9割減らす 洗濯しても抗菌持続
- 11 : 10月20日 毎日新聞 抗インフル効果 洗濯しても持続
- 12 : 10月20日 中国新聞 抗インフル繊維販売へ 広島大学大学院とクラボウが開発
- 13 : 11月3日 朝日新聞 行楽地ミクロの戦い
- 14 : 11月28日 中国新聞 抗菌持続の消毒剤商品化 広島大大学院の二川教授開発
- 15 : 12月11日 産経新聞 インフル予防抗菌スプレー ジェックスと広島大連携

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 基盤研究(B)一般 : 二川浩樹, 間葉系幹細胞の増殖能をもつ塩基性抗菌性ペプチド JH8194の固定化と骨分化能の解析. 課題番号 20390499. 4,680 千円
- 2 : 基盤研究(B) 一般 : 牧平清超, 抗 NHA2 モノクローナル抗体用いた顎堤骨吸収抑制効果の解析. 7,400 千円
- 3 : 基盤研究C 一般 継続: 河村 誠 (分担) 笹原妃佐子, 学校歯科健康診断における G0, G の CAD 結果に基づく診断標準化システムの構築. 課題番号 20592455. 600 千円
- 4 : 経済産業省地域イノベーション創出研究開発事業 (一般枠 2 年) : 二川浩樹, ナノ表面改質による早期骨組織再生型多孔質インプラントの開発 (分担). 8,610 千円
- 5 : 経済産業省地域イノベーション創出研究開発事業 (一般枠 2 年) 間接経費 : 二川浩樹, 関節機能の FEM 解析による診察・治療最適化システムの開発 (分担). 計 1,939,350 円
- 6 : 奨学寄附金 : 二川浩樹, 株 ジェックス. 300 千円

- 7：奨学寄附金：二川浩樹，株 フマキラー. 100 千円
- 8：奨学寄附金：二川浩樹，株 Campus Medico. 250 千円
- 9：奨学寄附金：二川浩樹，株 越智源. 300 千円
- 10：奨学寄附金：二川浩樹，株 大和重工. 100 千円
- 11：共同研究：二川浩樹，株 中国塗料. 100 千円
- 12：共同研究：二川浩樹，株 大塚製薬. 6,633.5 千円
- 13：奨学寄付金：二川浩樹，株 大塚製薬. 1,000 千円
- 14：奨学寄附金：二川浩樹，株 四国乳業. 3,635 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1：檜山あや：平成 20 年度大塚製薬優秀研究賞 2009 年 3 月 23 日
- 2：峯 裕一：平成 20 年度大塚製薬優秀研究賞 2009 年 3 月 23 日
- 3：高山幸宏，高本祐子，鴨居浩平，二川浩樹，牧平清超：第 31 回日本歯科技工学会学術大会
ポスター発表 最優秀賞「固定化抗菌剤の抗カンジダ作用の評価」

(6) 特許

- 1：二川浩樹：抗菌性塗料組成物、物品表面のガラス化抗菌処理方法、ガラス化抗菌処理物
(2009-019700 号) (広島大学，中国鉄管継手株式会社 高田祐司)
- 2：二川浩樹：ケイ素含有化合物を含む抗菌剤組成物及び抗ウイルス剤組成物、並びに抗菌化方法、洗淨・洗口方法、抗菌剤及び抗ウイルス剤，固定化方法 (200-9068929 号) (広島大学，マナック株式会社)
- 3：二川浩樹：口腔内疾患の予防又は治療剤 (2009-168122 号) (広島大学)
- 4：牧平清超，二川浩樹，峯裕一，岡本圭司，阿部義紀，中谷達行，新田祐樹：インプラント用材料、その製造方法及び骨細胞との親和性向上方法 (2009-197100 号) (広島大学，トーヨーエイトック株式会社)

[目次へ戻る](#)

中央研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 香西 克之 (併任)

助教 : 林 幾江

(2) 主な研究活動

1 : 細胞内タンパク質のプロテオーム解析

2 : 生理活性物質の分析

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

1: Caspase-independent cell death without generation of reactive oxygen species in irradiated MOLT-4 human leukemia cells : Yoshida K, Kubo Y, Kusunoki Y, Morishita Y, Nagamura H, Hayashi I, Kyoizumi S, Seyama T, Nakachi K, Hayashi T : Cell Immunol. 255, 61-68, 2009.

2: 広島大学病院(歯科)口腔総合診療室・研修歯科医の鼻腔口腔内メチシリン耐性ブドウ球菌検査 : 小原 勝、吉野 宏、田口 則宏、林 幾江、岡田 貢、田村 裕子、小川 郁子、菅井 基行、小川 哲次 : 広島大学歯学雑誌、41, 135-142, 2009.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

1: Analysis of Peptidoglycan Structure of Oral Streptococci: 林 幾江、Panida Thanyasrisung、小松澤 均、菅井 基行 : 第 82 回日本細菌学会総会 (名古屋) 2009. .

2: 黄色ブドウ球菌選択的溶菌酵素 ALE-1 の基質認識機構および切断様式: 菅井 基行、藤原 環、林 幾江、小松澤 均 : 第 82 回日本細菌学会総会 (名古屋) 2009. .

3: Effects of immune-related gene polymorphisms and atomic-bomb radiation exposure on risks of stomach and liver cancers: Hayashi T, Ouishi K, Imai K, Yoshida K, Hayashi I, Fujiwara S, Kusunoki Y, Nakachi K: Proceedings of the 16th Annual Meeting of the Japanese Society of Immunology (Asahikawa) 2009.

- 4: 口腔連鎖球菌の細胞壁プチドグリカン解析: 林 幾江, Panida Thanyasrisung, 菅井 基行: 第 62 回日本細菌学会中国・四国支部総会 (広島)2009.
- 5: The N-terminal cell wall targeting domain of Aml confers substrate selectivity on cariogenic streptococci: Panida Thanyasrisung, Hayashi I, Fujiwara T, Sugai:第 62 回日本細菌学会中国・四国支部総会 (広島) 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

1: 広島大学医歯薬学総合研究科教員表彰(歯学)

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

歯系総合診療科（口腔総合診療科）

（1）職員並びに学生

教授 : 小川哲次 (※) 副病院長 : 小川哲次 (併任)
 講師 : 田口則宏
 助教 : 田中良治, 小原 勝
 事務補佐員 : 佐々木友枝

（2）主な研究活動

- 1 : 対話に基づく患者中心の歯科医療についての検討
- 2 : 総合歯科医療に関する研究
- 3 : 歯科医師臨床研修プログラムの検討
- 4 : 医療コミュニケーション技法に関する研究
- 5 : 臨床教育技法に関する研究
- 6 : 臨床技能評価法に関する研究
- 7 : 模擬患者の養成と標準化に関する研究

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : Authenticity of Health Communication Skills Assessed by means of OSCE : Taguchi N, Ogawa T, Taji , T Sasahara H : The Journal of Hiroshima University Dental Society 41 1, 1-3, 2009.
- 2 : OSCEs in Japanese postgraduate clinical training Hiroshima experience 2000-2009 : Taguchi N, Ogawa T : European Journal of Dental Education, accepted.
- 3 : ビデオによる振り返りを用いた医療コミュニケーション・トレーニング : 田口則宏、佐々木友枝、小川哲次 : 日本歯科医学教育学会雑誌 25, 115-121, 2009.
- 4 : Globalization of Dental Education Lessons Learned from Europe : Taguchi N, Ogawa T : Proceeding, 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry 23-26, 2009.
- 5 : Shigella flexneri リポプロテイン shnlpI 遺伝子のクローニングと機能解析 : 小原 勝, 吉野 宏, 小川哲次, 菅井基行 : 広島大学歯学雑誌 41 1, 50 - 56, 2009.
- 6 : 広島大学病院（歯科）口腔総合診療室・研修歯科医の鼻腔口腔内メシチリン耐性ブドウ球菌検査 : 小原 勝、吉野 宏、田口則宏、田村裕子、小川郁子、菅井基行、小川哲次 : 広島大学歯学雑誌 41 2, 135 - 142, 2009.

- 7 : Increased prevalence and clonal dissemination of multidrug-resistant *Pseudomonas aeruginosa* with the blaIMP-1 gene cassette in Hiroshima. : Kouda S, Ohara M, Onodera M, Fujiue Y, Sasaki M, Kohara T, Kashiyama S, Hayashida S, Harino T, Tsuji T, Itaha H, Gotoh N, Matsubara A, Usui T, Sugai M : J Antimicrob Chemother. 2009 Jul;64(1):46-51. Epub 2009 Apr 27.

B) 総説

- 1 : 学習者はどのように学ぶのか : 田口則宏, 小川哲次 : 日本歯科医学教育学会雑誌 25, 3 - 14, 2009.

C) 著書

D) その他の出版物

- 1 : 海外の医学・歯学教育関連会議参加報告 2008 欧州医学教育学会年次総会 : 田口則宏 : 日本歯科医学教育学会雑誌 25, 142 - 144, 2009.
- 2 : Dd 診断テスト「全額に及ぶ慢性骨不透過像」 : 田中良治, 田口則宏 : デンタルダイヤモンド 34 9, 125-126, 7/2009.

E) 学会発表

- 1 : The validity of the simulated patient training program : ○Yoshida T, Ogawa T, Taguchi N, Maeda J, Abe K, Torii Y, Shirai H, Konoo T, Nakai Y, Shimono T : 35th Association for Dental Education in Europe (Helsinki), 2009.
- 2 : 学習スタイルと Self-Directed Learning : ○小川哲次, 田口則宏, 田中良治, 小原 勝, 佐々木友枝 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 3 : 研修歯科医が受けた指導歯科医からのネガティブな待遇 : ○田口則宏, 岡田 貢, 田中良治, 笹原妃佐子, 小川哲次 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 4 : 卒後臨床研修の Advanced OSCE における障害者の初診医療面接の取り組み : ○岡田 貢, 田口則宏, 小原 勝, 田中良治, 小川哲次 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 5 : 歯科医師臨床研修における救命救急処置トレーニングの教育研究 : ○田中良治, 田口則宏, 小原 勝, 小川哲次 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 6 : 医歯薬 3 学部合同「かすみオリエンテーションキャンプ」における異専攻間交流の意義を問う : ○岩本優子, 岩本明子, 高田 隆, 香西克之, 二川浩樹, 小川哲次, 田口則宏 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 7 : 歯学部初年時教育における水平横断的 PBL チュートリアル教育 : ○田地 豪, 田口則宏, 竹本俊伸, 玉本光弘, 宮内美和, 渡邊峯朗, 金輪真佐美, 原 久美子, 里田隆博, 村山 長, 小川哲次, 内田 隆 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 8 : 本院における歯科衛生士の受託臨床実習について : ○田村裕子, 梶谷佳世, 中岡美由紀, 岩崎代利子, 田口則宏, 岡田 貢, 小川哲次 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 9 : 歯科衛生士受託臨床実習における模擬患者シミュレーション教育の試み : ○梶谷佳世, 中

岡美由紀, 岩崎代利子, 田口則宏, 岡田 貢, 田村裕子, 小川哲次: 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.

- 1 0 : 模擬患者のスキルアップセッション ―健康・医療・人文・社会系教員との交流を通じて― : ○佐々木友枝, 前田純子, 田口則宏, 小川哲次: 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 1 1 : 模擬患者参加型教育支援ツールの開発: ○吉田登志子, 中野田紳一, 白井 肇, 仲井雪絵, 河野隆幸, 鈴木康司, 鳥井康弘, 木尾哲朗, 田口則宏, 小川哲次: 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 1 2 : 医療系に必要なコミュニケーション教育: ○小川哲次, 田口則宏, 田中良治, 小原 勝, 佐々木友枝: 第12回日本コミュニケーション学会中国四国支部会・第4回医療コミュニケーション教育研究セミナー (広島), 2009.
- 1 3 : 歯科医師と高齢者とのコミュニケーション 広島県歯科医師会会員の視点から: ○田口則宏, 田中良治, 小原 勝, 小川哲次, 土井伸浩, 片山荘太郎, 瀬川和司, 松本紀幸, 中村衛, 梶井正文, 山野亮介, 宮村健一, 一瀬智生, 西野 宏, 津島隆司, 三反田 孝: 総合歯科医療に関する学術研究セミナー2009 (千葉), 2009.
- 1 4 : 院内感染対策の一環としての医療スタッフ鼻腔・口腔内 MRSA 検査 ―研修歯科医を対象として― : ○小原 勝, 吉野 宏, 田口則宏, 田中良治, 田村裕子, 小川郁子, 岡田 貢, 菅井基行, 小川哲次: 総合歯科医療に関する学術研究セミナー2009 (千葉), 2009.

F) セミナー, ワークショップの開催

- 1 : 平成 21 年度臨床研修歯科医ワークショップ (広島), 2009.
- 2 : 第 12 回日本コミュニケーション学会 (CAJ) 中国四国支部大会・医療コミュニケーション教育研究セミナー (第 4 回) (広島), 2009.

G) 講師・シンポジスト等

- 1 : シンポジウム I 高等教育のグローバル化への潮流とわが国の歯学士課程教育とのハーモニゼーション (調和) へ向けて―学士課程における Outcome and Competence-based Learning : ○田口則宏: 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 2 : Globalization of dental education - Lessons learned from Europe・3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry : ○Taguchi N, Ogawa T : 2009 Hiroshima Conference (Hiroshima), 2009.
- 3 : 広島大学歯科医学系のコミュニケーション教育: 小川哲次: 第 1 回日本ヘルスコミュニケーション研究会 (東京), 2009.
- 4 : 歯学部におけるプロフェッショナルリズム教育: 小川哲次: 平成 21 年度医・歯・薬学教育研究推進会議 (東京), 2009.

H) 院外講習会, セミナー, ワークショップの受講

- 1 : 質的研究による医学教育研究第1回セミナーとワークショップ: 受講者 小川哲次: 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻学校情報学領域主催 (名古屋), 2009.
- 2 : 平成 21 年度プログラム責任者講習会: 受講者 田口則宏: 財団法人 歯科医療研修振興財団主催 (千葉), 2009.
- 3 : 第 50 回大学教員セミナー: 受講者 小川哲次: 財団法人 大学セミナーハウス主催 (東京), 2009.

I) 客観的臨床能力試験 (OSCE, CSA など) の実施

- 1 : 平成 20 年度 第 2 回広島大学病院臨床研修 Advanced OSCE, 2009.
- 2 : 平成 21 年度 第 1 回広島大学病院臨床研修 Advanced OSCE, 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1 : 第 1 回日本歯科医学教育学会教育文化賞 田口則宏

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔健康発育歯科(予防歯科)

(1) 職員並びに学生

講師 : 河村 誠 (科長)

(2) 主な研究活動

- 1: 口腔保健に関する行動科学的研究
- 2: 口腔保健に関する国際比較研究
- 3: 地域歯科保健に関する研究
- 4: 学校歯科保健に関する研究
- 5: 歯周状況判断力向上に関するコンピュータプログラムの開発

(3) 研究業績

A) 原著(症例報告を含む)

- 1: Exploring the relationships between sense of hopelessness, worry, self-rated oral health status and behavior in a Romanian adult population. Dumitrescu A. L., Kawamura M.: *The Journal of Contemporary Dental Practice*, **10**(2):34-41, 2009.
- 2: Investigating the relationship between self-reported oral health status, oral health-related behaviors and self-consciousness in Romanian dental patients. Dumitrescu A. L., Kawamura M., Zetu L., Tesularu S.: *Journal of Periodontology*, **80**:468-475, 2009.
- 3: Self-reported oral health status, oral health-related behaviors, resilience and hope in Romania. Dumitrescu A. L., Kawamura M., Dogaru B., Dogaru C.: *Oral Health and Preventive Dentistry*, **7**(3): 251-259, 2009.
- 4: 保護者の養育態度と幼児のう蝕罹患状態との関連. 笹原妃佐子, 河村 誠: 口腔衛生会誌, **59**(2): 118-124, 2009.

B) 総説

C) 著書

1: Etiology of Periodontal Disease: Dental Plaque and Calculus.: Etiology and Pathogenesis of Periodontal Disease. (Dumitrescu A.L). Dumitrescu A.L., Kawamura M.: Springer-Verlag (Berlin/Heidelberg), 1-38, 2009.

D) その他の出版物

1:中学生における歯周疾患実態調査および歯周病原細菌の分布. 林 文子, 保田利恵, 中田啓子, 鈴木淳司, 岡田 貢, 河村 誠, 香西克之:広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要, **37**: 275-278, 2009.

E) 学会発表

1: Exploring the relationships between sense of hopelessness, worry, self-rated oral health status and behavior in a Romanian adult population: Dumitrescu A. L., Kawamura M.: *Europerio 6* (Stockholm), 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

1: 科学研究費補助金(基盤研究(C)継続:課題番号 20592455. 河村 誠(代表), 岡田 貢, 田口則宏, 笹原妃佐子, 小川 哲次. 学校歯科健康診断における GO, G の CAD 結果に基づく診断標準化システムの構築. 600 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔健康発育歯科（障害者歯科）

（5）職員並びに学生

准教授　　：岡田　貢
 助教　　：林田浩一
 歯科診療医：青木美枝

（2）主な研究活動

- 1：障害者の齲蝕発生リスクに関する研究
- 2：障害者の歯周病発症リスクに関する研究
- 3：骨髄間葉系幹細胞を用いた歯周組織再生に関する研究
- 4：発達障害者における歯科的協力度に関する研究
- 5：障害者の歯科的問題におけるPBL教育に関する研究
- 6：歯内・歯周療法に関する臨床的研究

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1：Teenagers' oral health attitudes and behavior in Japan: Kawamura M, Takase N, Sasahara H, Okada M: J Oral Sci: 50: 167-174, 2008.
- 2：Simultaneous interrelationship between the oral health behavior and oral health status of mothers and their children: Okada M, Kawamura M, Hayashi Y, Takase N, Kozai K: J Oral Sci 50: 447-452, 2008.
- 3：Irsogladine maleate abolishes the increase in interleukin-8 levels caused by outer membraneprotein 29 from *Aggregatibacter (Actinobacillus) actinomycetemcomitans* through the ERK pathway in human gingival epithelial cells. Kishimoto A, Fujita T, Shiba H, Komatsuzawa H, Takeda K, Kajiya M, Hayashida K, Kawaguchi H, Kurihara H: J Periodont Res 43(5): 508-513, 2008.
- 4：中学生における歯周疾患実態調査および歯周病原細菌の分布：林　文子，保田利恵，中田啓子，鈴木淳司，岡田　貢，河村　誠，香西克之：広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要　37：275-278，2009.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : 本院障害者歯科における満足度調査: 岡田 貢, 林田浩一, 青木美枝, 時数智子, 林田哲子, 岩本めぐみ: 第 25 回 日本障害者歯科学会総会および学術大会 (東京), 2008
- 2 : 除痛処置によって歯科的協力度が顕著に改善した一症例: 林田浩一, 青木美枝, 時数智子, 林田哲子, 矢野加奈子, 岩本めぐみ, 岡田 貢: 第 25 回 日本障害者歯科学会総会および学術大会 (東京), 2008
- 3 : PCR detection of *Streptococcus mutans* and *S. sobrinus* in schoolchildren: Okada M, Hayashida K, Yasuda R, Kurihara H: The 86th general session & exhibition of the IADR (Toronto), 2008
- 4 : PCR assay for quantitative detection of *Porphyromonas gingivalis* in children: Hayashi F, Okada M, Suzuki J, Kozai K: The 86th general session & exhibition of the IADR (Toronto), 2008
- 5 : マレイン酸イルソグラジンはラット歯周炎モデルにおいて炎症性細胞浸潤を抑制する: 岸本亮義, 藤田 剛, 柴 秀樹, 林田 浩一, 内田 雄士, 河口 浩之, 栗原 英見: 第 51 回 日本歯周病学会春季学術大会 (大宮), 2008
- 6 : 脳由来神経栄養因子(BDNF)と高分子ヒアルロン酸を用いた歯周組織再生療法の開発 -根面処理併用効果の検討-: 坂井 宣之, 武田 克浩, 柴 秀樹, 林田 浩一, 加治屋 幹人, 藤田 剛, 河口 浩之, 橋本 正道, 辻 紘一郎, 栗原 英見: 第 51 回 日本歯周病学会春季学術大会 (大宮), 2008
- 7 : 重度精神遅滞を有する患者に対して行った歯内療法症例: 林田浩一, 河口浩之, 日野孝宗, 武田克浩, 加治屋幹人, 永原隆吉, 柴秀樹, 栗原英見: 第 29 回 日本歯内療法学会学術大会 (市川), 2008
- 8 : マレイン酸イルソグラジンは *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* によって惹起される歯肉上皮組織への炎症細胞浸潤を抑制する: 藤田 剛, 林田 浩一, 加治屋 幹人, 柴 秀樹, 安孫子 宜光, 栗原 英見: 第 50 回 歯科基礎医学会学術大会 (東京), 200
- 9 : 侵襲性歯周炎歯肉組織における、コルチゾールと細胞接着装置構成タンパクの局在: 林田浩一, 常国徳子, 加治屋幹人, 藤田剛, 柴秀樹, 内田雄志, 吉野宏, 河口浩之, 栗原英見: 第 129 回 日本歯科保存学会秋季学術大会 (富山), 2008
- 10 : マレイン酸イルソグラジンをを用いた歯周病予防法の開発に関する基礎的研究: 藤田 剛, 柴秀樹, 岸本亮義, 内田雄士, 加治屋幹人, 武田克浩, 林田浩一, 松田真司, 河口浩之, 栗原英見: 第 21 回 日本歯科医学会総会 (横浜), 2008
- 11 : β -TCP による骨髄間葉系幹細胞 (MSC) の骨分化誘導を併用した歯周組織再生療法の開発: 永原隆吉, 河口浩之, 武田克浩, 林田浩一, 坂井宜之, 藤田剛, 辻紘一郎, 栗原英見: 第 21 回 日本歯科医学会総会 (横浜), 2008

F) 学会シンポジウム, 特別講演

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (若手研究(B)(2)) 新規 : 林田浩一 : 骨髄間葉系幹細胞の分化誘導シグナルとなる担体の研究. (課題番号 19791613) 1,400 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

特殊歯科総合治療部

(1) 職員並びに学生

部長 : 谷本啓二 (併任)
助教 : 安原幸美

(2) 主な研究活動

1. 口蓋裂言語の聴覚的評価法に関する研究
2. Electropalatography(EPG)を用いた訓練方法に関する研究
3. 構音障害改善に関する研究
4. 舌圧と嚥下・言語機能に関する研究

(3) 研究業績

- A) 原著 (症例報告を含む)
- B) 総説
- C) 著書
- D) その他の出版物
- E) 学会発表

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

口腔検査センター

(1) 職員並びに学生

センター長：栗原英見（併任）
准教授：小川郁子（診療）
助教：新谷智章，北川雅恵
技術補佐員：坂野敬子

(2) 主な研究活動

- 1: 歯内・歯周療法に関する臨床的研究
- 2: 頭頸部病変の診断病理学的研究
- 3: 口腔扁平上皮癌の増殖・進展に関する分子病理学的研究
- 4: 唾液腺腫瘍の細胞分化に関する研究
- 5: VEGFR および EGFR をターゲットにした口腔癌の分子標的治療の研究
- 6: 味覚異常の治療法に関する開発研究
- 7: 金属アレルギーおよび口腔乾燥症に対する検査および治療に関する研究
- 8: セメント芽細胞特異的遺伝子の機能解析

(3) 研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: 異汗性湿疹の手指症状が口腔内金属の除去治療により緩和された症例：原田佳枝，牧原清超，二川浩樹，小川郁子，北川雅恵，安部倉 仁，西村正宏，栗原英見，赤川安正，濱田泰三：日口検誌，1, 31-36, 2009.
- 2: X 線写真上の根管充填状態と根尖部透過像の有無との関係：北本泰子，日野孝宗，内田雄士，柴 秀樹，河口浩之，栗原英見：日歯内療誌，30, 182-187, 2009.
- 3: 感受性試験に基づく抗菌薬の経口投与を併用した感染根管治療症例：内田雄士，仁井谷幸，北本泰子，日野孝宗，小川郁子，柴 秀樹，河口浩之，栗原英見：日歯内療誌，30, 188-194, 2009.
- 4: 感染根管治療における根管内細菌嫌気培養検査：北本泰子，内田雄士，日野孝宗，小川郁子，栗原英見：歯界展望，113, 655, 2009.
- 5: Nuclear Survivin expression is correlated with malignant behaviors of head and neck cancer together with Aurora-B: Qi G, Kudo Y., Ando T., Tsunematsu T., Shimizu N., Siriwardena S., Yoshida M., Keikhae M., Ogawa I., Takata T.: Oral Oncol, (in press).
- 6: Brain-derived neurotrophic factor protects cementoblasts from serum starvation-induced cell death: Kajiya M., Shiba H., Fujita T., Takeda K., Uchida Y., Kawaguchi H., Kitagawa M., Takata T.,

Kurihara H.: J Cell Physiol, 221, 696-706. 2009.

- 7: RUNX3 has an oncogenic role in head and neck cancer: Tsunematsu T., Kudo Y., Iizuka S., Ogawa I., Fujita T., Kurihara H., Abiko Y., Takata T.: PLoS ONE, 4:e5892, 2009.
- 8: Aberrant beta-catenin expression and adenomatous polyposis coli gene mutation in ameloblastoma and odontogenic carcinoma: Siriwardena BS., Kudo Y., Ogawa I., Tilakaratne WM., Takata T.: Oral Oncol, 45, 103-108, 2009.
- 9: 下顎臼歯部に発生した腺性歯原性嚢胞の1例:新川修司, 小泉浩一, 虎谷茂昭, 岡本康正, 小川郁子, 岡本哲治: 日口外誌, 55, 359-363, 2009.
- 10: 偽悪性変化を伴った下顎歯肉腫瘍の1例: 吉岡幸男, 小川郁子, 林堂安貴, 虎谷茂昭, 高田隆, 岡本哲治: 日口科誌 (in press)
- 11: 広島大学病院(歯科) 口腔総合診療室・研修歯科医の鼻腔口腔内メチシリン耐性ブドウ球菌検査: 小原 勝, 吉野 宏, 田口則宏, 林 幾江, 岡田 貢, 田村裕子, 小川郁子, 菅井基行, 小川哲次: 広大歯誌, 41, 135-142, 2009.

B) 総説

C) 著書

- 1: 2. 歯原性腫瘍. 小川郁子, 高田 隆, 森 昌彦, 口腔外科学 第3版, 白砂兼光, 宮崎正編集, 医歯薬出版.
- 2: 第1章 頭頸部 1. 被膜外浸潤(唾液腺). 小川郁子, 高田 隆, 病理形態学キーワード, 病理と臨床 28(臨時増刊号), 病理と臨床常任編集委員編集, 文光堂.
- 3: 1. 消化器 口腔粘膜・唾液腺. 小川郁子, 久山佳代, 高田 隆, アトラス 細胞診と病理診断 亀井敏昭, 谷山清己編集, 医学書院.

D) その他の出版物

- 1: シリーズ 身近な臨床・これからの歯科医のための臨床講座⑭ 歯科の日常臨床で臨床検査をどのように役立てるか?: 小川郁子: 日歯医師会誌 62(5): 45-53, 2009.
- 2: 口腔病変クローズアップ 舌背中央部に生じた黒毛舌: 高木紀子, 高橋正光, 小川郁子, 高田 隆: DHstyle 3(27): 12-14, 2009.
- 3: 口腔病変クローズアップ 歯間乳頭部に生じた乳頭腫: 菊田美香, 甲原玄秋, 北川雅恵, 高田 隆: DHstyle 3(30): 12-14, 2009.
- 4: 口腔病変クローズアップ 舌背中央部に生じたリンパ管腫: 菊田美香, 甲原玄秋, 北川雅恵, 高田 隆: DHstyle 3(32): 12-13, 2009.
- 5: 口腔病変クローズアップ ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死: 安齋加奈子, 白瀧公敏, 小川郁子, 高田 隆: DHstyle 3(39): 10-13, 2009.

E) 学会発表

- 1: 耳下腺腫瘍 (Pleomorphic adenoma with oncocytic metaplasia) : 小川郁子, 松浦博夫, 高田 隆 : 第 52 回広島病理集談会 (広島), 2009.
- 2: 感染根管治療への根管内細菌嫌気培養検査の有効性 : 北本泰子, 内田雄士, 日野孝宗, 柴秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 日本歯内療法学会学術大会 (東京), 2009.
- 3: 感受性試験に基づく抗菌薬の経口投与を併用した感染根管治療症例 : 内田雄士, 仁井谷 幸, 北本泰子, 日野孝宗, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 日本歯内療法学会学術大会 (東京), 2009.
- 4: 当科におけるビスホスホネート製剤関連顎骨病変に対する治療経験 : 木村祐紀, 新谷智章, 浜名智昭, 福井康人, 間島徹, 北村直也, 吉岡幸男, 坂本哲彦, 谷本裕, 阪本知二, 谷亮治, 林堂安貴, 虎谷茂昭, 北島正二郎, 宮内睦美, 小川郁子, 岡本哲治 : 第 63 回日本口腔科学会総会 (浜松), 2009.
- 5: 舌腫瘍 (Sialadenoma papilliferum) : 小川郁子, 高田 隆, 仲里 巖 : 日本病理学会中国四国支部学集會 (第 99 回スライドカンファレンス) (南国), 2009.
- 6: 非金属歯科材料がアレルギーと考えられる検査症例 : 北川雅恵, 新谷智章, 小川郁子, 栗原英見 : 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 7: 感染根管治療への根管内細菌嫌気培養検査の評価 : 北本泰子, 内田雄士, 日野孝宗, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 8: 感受性試験に基づく抗菌薬の経口投与を併用した感染根管治療症例 : 内田雄士, 北本泰子, 日野孝宗, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 第 42 回広島大学歯学会総会 (広島), 2009.
- 9: 口腔癌におけるユビキチン分解異常による Emi1 の過剰発現 : 工藤保誠, 常松貴明, 飯塚新二, 小川郁子, 高田 隆 : 第 28 回 分子病理研究会 (神戸), 2009.
- 10: 口蓋腫瘍 (Infiltrating pleomorphic adenoma with bizarre cells) : 小川郁子, 前島俊孝, 北島正二郎, 宮内睦美, 高田 隆 : 第 21 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会 (札幌), 2009.
- 11: HSulf-1 は頭頸部癌の浸潤を促進する : 吉田真希, 工藤保誠, ヌーウィン ティ フーン タオ, 小川郁子, 高田 隆 : 第 20 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会 (札幌), 2009.
- 12: 骨形成組織におけるアモロブラスチンの役割と骨再生への応用 : 飯塚新二, 工藤保誠, 小川郁子, 宮内睦美, 高田隆 : 第 20 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会 (札幌), 2009.
- 13: HSulf-1 promotes the invasion of head and neck cancer : 吉田真希, 工藤保誠, 小川郁子, 高田隆 : 第 68 回日本癌学会学術総会 (横浜), 2009.
- 14: Co-expression of nuclear Survivin and Aurora-B shows malignant behavior of head and neck cancer : 斉 広瑩, 工藤保誠, 安藤敏範, 吉田真希, Keikahee M R, 小川郁子, 高田 隆 : 第 68 回日本癌学会学術総会 (横浜), 2009.
- 15: 非金属歯科材料にアレルギー反応を示した 3 症例 : 北川雅恵, 新谷智章, 小川郁子, 栗原英見 : 第 2 回日本口腔検査学会 (広島), 2009.
- 16: 嫌気培養による根管内細菌検査の有用性 : 北本泰子, 内田雄士, 日野孝宗, 柴秀樹, 河口浩之, 北川雅恵, 小川郁子, 栗原英見 : 第 2 回日本口腔検査学会 (広島), 2009.
- 17: Aggregatibacter actinomycetemcomitans に対する血清 IgG 抗体価検査は歯周病型の診断に有用か? : 小川文野, 日野孝宗, 川村優人, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 第 2 回日本口腔検査学会 (広島), 2009.
- 18: SPON1 によるヒトセメント芽細胞の細胞分化誘導メカニズムについての検討 : 北川雅恵,

- 宮内睦美, 小川郁子, 高田 隆: 第 52 回日本歯周病学会秋季学術大会 (宮崎), 2009.
- 19: Porphyromonas gingivalis の口臭関連ガス産生能について: 岩崎代利子, 日野孝宗, 應原一久, 長谷川直彦, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見: 第 52 回日本歯周病学会秋季学術大会 (宮崎), 2009.
- 20: Porphyromonas gingivalis の口臭関連ガス産生能の分析: 岩崎代利子, 日野孝宗, 應原一久, 長谷川直彦, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見: 第 48 回広島県歯科医学会; 第 93 回広島大学歯学会 (広島), 2009.
- 21: 根管治療への根管内細菌嫌気培養検査の有効性: 北本泰子, 日野孝宗, 内田雄士, 柴秀樹, 河口浩之, 栗原英見: 第 48 回広島県歯科医学会; 第 93 回広島大学歯学会 (広島), 2009.
- 22: 耳下腺腫瘍 (Mucoepidermoid carcinoma arising in Warthin tumor): 小川郁子, 高田 隆, 武島幸男, 井内康輝: 日本病理学会中国四国支部学術集会 (第 100 回スライドカンファレンス) (倉敷), 2009.
- 23: Regeneration of bone by ameloblastin: Iizuka S., Kitagawa M., Kudo Y., Ogawa I., Miyauchi M., Takata T.: 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, (Hiroshima), 2009.
- 24: 耳下腺腫瘍 (Epithelial-myoepithelial carcinoma): 小川郁子, 植村芳子, 高田 隆: 第 11 回唾液腺腫瘍病理研究会 (東京), 2009.
- 25: Mucoepidermoid carcinoma arising in Warthin tumor の 1 例: 小川郁子, 武島幸男, 井内康輝, 高田 隆: 第 54 回日本唾液腺学会学術大会 (東京), 2009.
- 26: 院内感染対策の一環としての医療スタッフ鼻腔・口腔内 MRSA 検査 — 研修歯科医を対象として —: 小原 勝, 吉野 宏, 田口則宏, 田中良治, 田村裕子, 小川郁子, 岡田 貢, 菅井基行, 小川哲次: 総合歯科医療に関する学術研究セミナー2009 (千葉), 2009.

F) 特別講演, シンポジウム, ワークショップ等

- 1: コンパニオンミーティング「最近話題の唾液腺腫瘍」小唾液腺腫瘍および腫瘍類似病変の特殊性: 小川郁子, 高田 隆: 第 98 回日本病理学会総会 (京都), 2009.
- 2: コンパニオンミーティング「最近話題の唾液腺腫瘍」多型低悪性度腺癌: 高田 隆, 小川郁子: 第 98 回日本病理学会総会 (京都), 2009.
- 3: ドライマウスから歯科治療を考える-唾液検査の有用性と必要性-: 北川雅恵: 第 2 回日本口腔検査学会 (広島), 2009.

G) 産学官連携事業およびフォーラム

H) その他 (社会貢献)

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 小川郁子 (代表, 継続), 唾液腺腫瘍の病理診断標準化のための組織学的ならびに分子生物学的研究. 課題番号 20592141, 1,300 千円.
- 2: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 北川雅恵 (代表, 継続), スポンディンによる歯周組織

再生応用への検討. 課題番号 20791339, 2,210 千円.

- 3: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新谷智章 (代表, 継続), FGF 結合蛋白 HBp17/FGF-BP を標的にした口腔癌の分子標的治療の開発研究. 課題番号 20791519, 1,430 千円.
- 4: サタケ教育研究助成 北川 雅恵 (代表, 新規): 唾液によるシェーグレン症候群の検査基準の確立のための検討, 300 千円
- 5: 広島大学女性研究者補助金 北川 雅恵 (代表, 新規): セメント質形成におけるセメント芽細胞マーカー遺伝子 f-spondin の機能解明, 220 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 北川雅恵: サタケ教育研究助成金 (広島市) 7 月 21 日, 2009.
- 2: 北川雅恵: 平成 21 年度広島大学女性研究者奨励賞 (広島市) 11 月 17 日, 2009.

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

歯科技工室

(1) 職員並びに学生

歯科技工室長 : 二川浩樹 (併任)
 歯科技工部門長 : 大倉啓孝
 主任歯科技工士 : 山本昌信, 埴生栄作, 大谷吉広, 山本明司, 加藤了嗣
 歯科技工士 : 荒木結子

(2) 主な研究活動

- 1 : 義歯に埋入する患者データの方法の考案
- 2 : 放射線治療補助装置 (スぺーサー) の製作法
- 3 : インプラントの上部構造に関する研究
- 4 : 各種前装歯冠補綴物における審美性の追及
- 5 : 歯科鑄造物の適合性に関する研究
- 6 : 歯科技工におけるコンピュータによる情報処理に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : 脱落したインプラント体の表面解析: 峯 裕一, 牧平清超, 二川浩樹, 岡崎昌太, 高本祐子, 山口 裕, 首藤崇裕 : 第 31 回日本歯科技工学術大会(福岡), 2009.
- 2 : 歯科用 CAD/CAM システムによる新開発ハイブリッドセラミックブロックを用いた小臼歯審美修復: 立畠一樹, 玉本光弘, 村山 長, 安部倉 仁, 田地 豪, 山本昌信, 下江幸司, 牧平清超, 笹原妃佐子, 河原和子, 里田隆博, 二川浩樹, 赤川安正 : 第 93 回広島大学歯学会例会 (広島), 2009.
- 3 : DLC コーティングしたチタンが骨分化に与える影響: 岩田 慧, 牧平清超, 二川浩樹, 鴨居浩平, 高萩隆行, 岡本圭司 : 第 31 回日本歯科技工学術大会(福岡), 2009.
- 4 : 市販人工唾液の抗菌性と物性評価 - その 2 - : 大倉恵美, 石井仁美, 高本祐子, 高山幸宏, 二川浩樹, 牧平清超, 里田隆博 : 第 31 回日本歯科技工学術大会(福岡), 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

歯科衛生室

(1) 職員並びに学生

- 歯科衛生室長 : 鎌田伸之 (併任)
 歯科衛生部門長 : 田村裕子
 歯科衛生副部門長 : 岩崎代利子
 主任歯科衛生士 : 中岡美由紀
 歯科衛生士 : 河島明子 (4月まで), 米田美穂, 畠山知子, 梶谷佳世, 松井加奈子,
 林田哲子 (6月まで), 宮川久美, 時数智子, 矢野加奈子, 臺信花菜,
 原奈緒美, 岡田美穂, 鋳理恵, 小内あゆみ, 高本愛, 河野いつか,
 和木田敦子, 井上梨紗子, 川井千恵子, 長谷由紀子
 歯科助手 : 大田有里, 玉元由香, 尾崎妃佐子, 矢田部まゆみ

(2) 主な研究活動

- 1 : 口腔衛生に関する臨床的, 基礎的研究
- 2 : 歯科衛生士教育について
- 3 : 大学病院における歯科衛生士の役割について

(3) 研究業績

A) 原著

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : 人工呼吸器関連肺炎(VAP)予防のための口腔ケア : 二宮嘉昭, 小野重弘, 重石英夫, 水田邦子, 高本愛, 小林雅史, 岡本康正, 福井康人, 石田康隆, 武田卓, 近藤美穂, 梶谷佳世, 田村裕子, 岡本哲治, 谷川攻一, 鎌田伸之. : 第38回(社)日本口腔外科学会 中・四国地方会 (2009.5.30 広島)
- 2 : 口腔癌切除後にインプラント治療を行い咬合機能を回復した1例 : 島末洋, 武知正晃, 重石英夫, 太田耕司, 南正彦, 宮内美和, 高本愛, 西村正宏, 鎌田伸之. : 第38回(社)日本口

腔外科学会 中・四国地方会 (2009 5.30 広島)

- 3: 墜落外傷に伴う下顎骨粉碎骨折に対してインプラントによる咬合再建を行った1例: 小野重弘, 水田邦子, 太田耕司, 武知正晃, 奥井岳, 島末洋, 高本愛, 東川晃一郎, 鎌田伸之.: 第11回日本口腔顎顔面外傷学会 (2009 7.18 札幌)
- 4: 顔面多発骨折を伴った交通外傷の治療の一例: 島末洋, 武知正晃, 南正彦, 平岡美里, 高本愛, 小野重弘, 宮内美和, 鎌田伸之.: 第11回日本口腔顎顔面外傷学会 (2009 7.18 札幌)
- 5: 「歯科外来手術クリニカルパス」の使用者側及び患者側からの評価: 高本愛, 中岡美由紀, 石尾正子, 佐々木由紀子, 東川晃一郎, 吉岡幸男, 祐井智美, 田村裕子.: 日本歯科衛生学会第4回学術大会 (2009 9.20 大阪)
- 6: 新規連通多孔体ハイドロキシアパタイト骨補填材を用いたスプリットクレスト法の1例: 二宮嘉昭, 武知正晃, 太田耕司, 高本愛, 西村正宏, 鎌田伸之.: 第39回日本口腔インプラント学会・学術総会 (2009 9.27)
- 7: インプラント治療に新規連通多孔体ハイドロキシアパタイト骨補填材とチタンメッシュを用いて骨造成を行った1例: 太田耕司, 武知正晃, 二宮嘉昭, 南正彦, 高本愛, 鎌田伸之.: 第54回(社)日本口腔外科学会総会・学術大会 (2009 10.10 札幌)
- 8: *Porphyromonas gingivaris* の口臭関連ガス産生能の分析: 岩崎代利子, 日野孝宗, 応原一久, 長谷川直彦, 河村優人, 河口浩之, 栗原英見.: 第93回広島大学歯学会 (2009 10.24,25 広島)
- 9: *Porphyromonas gingivaris* の口臭関連ガス産生能について: 岩崎代利子, 日野孝宗, 応原一久, 長谷川直彦, 河村優人, 河口浩之, 栗原英見.: 第52回日本歯周病学会学術大会 (2009 10 宮崎)
- 10: 広島大学病院歯科衛生士外来センターにおける4年の歩み: 原奈緒美, 臺信花菜, 梶谷佳世, 田村裕子, 鎌田伸之.: 広島大学歯学会 (2009 10.25 広島)
- 11: 歯科衛生士受託臨床実習における模擬患者シミュレーション教育の試み: 梶谷佳世, 中岡美由紀, 岩崎代利子, 田口則宏, 岡田貢, 田村裕子, 小川哲次.: 第27回日本歯科医学教育学会・学術大会 (2009 11.4 広島)
- 12: 本院における受託臨床実習について: 田村裕子, 中岡美由紀, 梶谷佳世, 岩崎代利子, 田口則宏, 岡田貢, 田村裕子, 小川哲次.: 第27回日本歯科医学教育学会・学術大会 (2009 11.4 広島)
- 13: 新規連通多孔体ハイドロキシアパタイト骨補填材を用いてサイナスリフトを行った1例: 小野重弘, 武知正晃, 西裕美, 福井暁子, 重石英夫, 太田彰, 高本愛, 鎌田伸之.: 第57回NPO法人日本口腔外科学会中国・四国地方部会 (2009 11.14 倉敷)
- 14: 経過不良インプラント除去後に新規連通多孔体HAと自家骨を用いてインプラント治療を行った1例: 二宮嘉昭, 武知正晃, 太田耕司, 高本愛, 小野重弘, 奥井岳, 太田彰, 鎌田伸之.: 第13回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 (2009 12.13 佐賀)
- 15: 高エネルギー多発外傷に伴う下顎骨粉碎骨折に対してインプラントによる咬合再建を行った1例: 小野重弘, 武知正晃, 水田邦子, 太田耕司, 東川晃一郎, 高本愛, 二宮嘉昭, 鎌田伸之.: 第13回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 (2009 12.13 佐賀)

F) 講演

(4) 科学研究補助金等の受領状況

- 1 : 岩崎代利子, メチルメルカプタン高産生能を示す *P.gingivalis* の特性.
課題番号 : 21932003

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

広島大学歯科診療所

(1) 職員並びに学生

講師 : 吉野 宏
助教 : 小原 勝

(2) 主な研究活動

- 1 : 多剤耐性緑膿菌
- 2 : HIV 診療体制構築

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : *Shigella flexneri* リポプロテイン *shnlpI* 遺伝子のクローニングと機能解析 : 小原 勝, 吉野 宏, 小川哲次, 菅井基行 : 広島大学歯学雑誌 41 1, 50 - 56, 2009.
- 2 : 広島大学病院 (歯科) 口腔総合診療室・研修歯科医の鼻腔口腔内メシチリン耐性ブドウ球菌検査 : 小原 勝, 吉野 宏, 田口則宏, 田村裕子, 小川郁子, 菅井基行, 小川哲次 : 広島大学歯学雑誌 41 2, 135 - 142, 2009.
- 3 : Increased prevalence and clonal dissemination of multidrug-resistant *Pseudomonas aeruginosa* with the *bla*IMP-1 gene cassette in Hiroshima. Kouda S, Ohara M, Onodera M, Fujiue Y, Sasaki M, Kohara T, Kashiyama S, Hayashida S, Harino T, Tsuji T, Itaha H, Gotoh N, Matsubara A, Usui T, Sugai M. J Antimicrob Chemother. 64 1, 46-51. 2009

B) 総説 なし

C) 著書 なし

D) その他の出版物 なし

E) 学会発表

- 1 : 学習スタイルと Self-Directed Learning : 小川哲次, 田口則宏, 田中良治, 小原 勝, 佐々木友枝 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 2 : 卒後臨床研修の Advanced OSCE における障害者の初診医療面接の取り組み : 岡田 貢, 田口則宏, 小原 勝, 田中良治, 小川哲次 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.
- 3 : 歯科医師臨床研修における救命救急処置トレーニングの教育研究 : 田中良治, 田口則宏, 小原 勝, 小川哲次 : 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会 (広島), 2009.

- 4：医療系に必要なコミュニケーション教育：小川哲次，田口則宏，田中良治，小原 勝，佐々木友枝：
第12回日本コミュニケーション学会中国四国支部会・第4回医療コミュニケーション教育研究セ
ミナー（広島），2009.
- 5：歯科医師と高齢者とのコミュニケーション 広島県歯科医師会会員の視点から：田口則宏，
田中良治，小原 勝，小川哲次，土井伸浩，片山荘太郎，瀬川和司，松本紀幸，中村 衛，
梶井正文，山野亮介，宮村健一，一瀬智生，西野 宏，津島隆司，三反田 孝：総合歯科
医療に関する学術研究セミナー2009（千葉），2009.
- 6：院内感染対策の一環としての医療スタッフ鼻腔・口腔内 MRSA 検査 ー研修歯科医を対象と
してー：小原 勝，吉野 宏，田口則宏，田中良治，田村裕子，小川郁子，岡田 貢，菅井基行，
小川哲次：総合歯科医療に関する学術研究セミナー2008（千葉），2009.

F) セミナー，ワークショップの開催
なし

G) 講師・シンポジスト等
なし

H) 院外講習会，セミナー，ワークショップの受講
なし

I) 客観的臨床能力試験（OSCE，CSAなど）の実施
なし

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

1：受託研究費：中国・四国ブロックエイズ歯科医療システム構築に関する研究 3,000 千円

(5) 学会賞等の受賞状況
なし

(6) 特許
なし

医療情報室

(6) 職員並びに学生

室長 : 香西克之 (併任)
 教授 : 天野秀明 (兼任)
 助手 : 大塚昌彦 (兼任), 田中武志
 技官 : 柳田徳栄 (兼務)

(2) 主な研究活動

- 1 : 病院情報システムの開発と運営に関する研究
- 2 : 医療情報学に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Proposal for a Wide Area Emergency Information System to Support Coordination between Rescue Sites and Hospitals : Takeshi Tanaka, Kiyomu Ishikawa, Norikazu Iwata, Yasumasa Iwasaki, Kenji Yamada, Hidehiko Tsukuma and Minoru Ikeuchi : APAMI 2009 Proceedings pp. 105-112 (Hiroshima 2009).
- 2 : 次世代救急・災害支援情報システム ―救急医療Net Hiroshima― 広域対応を目途とするリアルタイム応需機能 : 石川澄, 田中武志, 津久間秀彦, 岩崎泰昌, 岩田則和, 石黒満久, 宝積泰史, 益池寿子, 村井真, 坂上隆士 : 医療情報学 **28** Vol. 4 pp. 187-195, 2009.
- 3 : いま、現況は?・・・電子医療記録 (e-Health Chart) の質の保証 : 石川澄, 楠岡英雄, 奥原義保, 池内実, 梅里良正, 津久間秀彦, 田中武志, 岩田則和, 大道久 : 病院管理 Vol. **46** Suppl. pp. 180, 2009.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : Proposal for a Wide Area Emergency Information System to Support Coordination between Rescue Sites and Hospitals : Takeshi Tanaka, Kiyomu Ishikawa, Norikazu Iwata, Yasumasa Iwasaki, Kenji

Yamada, Hidehiko Tsukuma and Minoru Ikeuchi : The 6th Conference of Asia Pacific Association for Medical Informatics (APAMI 2009) (Nov. 22-24, 2009; Hiroshima).

- 2 : 収容現場と病院との連携を支援する広域救急情報システムの提案 : 田中武志、石川澄、津久間秀彦、岩田則和、池内実、山田憲嗣、岩崎泰昌 : 第 13 回日本医療情報学会春期学術大会 (長崎) 2009.
- 3 : 病院情報システムの復旧時間の試算による可用性評価 : 岩田則和、田中武志、津久間秀彦、石川澄 : 第 13 回日本医療情報学会春期学術大会 (長崎) 2009.
- 4 : いま、現況は?・・・電子医療記録 (e-Health Chart) の質の保証 : 石川澄, 楠岡英雄, 奥原義保, 池内実, 梅里良正, 津久間秀彦, 田中武志, 岩田則和, 大道久 : 第 47 回日本病院管理学会学術総会 (横浜) 2009.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)